

## 医史学関係文献目録 (五十音順)

平成23(2011)年

順天堂大学医史学研究室編

- |                   |                  |                            |
|-------------------|------------------|----------------------------|
| 01 単行本            | 23 疾病史           | 45 皮膚科史                    |
| 02 医学切手・書画        | 24 耳鼻咽喉科史        | 46 泌尿器科史                   |
| 03 医学教育           | 25 種痘史           | 47 病院史                     |
| 04 医学用語           | 26 獣医学史          | 48 病跡学                     |
| 05 医師会・学会         | 27 書簡            | 49 病理学史                    |
| 06 医史学一般          | 28 書誌学           | 50 風俗史                     |
| 07 医の倫理           | 29 小児科史          | 51 仏教医学史                   |
| 08 医療器械           | 30 神経学史          | 52 法医学史                    |
| 09 医療制度史・医療史      | 31 診断学史          | 53 放射線医学史                  |
| 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史 | 32 整形外科史         | 54 本草学史・博物学史               |
| 11 解剖学史           | 33 精神医学史         | 55 麻醉学史                    |
| 12 眼科史            | 34 生物学史          | 56 門人録                     |
| 13 看護史            | 35 西洋医学史         | 57 薬学史                     |
| 14 寄生虫学史          | 36 生化学史          | 58 蘭学史                     |
| 15 教室・大学史         | 37 生理学史          | 59 リハビリテーション関係史            |
| 16 軍陣医学史          | 38 地方史           | 60 検査                      |
| 17 形成外科学史         | 39 治療史           | 61 その他                     |
| 18 外科史            | 40 伝記            | 62 中国語文献                   |
| 19 細菌学史           | 41 伝記(双)         | 63 韓国語文献                   |
| 20 産婦人科史          | 42 伝染病史・防疫史・感染症史 | 64 欧文文献                    |
| 21 歯学史            | 43 東洋医学史・伝統医学史   | 今回は22, 34, 63にあたる文献はありません。 |
| 22 史跡・記念碑         | 44 内科史           |                            |

### 01 単行本

C.J.S. トンプソン『手術器械の歴史』時空出版  
 青柳精一『近代医療のあけぼの一幕末・明治の医事制度一』思文閣出版  
 荒井保男『日本近代医学の黎明 横浜医療事始め』中央公論新社  
 荒井裕樹『隔離の文学』書肆アルス  
 荒井裕樹『障害と文学』現代書館  
 汪正仁『東洋医学の真髓』成山堂書店  
 岡田靖雄『戦争のなかの精神障害者』青柿舎  
 小形利彦『山形県済生館の洋学史的研究(日本大

学学術研究助成金研究)』大風出版  
 小田泰子『スペイン風邪流行とその時代』  
 笠谷和比古(編)『一八世紀日本の文化状況と国際環境』思文閣出版  
 香月牛山(原著)中村節子(翻刻・訳注)『老人必用養草』社団法人農村漁村文化協会  
 金山知新『医学史小ばなし』メディカルトリビューン  
 九州大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科分野『久保記念館目録』九州大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科分野

姜克實『近代日本の社会事業思想』ミネルヴァ書房

圭介文書研究会編『伊藤圭介日記 第十七集（錦窠翁日記 明治十一年七月～九月）』名古屋市東山植物園

洪庵記念会 除痘館記念資料室『大阪の除痘館：緒方洪庵生誕200年記念』洪庵記念会 除痘館記念資料室

酒井シヅ（監修）『江戸の医学』KKベストセラーズ

坂井建雄，池田黎太郎，澤井直（訳）『ガレノス解剖学論集』京都大学学術出版会

佐賀大学・佐賀学創成プロジェクト『佐賀学 佐賀の歴史・文化・環境』花乱社

佐賀大学地域学歴史文化研究センター『佐賀大学・小城市交流事業特別展 小城市の医学と地域医療～病をいやす～』佐賀大学地域学歴史文化研究センター

新村拓『国民皆保険の時代』財団法人法政大学出版局

天理図書館編集『天理図書館開館80周年記念特別展—新収稀観本を中心に—』

西尾幡豆医師会（代表・田中正規）『西尾幡豆医師会史 第五巻』

橋本明『精神病者と私宅監置—近代日本精神医療史の基礎的研究』六花出版

廣川和花『近代日本のハンセン病問題と地域社会』大阪大学出版会

藤倉一郎『瀉血の話』近代文芸社

森本武利（編著），酒井兼一（訳）『京都療病院お雇い医師ショイベ—滞日書簡から—』思文閣出版

横田陽子『技術からみた日本衛生行政史』晃洋書房

吉元昭治『鍼灸雑記』医道の日本社

吉元昭治『老荘とその周辺』たにぐち書店

ギュンター・ペルトナー（著），榊形公也（監訳）『医療倫理学の基礎』時空出版

ミヒェル・ヴォルフガング，吉田洋一，大島明秀共編『中津市歴史民俗資料館 分館 医家史料館叢書 10 史料と人物Ⅲ』中津市教育委員会

## 02 医学切手・書画

「切手で医学散歩〈634〉—〈659〉 兎耳人工がん（1）他」金山知新『MedicalTribune』44（1—28）

「イラストで振り返る医学史のカリスマたち（13）岡本一抱（1655頃—1716頃）多数の諺解本（啓蒙書）を著した，江戸中期の医師」酒井シヅ『医道の日本』70（1）8—9

「イラストで振り返る医学史のカリスマたち（14）吉益東洞（1702—1773）後世に多大な影響を与えた，古方派の大家」酒井シヅ『医道の日本』70（2）8—9

「イラストで振り返る医学史のカリスマたち（15）鷹取秀次（生没不明）鷹取流を創始した，多数の著書で知られる外科医」酒井シヅ『医道の日本』70（3）8—9

「イラストで振り返る医学史のカリスマたち（16）原南陽（1753—1820）『経穴彙解』など数々の名著で知られる侍医」酒井シヅ『医道の日本』70（4）8—9

「イラストで振り返る医学史のカリスマたち（17）杉田玄白（1733—1817）『解体新書』で有名な，江戸中期の蘭方医」酒井シヅ『医道の日本』70（5）8—9

「イラストで振り返る医学史のカリスマたち（18）杉山和一（1610—1694）管鍼法を特徴とする杉山流を創始した総検校」酒井シヅ『医道の日本』70（6）8—9

「イラストで振り返る医学史のカリスマたち（19）フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト（1796—1866）日本研究を目的に来日した蘭館医」酒井シヅ『医道の日本』70（7）8—9

「イラストで振り返る医学史のカリスマたち（20）石坂宗哲（1770—1841）多くの鍼灸書を著した，江戸後期の鍼灸医」酒井シヅ『医道の日本』70（8）8—9

「イラストで振り返る医学史のカリスマたち（21）浅田宗伯（1815—1894）幕末・明治の漢方の名医」酒井シヅ『医道の日本』70（9）8—9

「イラストで振り返る医学史のカリスマたち（22）ポンペ・ファン・メールデルフォールト（1829—1908）日本で最初の本格的な近代医学教育を

- したオランダ人」酒井シヅ『医道の日本』70(10) 8-9
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち(23) 大槻玄沢(1757-1827) 仙台藩の藩医で、江戸蘭学の中心的人物」酒井シヅ『医道の日本』70(11) 8-9
- 「イラストで振り返る医学史のカリスマたち(最終回) 緒方洪庵(1810-1863) 医師、蘭学者、教育者として優れた幕末の雄」酒井シヅ『医道の日本』70(12) 8-9
- 『『新撰本草紙』に見る疝氣』杉浦守邦『医譚』(110) 6225-6242
- 「Royal College of Surgeons of England(王立外科医協会)を訪ねて」杉田克生『STETHOSCOPE』(202) 5-8
- 「絵葉書でみるレンブラントの「トウルプの解剖学講義」(抄)」寺畑喜朔『医譚』(110) 6354
- 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第1回 インチキ医者」ヴォルフガング・U・エッカート(中村典子・訳)『大塚薬報』(662) 24-28
- 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第2回 痛み」ヴォルフガング・U・エッカート(中村典子・訳)『大塚薬報』(663) 26-29
- 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第3回 恋愛病」ヴォルフガング・U・エッカート(中村典子・訳)『大塚薬報』(664) 22-25
- 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第4回 錬金術とイアトロ化学」ヴォルフガング・U・エッカート(中村典子・訳)『大塚薬報』(665) 24-27
- 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第5回 錬金術とイアトロ化学②」ヴォルフガング・U・エッカート(中村典子・訳)『大塚薬報』(666) 22-25
- 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第6回 歯抜き師と床屋医師一歯の治療の悲喜劇①」ヴォルフガング・U・エッカート(中村典子・訳)『大塚薬報』(667) 24-27
- 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第7回 歯抜き師と床屋医師②—詐欺的な歯抜き師と貧乏な床屋医師」ヴォルフガング・U・エッカート(中村典子・訳)『大塚薬報』(668) 22-25
- 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第8回 解剖学①—解剖学劇場と近代解剖学の始まり」ヴォルフガング・U・エッカート(中村典子・訳)『大塚薬報』(669) 22-25
- 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第9回 解剖学②—レンブラントの描いた「テュルプ博士の解剖学講義」」ヴォルフガング・U・エッカート(中村典子・訳)『大塚薬報』(670) 24-27
- 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第10回 精神に影響を与えた四体液説①—四体液と四気質」ヴォルフガング・U・エッカート(中村典子・訳)『大塚薬報』(671) 20-23

### 03 医学教育

- 「大学令と大正昭和期の医師養成(抄)」天野郁夫『日本医史学雑誌』57(2) 113-118
- 「性教育国際シンポジウムと60年代性教育の成果 1960年代DDRにおける性教育の動向(その3)」池谷壽夫『日本福祉大学社会福祉論集』(125) 1-20
- 「ハンセン病医学夏期大学講座の歴史」石井則久、森修一『日本ハンセン病学会雑誌』80(1) 47-52
- 「戦時下における外地の医学教育(抄)」泉孝英『日本医史学雑誌』57(2) 122
- 「ブルックリンにおける医学教育(抄)」泉彪之助『日本医史学雑誌』57(2) 168
- 「医学教育に生涯をかけた男たち 東京医科大学と順天堂大学(対談)」伊東洋、酒井シヅ『月刊BOSS』26(7) 100-101
- 「江戸時代の医学教育(抄)」海原亮『日本医史学雑誌』57(2) 119
- 「松江藩立漢学校「存済館」の医学教育カリキュラムについて—山本逸記稿「存済館医学教導規則」の翻刻—」梶谷光弘『古代文化研究』(19) 23-52
- 「我が国の近代医学教育の源流—明治初期の公立

- 「医学校一（抄）」坂井建雄『日本医史学雑誌』57(2) 109-112
- 「明治期における私立医学校の医学教育（抄）」志村俊郎『日本医史学雑誌』57(2) 121
- 「松本良順と近代教育一『養生法』の開明性と近代教育への意義一（抄）」田口喜久恵『日本医史学雑誌』57(2) 171
- 「ベルツ，スクリバによる日本医学育成と後世への影響（抄）」都築正和『日本国際医学協会誌』(445) 10-11
- 「戦後における医学教育制度改革（抄）」福島統『日本医史学雑誌』57(2) 123
- 「日本の医学教育学理論の温新と実践の創出（抄）」堀原一『医学教育』42(Suppl.) 7
- 「日本医学会の継続的医学教育プログラム 歴史と展望（The Continuing Medical Education Program of the Japan Medical Association: Its history and future prospects）（英語）」Mikami Hiroshi『JMAJ: Japan Medical Association Journal』54(4) 205-209
- 「戦後における久布白落実の性教育論 性の問題解決をめぐる」嶺山敦子『人間福祉学研究』4(1) 91-104
- 04 医学用語**
- 「外科医に呼びかける英語 Mister 一誤りの訂正一」泉彪之助『医譚』(110) 6346-6349
- 「「遺伝病」この学術語のルーツをさぐる」板垣英治『北陸医史』(33) 73-89
- 「サイコを精神と訳した由来」酒井紀幸『日本医事新報』(4574) 65-66
- 「再度，「健康」という語の創始者について」杉浦守邦『医譚』(111) 6395-6415
- 「診療情報管理士のための医学と医学用語の歴史」高橋長裕『診療情報管理』22(3) 13-29
- 「「漢方」を英語論文でどのように表現すべきか」津谷喜一郎『漢方医学』35(3) 288-291
- 「「介護」の語源に関する歴史的再検討」中寫洋『日本獣医生命科学大学研究報告』(60) 127-136
- 「「精神障害」考 日本におけるその表記および用法に関して」原田憲一『精神医学史研究』15(1-2) 124-131

**05 医師会・学会**

- 「医学中央雑誌にみる恩賜財団済生会100年（抄）」相澤まゆみ，石井恵，伊奈川由利子，木島伸子，佐藤正恵，庄司絵里子，高崎千晶，波田野優子，深谷里子，吉原理恵，済生会図書室連絡会『医学情報サービス研究大会抄録集』28回，28
- 「実験潰瘍懇話会から日本潰瘍学会まで 温故治新」荒川哲男，竹本忠良，小林絢三，桑山肇，渡辺俊雄『潰瘍』38(2) iii-x
- 「日本医学物理学会の歴史」遠藤真広『医学物理』30(3) 75-90
- 「第54回医家先哲追薦会について」岡田靖雄『日本医史学雑誌』57(3) 351
- 「札幌医史学研究会について」島田保久『北辰』(11) 1-10
- 「【これだけは知っておきたい！ ペインクリニック Q&A】その他 一般社団法人日本ペインクリニック学会の歴史と現況」花岡一雄『麻醉科学レクチャー』2(4) 805-809
- 「〔巻頭言〕ふところの深い関西支部」深瀬泰旦『医譚』(110) 6223-6224
- 「日本歯科口腔科学会創立について—日本口腔科学会会誌第一号 創立総会議事録より—（抄）」山口秀紀，加來洋子，卯田昭夫他『日本歯科医史学会々誌』29(2) 140-141
- 06 医史学一般**
- 「臨床環境医学 過去，現在，そして未来に期待するものは？」石川哲，宮田幹夫，坂部貢『臨床環境医学』20(1) 1-10
- 「〔巻頭言〕関東と関西」石原力『医譚』(111) 6393-6394
- 「医と社会のコスモロジー 歴史に学ぶ近代日本と医師たちの課題と実践（第4回）精神医療・保健・福祉の嚆矢」小野尚香『治療』93(1) 137-141
- 「医と社会のコスモロジー 歴史に学ぶ近代日本と医師たちの課題と実践（第5回）医療宣教師と近代の医療福祉」小野尚香『治療』93(2) 303-308
- 「医と社会のコスモロジー 歴史に学ぶ近代日本

- と医師たちの課題と実践(第6回) 地域看護・保健活動の揺籃期」小野尚香『治療』93(3) 494-498
- 「医と社会のコスモロジー 歴史に学ぶ近代日本と医師たちの課題と実践(第7回) 感染症対策と近代」小野尚香『治療』93(4) 697-701
- 「医と社会のコスモロジー 歴史に学ぶ近代日本と医師たちの課題と実践(最終回) 子どもをめぐる医療・福祉・教育的支援の一例」小野尚香『治療』93(5) 1313-1317
- 「宇喜多秀家夫人「御病」と伏見稻荷社―「狐狩」と「陰陽師狩」をめぐる―」河内将芳『歴史文化研究』(創刊号)
- 「続・専門基礎分野における「医学史」授業に関する生徒指導書についての考察(2)(抄)」川東信秀『日本柔道整復接骨医学会誌』19(5) 288
- 「平井文庫―ある蔵書(文庫)の行方・顛末―」小関恒雄『医譚』(110) 6310-6314
- 「古医書のはなし 浅田宗伯白と『勿誤薬室方函』」小曾戸洋『漢方と鍼』35(1) 7
- 「古医書のはなし 孫思邈と『千金方』」小曾戸洋『漢方と鍼』35(2) 5-6
- 「古医書のはなし 吉益東洞と『類聚方』」小曾戸洋, 天野陽介『漢方と鍼』35(3) 6
- 「古医書のはなし 和田泰庵―近世相模角田村の名医」小曾戸洋, 天野陽介『漢方と鍼』35(4) 7-8
- 「医学史から vol.46 衛生行政のはじまり」酒井シヅ『すこやか健保』746,2
- 「医学史から vol.47 ヘルニア」酒井シヅ『すこやか健保』747,2
- 「医学史から vol.48(最終回) 血液循環と経絡」酒井シヅ『すこやか健保』748,2
- 「医学史こぼれ話 白粉の話」酒井シヅ『TMDC MATE』(262) 18
- 「医学史こぼれ話 溜飲の話」酒井シヅ『TMDC MATE』(263) 20
- 「医学史を紐解く―近代の先駆者たち1 藤浪鑑」酒井シヅ『Medical Tribune』44(4) 59
- 「医学史を紐解く―近代の先駆者たち2 尼子富士郎」酒井シヅ『Medical Tribune』44(8)
- 「医学史を紐解く―近代の先駆者たち3 大森治豊 帝王切開・内臓外科に先鞭をつける」酒井シヅ『Medical Tribune』44(12) 69
- 「医学史を紐解く―近代の先駆者たち4 呉秀三 精神医学と医史学の草分け」酒井シヅ『Medical Tribune』44(17)
- 「古代からの医学史 西洋医学・薬学小史」志田信男『日本伝統獣医学会誌』19(1) 57-65
- 「DNAに刻まれた日本人の歴史(抄)」篠田謙一『日本臨床細胞学会雑誌』50(Suppl.1) 83
- 「医療史回り舞台 糖尿病の合併症に斃れた陸軍大将 秋山好古」篠田達明『整形・災害外科』54(1) 61
- 「医療史回り舞台 秋山真之の虫垂炎『手かざし療法』」篠田達明『整形・災害外科』54(2) 182
- 「医療史回り舞台 古代エジプト人にみられた低身長症」篠田達明『整形・災害外科』54(4) 381
- 「医療史回り舞台 杉田玄白 長命の秘訣」篠田達明『整形・災害外科』54(12) 1497
- 「戦後の船員の医療の歴史 昭和26年から昭和60年にかけての船員の外来・入院患者の統計から」庄田昌隆, 山中功一『海上医学研究』(46) 87-94
- 「『続日本後紀』にみる平安時代初期の医療福祉(仁明天皇時代)」鈴木英鷹『帝塚山学院大学人間科学部研究年報』(13) 42-58
- 「『日本後紀』にみる平安時代初期の医療福祉(桓武天皇から淳和天皇時代まで)」鈴木英鷹『大阪河崎リハビリテーション大学紀要』5, 39-62
- 「古代日本人の自殺の特徴(『日本書紀』の自殺事例)(抄)」鈴木英鷹『精神神経学雑誌』2011特別, S-304
- 「古代の日本人の自殺について『日本書紀』の自殺記事による検討」鈴木英鷹, 野村和樹『精神医学』53(2) 191-196
- 「安政条約下の日仏と医の接点」武正建一『日仏医学』33(1) 1-11
- 「飛鳥時代の病氣 古代の医療を尋ねて」田中順一『洛和会病院医学雑誌』22, 107-115

- 「臨床研究の歴史とその意義，そして臨床疑問を考える（抄）」中川敦夫『日本児童青年精神医学会総会抄録集』52回，150
- 「ヒポクラテス全集」その内容の検討 ヒポクラテス「誓い」と「医の倫理」（抄）中川敏郎『日本柔道整復接骨医学会誌』19（5）252
- 「わが国の保健・医療・福祉分野における個人情報取扱いと管理に関する文献的考察」長岡真希子，細谷たき子，小林淳子，叶谷由佳，大竹まり子，森鍵祐子『日本在宅ケア学会誌』15（1）52-61
- 「二枚の写真から日独医学交流150年を振り返る」橋本卓雄『聖マリアンナ医科大学雑誌』39（2-3）151-155
- 「バイオテクノロジーの温故知新 自然界に潜む法則を解き明かす（第4回） 遺伝子クローニングの歴史 激しい競争で培われた分子生物学の礎」濱田博司『実験医学』29（13）2177-2182
- 「ヒポクラテス全集にみる肘関節脱臼（抄）」福田格『日本柔道整復接骨医学会誌』19（5）290
- 「医学，数学，物理学におけるパラダイム転換—特に医学へのその概念の使用の問題について—（抄）」藤岡彰，藤岡和美『日本医史学雑誌』57（2）164
- 「体質医学研究の歴史と今後の展望」三村悟郎『日本体質医学会雑誌』73（1）6-11
- 「子どもの埋葬例にみる縄文時代の死生観 現代における死に関する問題理解の一助として」山田康弘『児童青年精神医学とその近接領域』52（3）233-237
- 「近世から近代へ—日独交流における医学と医療（抄）」ヴォルフガング・ミヒェル『日本国際医学協会誌』（445）7-8

## 07 医の倫理

- 「生殖医療に伴う倫理課題の変遷」青野敏博『日本生殖看護学会誌』8（1）53-56
- 「医学研究における被験者保護—倫理規程の歴史的展開を視点として—」関根透，島田道子『日本医史学雑誌』57（1）63-70

## 08 医療器械

- 「鏡下じ語 初期の鼻・副鼻腔内視鏡の歴史」飯沼壽孝，善浪弘善，中嶋正人『耳鼻咽喉科・頭頸部外科』83（8）607-611
- 「内視鏡の開発 その歴史と現在（抄）」内山隆夫『日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集』29回，115
- 「大腸拡大内視鏡開発の歴史」工藤進英，森悠一，三澤将史，渡邊大輔，小形典之，工藤豊樹，畑英行，小林芳生，西脇裕高，若村邦彦，和田祥城，宮地英行，池原伸直，山村冬彦，大塚和朗『Medical Technology』39（1）74-77
- 「医療機器の歴史（抄）」酒井シヅ『医療機器学』81（2）85
- 「日本初の電気式補聴器「リッカフォン」について 加藤亨と聴話教育（抄）」坂井美恵子，村岡輝雄，三浦貴大，中道勝久，伊福部達『Audiology Japan』54（5）463-464
- 「眼科顕微鏡の開発経過—カールツァイス社の技術資料より—」園田真也『医譚』（110）6304-6309
- 「X線装置の温故知新（抄）」田中修二『岐阜県放射線技師会雑誌』76，83
- 「血糖値測定器の開発の歴史と現状」外山滋『国立障害者リハビリテーションセンター研究紀要』（31）1-8
- 「もう一つの電子顕微鏡60年史 phase-plate 電子顕微鏡の発達と生物学的応用（Another 60 years in electron microscopy: development of phase-plate electron microscopy and biological applications）（英語）」Nagayama Kuniaki『Journal of Electron Microscopy』60（s1）S43-S62
- 「潰瘍治療の変遷と内視鏡」丹羽寛文『Gastroenterological Endoscopy』53（9）2963-2987
- 「消化器内視鏡の過去・現在・未来そして日本の課題」丹羽寛文『Gastroenterological Endoscopy』53（12）3701-3735
- 「【光照射器】光照射器の変遷」野本理恵『日本歯科理工学会誌』30（4）239-241
- 「【機能的顎矯正装置を考える】機能的顎矯正装置の歴史」濱田充彦『小児歯科臨床』16（3）35-48
- 「freeze-etch 電子顕微鏡の開発と進歩（The origins

- and evolution of freeze-etch electron microscopy) (英語) Heuser John E. 『Journal of Electron Microscopy』 60 (s1) S3-S29
- 「補聴器の進歩 (抄)」 細井裕司 『日本耳鼻咽喉科学会会報』 114 (4) 295-296
- 「日本初の電気式補聴器「リッカフォン」について 性能と装用時の聞こえ (抄)」 三浦貴大, 村岡輝雄, 坂井美恵子, 中道勝久, 伊福部達 『Audiology Japan』 54 (5) 467-468
- 「わが国の医療機器および理科学機器取扱いの変遷—医療用ガラスから理科学ガラスへ— (抄)」 宮崎啓一, 多胡彰郎 『医史学雑誌』 46 (2) 110
- 「日本初の電気式補聴器「リッカフォン」について 修復と特性測定 (抄)」 村岡輝雄, 坂井美恵子, 三浦貴大, 中道勝久, 伊福部達 『Audiology Japan』 54 (5) 465-466
- 「超音波診断装置の小型化の歴史 20年間で1/600 になって手のひらに載ったエコー (抄)」 山崎延夫 『超音波医学』 38 (1) 38
- 09 医療制度史・医療史**
- 「患者運動の存立基盤を探る—一戦中から戦後にいたる日本患者同盟の動きを中心に—」 青木純一 『社会科学年報』 (45) 3-14
- 「日本における臨床心理学の導入と受容過程 児童相談, 教育相談の歴史 (抄)」 網野武博, 鈴木聡志, 安齊順子, 保坂亨 『日本心理学会大会発表論文集』 75回, WS24
- 「医療基本法を考える 医療基本法論の歴史と現状」 一家綱邦 『医事法学』 26, 16-38
- 「目付海防掛 (蕃書調所総裁) 大久保忠寛の「病幼院創立意見」安政4年(1857)について (抄)」 稲松孝思 『日本医史学雑誌』 57 (2) 199
- 「【社会福祉の原点を考える】社会福祉事業法制定後60年の社会福祉制度 昔, 今, これから」 岩田克夫, 板山賢治, 鈴木五郎, 蟻塚昌克 『月刊福祉』 94 (6) 12-21
- 「優生保護法における優生審査の実際にふれて (抄)」 岡田靖雄 『日本医史学雑誌』 57 (2) 137
- 「近代朝鮮における宣教医療と植民地医学—その類似点と相違点について— (抄)」 小田敏花 『日本医史学雑誌』 57 (2) 131
- 「戦前の「行旅病者救護所」 (抄)」 金川英雄, 堀みゆき 『日本医史学雑誌』 57 (2) 138
- 「【ソーシャルワークと思想】ソーシャルワークの制度化に関する史的考察 J.S. Millの思想を通じて」 金子光一 『ソーシャルワーク研究』 36 (4) 283-290
- 「【遺伝カウンセリングハンドブック】総論 遺伝カウンセリングの歴史」 川目裕 『遺伝子医学MOOK』 別冊遺伝カウンセリングハンドブック, 22-24
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 (第17回) 静岡県西部糖尿病療養指導士制度の歩み」 菊池範行 『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』 10 (1) 137-139
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 (第20回) 西東京糖尿病療養指導士のあゆみ (西東京)」 貴田岡正史 『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』 10 (4) 626-629
- 「中島友玄の患者の通院圏 (抄)」 木下浩, 中島洋一 『日本医史学雑誌』 57 (2) 201
- 「明治期におけるドイツ医学の受容と普及 (抄)」 吉良枝郎 『日本医史学雑誌』 57 (2) 120
- 「日本の医療史, 特に入院施設の歴史」 酒井シヅ 『日本医師会雑誌』 139 (11) 2365-2369
- 「日本の医療史—特に入院施設の歴史— (特別講演)」 酒井シヅ, 木村丹 『第23回全国有床診療所連絡協議会総会報告書』 113-122
- 「海上医学研究の歴史と展望 戦後60年の船員の医療史をふり返って (抄)」 庄田昌隆, 山中功一 『神奈川医学会雑誌』 38 (1) 92
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 (第18回) 神奈川県糖尿病療養指導士認定機構のめざすもの」 調進一郎, 松葉育郎 『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』 10 (2) 276-279
- 「ニュージーランドの保健制度改革と日本の「つながり」—フレデリック・T・キングの1904年日本訪問とその影響—」 ジェームズ・ビーティ (James Beattie), 及川敬貴 『日本医史学雑誌』 57 (3) 305-323
- 「クリニカルパス その歴史と意義 (抄)」 副島秀

- 久『日本クリニカルパス学会誌』13(4) 346
- 「パリアティブケア（緩和ケア）概念とがん性疼痛への考え方の変遷」瀧川千鶴子『KKR札幌医療センター医学雑誌』8(1) 20-24
- 「内科系診療所医師の技術評価について 診療報酬体系の歴史的考察」田倉智之『日本臨床内科医学会誌』25(5) 622-626
- 「がん患者の在宅ケア ここ100年間とこれからの展望」谷田憲俊『ホスピスケアと在宅ケア』19(1) 2-5
- 「大阪の『人体問答』—明治8～12年刊行初等教育教科書における人体像—(抄)」月澤美代子『日本医史学雑誌』57(2) 213
- 「【社会保障の50年—皆保険・皆年金の意義と課題】国民皆保険50年の軌跡」土田武史『社会保障研究』47(3) 244-256
- 「【医のプロフェッショナルリズム】専門医制度の歴史と現状 専門医のあり方」寺崎文生『京都府立医科大学雑誌』120(6) 419-428
- 「【カルテを書く 医師にとっての「究極」のナラティブ】歴史とカルテ 医院とともに歩んだカルテ」田路了『N:ナラティブとケア』(2) 15-21
- 「【カルテを書く 医師にとっての「究極」のナラティブ】歴史とカルテ 地域とともに歩んだカルテ カルテと患者さんと私の物語」中村伸一『N:ナラティブとケア』(2) 8-14
- 「【国民皆保険50年—“いつでも、どこでも、誰でも”の医療の現状】国民皆保険50年を貫く対決軸」二宮厚美『保団連』(1073) 4-9
- 「2011年は国民皆保険発足50年—「広域化」ではなく、「共同の努力」で—」野村拓『月刊保団連』(1066) 44-48
- 「なにが医療を動かしているか—医療の政治力学—第1回 医療政策と医療運動」野村拓『月刊保団連』(1068) 36-38
- 「なにが医療を動かしているか—医療の政治力学—第2回 診療報酬と医療費」野村拓『月刊保団連』(1069) 48-50
- 「なにが医療を動かしているか—医療の政治力学—第3回 市場・保障・折り合い」野村拓『月刊保団連』(1073) 36-38
- 「なにが医療を動かしているか—医療の政治力学—第4回 日本医療への目線」野村拓『月刊保団連』(1078) 45-47
- 「なにが医療を動かしているか—医療の政治力学—第5回 グローバリゼーションと医療」野村拓『月刊保団連』(1079) 45-48
- 「【我が国の医療保障の歴史 明治以降の保健医療の尾根道をたどる】」伯井俊明『大阪府医師会報』(370) 3-16
- 「医療の質を巡って 医療の質，その歴史と展望(抄)」長谷川敏彦『医療の質・安全学会誌』6(Suppl.) 100
- 「医師と労働運動を考える(上・中・下)」日野秀逸『月刊保団連』(1073, 1077, 1078) 42-48, 45-47, 55-58
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末 戦時下の組合病院づくり」前田信雄『社会保険旬報』(2452) 30-32
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末 国民健康保険法事始め」前田信雄『社会保険旬報』(2461) 40-43
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末 国保法はなぜつくられたか 様々な動機と政策目標」前田信雄『社会保険旬報』(2464) 18-21
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末 大山鳴動に終わった医療制度改革」前田信雄『社会保険旬報』(2467) 36-39
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末 農村医療のバイオニア」前田信雄『社会保険旬報』(2470) 24-27
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末 国保保健婦が国保を支えた」前田信雄『社会保険旬報』(2473) 24-27
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末 戦中国保の日英比較」前田信雄『社会保険旬報』(2476) 24-27
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末 戦中・戦後の国保 日英比較」前田信雄『社会保険旬報』(2479) 26-29
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望(第19回) 青森糖尿病療養指導士の育成と活動」増田光男



- 『Q&A でわかる肥満と糖尿病』10(3) 476-479
- 「明治17年の女子の医術開業試験受験許可について(抄)」三崎裕子『日本医史学雑誌』57(2) 204
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望(第22回) 群馬県糖尿病療養指導士の会(群馬CDEの会)6年間の歩み」宮田洋子『Q&A でわかる肥満と糖尿病』10(6) 913-916
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望(第21回) 福井糖尿病療養指導士養成の現状と課題」若杉隆伸, 吉田陽子, 新田和美『Q&A でわかる肥満と糖尿病』10(5) 764-766
- 「医療政策の転換と日本社会の対応について 戦後期の健康保険制度確立について(抄)」渡部幹夫, 福田洋, 田中誠二, 鈴木晃仁『医療看護研究』7(1) 80-81
- 「日本の医療保障制度の歴史的問題(抄)」渡部幹夫, 福田洋, 田中誠二, 鈴木晃仁『医療看護研究』8(1) 61
- 「災害医学の変遷と壁(抄)」和藤幸弘『日本集団災害医学会誌』16(3) 337
- 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史**
- 「医史資料 鶴見三三教授と予防医学講座の創設 青木國雄『現代医学』59(2) 365-378
- 「「海水浴」の語誌的研究」青木純一, 北野与一『東京都市大学人間科学部紀要』(2) 1-11
- 「わが国の1918-20年"スペインかぜ"パンデミックによる超過死亡の年齢・地域構造(抄)」逢見憲一, 丸井英二『日本公衆衛生学会総会抄録集』70回, 152
- 「インフルエンザワクチンの今昔」柏木征三郎, 加地正郎, 武内可尚, 菅谷憲夫『インフルエンザ』12(1) 21-31
- 「タバコか健康か 疫学の歴史的背景から(Tobacco or Health: In the Historical Context of Epidemiology)(英語)」Katanoda Kota『Circulation Journal』75(12) 2763-2764
- 「私たちは何のために, どのように在り, どこに向かうか 救護活動の経験を通して 歴史研究からみた災害医療 明治29年三陸海嘯と平成23年東日本大震災(抄)」川原由佳里『日本災害看護学会誌』13(1) 55
- 「【産業安全運動の変遷とこれからの展望】労働衛生の変遷と今後の展望」櫻井治彦『安全と健康』62(1) 33-37
- 「水俣病の授業—公害から環境の再認識へ—」白尾裕志『歴史地理教育』(775)
- 「近世の湯治と養生のすすめ」高橋陽一『年報日本思想史』(10) 16-18
- 「衛生展覧会と中心感染説(抄)」竹原直道『日本医史学雑誌』57(2) 132
- 「熱中症予防対策の歴史」中井誠一『日本生気象学会雑誌』48(1) 9-14
- 「妊産婦と乳幼児の健康を支援する手帳制度の変遷と公衆衛生行政上の意義について」中島正夫『日本公衆衛生雑誌』58(7) 515-525
- 「香月牛山『老人必用養草』(1716)にみる老人の保養観(抄)」中村節子, 平尾真智子『日本医史学雑誌』57(2) 175
- 「予防先進国・日本で生まれた人間ドックの歴史(抄)」奈良昌治『人間ドック』26(2) 158
- 「公衆衛生のアイデンティティ・クライシス 生存転換概念による歴史分析(抄)」長谷川敏彦, 小塩篤史, 藤谷克己『日本公衆衛生学会総会抄録集』70回, 154
- 「健康管理遊歩道 わが国における基礎的産業保健活動(BOHS)の歴史と現状」堀江正知『健康管理』(687) 38-39
- 「鉄鋼業の産業保健の歴史と今後の課題」宮本俊明『産業医学レビュー』23(4) 257-285
- 11 解剖学史**
- 「ポンペのオランダ語解剖学講義ノートの原典はボックの人体解剖学書と解剖図譜である(抄)」相川忠臣, ハルメン ボイケルス, 酒井シヅ『日本医史学雑誌』57(2) 182
- 「高橋瑞の骨標本調査—発達した下肢骨, 深い耳状面前溝—」太田妙子『医譚』(110) 6284-6295
- 「リンパ管の解剖学とリンパ浮腫」大谷修, 大谷裕子『脈管学』51(2) 161-165
- 「【肝胆膵の外科解剖】肝解剖の歴史」小暮公孝『胆と膵』32(臨増特大) 1019-1026

- 「ガレノス『身体諸部分の用途について』第1巻の解題と翻訳」坂井建雄，池田黎太郎，澤井直，安西なつめ『日本医史学雑誌』57(4) 455-481
- 「Mr. キンストレーキの脳における解剖学名挿入の試み」篠原治道『北陸医史』(33) 97(A1)-91(A7)
- 「本多錦吉郎による美術教育の為の解剖学書について(抄)」島田和幸『日本医史学雑誌』57(2) 125
- 「頭骨計測に基づいた北アメリカにおける中国人移民人口の歴史 (Chinese immigrant population history in North America based on craniometric diversity) (英語)」Schmidt Ryan W., Seguchi Noriko, Thompson Jennifer L. 『Anthropological Science』119(1) 9-19
- 「【脳・脊髄の血管—発生の科学と臨床】脳血管の発生と解剖 脳血管解剖の歴史」田中美千裕『Clinical Neuroscience』29(10) 1105-1109
- 「小野陽風園の社会福祉事業と教育用屍体解剖実習」寺畑喜朔『北陸医史』(33) 49-55
- 「辛亥革命までに刊行された中国語解剖学書・生理学書について(抄)」松本秀士，坂井建雄『日本医史学雑誌』57(2) 126
- 「バリャドリッド(スペイン)の17~18世紀の共同墓地から得られた修道僧の骨におけるI型Monteggia脱臼骨折 (Type I Monteggia fracture-dislocation in a monk from a 17th-18th century necropolis of Valladolid (Spain)) (英語)」Lopez Belen, Caro Luis, Pardinan Antonio F. 『Anthropological Science』119(1) 39-47
- 「満州語西欧解剖学書『欽定格體全録』について(抄)」渡辺純成『日本医史学雑誌』57(2) 127

## 12 眼科史

- 「特発性黄斑円孔に対する硝子体手術 20年の変遷と未来への展望」岩崎琢也『日本眼科学会雑誌』115(1) 3-6
- 「コンタクトレンズ博物誌(その19)」大橋敏夫『日本コンタクトレンズ学会誌』53(2) 162-166
- 「神経眼科学における重要課題の原典・古典解題(抄)」大庭紀雄『神経眼科』28(増補1) 102
- 「【トーリック眼内レンズの現状】トーリック眼内

- レンズの歴史」神谷和孝『眼科手術』24(3) 268-271
- 「眼科手術における消毒法の変遷」園田真也『医譚』(111) 6462-6466
- 「眼科手術における消毒法の変遷(抄)」園田真也『日本医史学雑誌』57(2) 143
- 「眼科における消毒法の変遷(抄)」園田真也『医譚』(110) 6371-6372
- 「眼目秘録(第三報)白内障について」竹田眞『北辰』(11) 11-14
- 「眼目秘録について(第三報)(抄)」竹田眞『北辰』(11) 44
- 「屈折矯正手術の歴史と現況(抄)」山口達夫『神奈川医学会雑誌』38(1) 43

## 13 看護史

- 「文学者の日記・記録に見る看取り期の食事(抄)」青木汐里，腰本さおり，山口敬子，本間健『日本家政学会大会研究発表要旨集』63回，96
- 「看護基礎教育における患者教育の変遷 1951~1966年までの看護学教科書の文献研究」芥川清香，西川まり子『医学と生物学』155(8) 477-482
- 「【看護図書館の歴史】「慈恵」の看護教育と図書館の歴史」阿部信一，荒井邦子『看護と情報』18, 51-55
- 「伝わる記録・使える記録 医療記録の歴史と安心・安全・満足度向上のための看護記録」有吉澄江『師長主任業務実践』16(334) 30-59
- 「【看護図書館の歴史】看護専門学校図書室とその図書館員の30年間(1970年-2000年) 経緯と状況から看護学校図書館の役割を再考する」石川道子『看護と情報』18, 30-34
- 「看護歴史研究におけるプランゲ文庫の意義(抄)」大石杉乃『日本医史学雑誌』57(1) 90-91
- 「プランゲ文庫所蔵雑誌からみた地方における看護の機関誌発刊状況」大石杉乃『日本看護歴史学会誌』(24) 125-133
- 「プランゲ文庫所蔵新聞にみられる「看護」に関する広告記事の分析—九州の場合—(抄)」大石杉乃『日本医史学雑誌』57(2) 212

- 「日本における看護師の役割 歴史的背景の考察から」岡須美恵『看護・保健科学研究誌』11(1) 243-246
- 「神奈川県内の看護師等養成機関が発行した記念誌に関する調査報告」小野桂, 青木壽子, 矢島道子『看護と情報』18, 87-89
- 「【看護図書館の歴史】米国統治下における沖縄の看護教育事情」嘉手苺英子『看護と情報』18, 35-38
- 「明治期の看護学教科書における喫煙に関する記述(抄)」川根博司, 渡辺さゆり, 竹下直子『医学教育』42(Suppl.) 77
- 「看護の技を支える用具の変遷 医療機器・看護用具の開発にみる看護技術の歴史(抄)」川原由佳里『日本看護技術学会学術集会講演抄録集』10回, 57
- 「看護基礎教育の精髓 本邦における看護基礎教育の歴史と変遷から」木戸久美子『山口県立大学学術情報』(4) 13-19
- 「日本と英国イングランドにおける近現代看護の変遷と文献の検討 看護婦数と看護婦規則の変遷」日下修一『獨協医科大学看護学部紀要』5(1) 29-37
- 「明治期の看護書にみる精神看護教育」日下修一『獨協医科大学看護学部紀要』4, 59-68
- 「大関和の看護観—看護の三徳「精神・言行・学技」について—(抄)」上坂良子, 水田真由美『医譚』(110) 6364-6365
- 「私立東京看護婦学校の設立とその動向(抄)」上坂良子, 水田真由美, 黒田裕子『日本医史学雑誌』57(2) 174
- 「実践! PBL教育 現場に即した展開法(第2回) 保健医療分野に広がったPBL教育の歴史的経緯」神津忠彦『看護展望』36(3) 322-328
- 「看護学生が高齢者の理解を深めるために能楽書は活用できるか 世阿弥『風姿花伝』より」近藤裕子, 山田智子, 白木智子, 横山ハツミ『広島国際大学看護学ジャーナル』8(1) 89-93
- 「初学者のための『看護覚え書』看護の現在をナイチンゲールの原点に問う(29)」神庭純子『総合看護』46(2) 33-40
- 「歴史から紐解く看護技術(第1回) 教材は日本の美術品 銅版版画で学んだ包帯学」鈴木紀子『看護技術』57(1) 74-76
- 「歴史から紐解く看護技術(第2回) 西南戦争で活躍した三角巾法」鈴木紀子『看護技術』57(2) 76-78
- 「歴史から紐解く看護技術(第3回) 『病家須知』に学ぶ看護の心得と看護技術」鈴木紀子『看護技術』57(3) 62-64
- 「歴史から紐解く看護技術(第4回) 「体温測定法」と水銀体温計の開発」鈴木紀子『看護技術』57(4) 346-348
- 「歴史から紐解く看護技術(第5回) 担架術 知っておきたい傷病者運搬法」鈴木紀子『看護技術』57(6) 561-564
- 「歴史から紐解く看護技術(第6回) 陸軍看護卒の背囊に入っていた注射器の謎」鈴木紀子『看護技術』57(7) 637-639
- 「歴史から紐解く看護技術(第7回) 「換毒論」と「瘡瘡論」 “絵”に残る西南戦争兵士の褥瘡」鈴木紀子『看護技術』57(8) 57-60
- 「歴史から紐解く看護技術(第8回) 副木固定三角巾と白衣のベルトの共通点」鈴木紀子『看護技術』57(9) 65-68
- 「歴史から紐解く看護技術(第9回) 「便通介抱」と「利尿介抱」大関和の便器カバー」鈴木紀子『看護技術』57(10) 916-920
- 「歴史から紐解く看護技術(第10回) 輸血法 戦場では衛生兵も給血者」鈴木紀子『看護技術』57(11) 70-73
- 「歴史から紐解く看護技術(第11回) 止血法 兵士の赤い襷は止血中の印」鈴木紀子『看護技術』57(13) 1248-1251
- 「歴史から紐解く看護技術(第12回) 家庭看護の必需品「氷嚢」牛馬豚の膀胱は舶来品」鈴木紀子『看護技術』57(14) 1345-1348
- 「日本とMYUにおける看護教育システムについての概論(Overview of nursing education system in Japan and MYU)(英語)(抄)」Sekito Yoshiko『宮城大学看護学部紀要』14(1) 125
- 「占領期の看護教育指導者講習会における全身清

- 拭に関する教授内容」滝内隆子，大津廣子，足立みゆき『岐阜看護研究会誌』(3) 1-8
- 「セネガル共和国における看護教育の歴史的変遷」田村豊光，小林誠子，清水真由美，松本安代『国際保健医療』26 (4) 341-348
- 「ドイツ看護史の真相 成熟から破綻へ」田村直俊『埼玉医科大学短期大学紀要』22, 11-19
- 「ドイツ看護史の真相 ディアコニッセ運動の発展」田村直俊『埼玉医科大学短期大学紀要』22, 1-10
- 「オレム看護論について（第1報）」出口睦雄，野田貴代『愛知きわみ看護短期大学紀要』7, 149-154
- 「江戸期における認知症介護の実情（抄）」中尾治子『日本認知症ケア学会誌』10 (2) 453
- 「老年看護の過去・現在・未来」中島紀恵子『老年看護学』16 (1) 5-12
- 「昭和30年代の家庭養護婦派遣事業関連集会における組織化と主体形成 研究内容と実践方法の検証」中嶋洋『福祉文化研究』20, 67-80
- 「【看護図書館の歴史】日本看護協会図書館の情報サービスの変遷」根岸准子『看護と情報』18, 47-50
- 「北米の Faculty Development の動向と看護学教育 高等教育におけるFDの歴史と事例から」野地有子，北池正，今村恵美子，松田直正『千葉看護学会誌』16 (2) 95-97
- 「看護史補強あ・ら・かると（第1回）骨格づくり」野村拓『看護実践の科学』36 (2) 78-79
- 「看護史補強あ・ら・かると（第2回）限られた時間の中で」野村拓『看護実践の科学』36 (3) 78-79
- 「看護史補強あ・ら・かると（第3回）エリザベス救貧法・前後」野村拓『看護実践の科学』36 (4) 78-79
- 「看護史補強あ・ら・かると（第4回）病める貧者 (sick poor)」野村拓『看護実践の科学』36 (5) 78-79
- 「看護史補強あ・ら・かると（第5回）節目としての戦争」野村拓『看護実践の科学』36 (6) 78-79
- 「看護史補強あ・ら・かると（第6回）母子保健と看護」野村拓『看護実践の科学』36 (8) 80-81
- 「看護史補強あ・ら・かると（第7回）総力戦と看護マンパワー」野村拓『看護実践の科学』36 (9) 76-77
- 「看護史補強あ・ら・かると（第8回）戦間期の看護」野村拓『看護実践の科学』36 (10) 76-77
- 「看護史補強あ・ら・かると（第9回）日米・看護マンパワー」野村拓『看護実践の科学』36 (11) 76-77
- 「看護史補強あ・ら・かると（第10回）看護ヒエラルキー」野村拓『看護実践の科学』36 (12) 76-77
- 「看護史補強あ・ら・かると（第11回）入院日数と看護」野村拓『看護実践の科学』36 (13) 76-77
- 「ラオスにおける看護師／助産師教育の歴史的変遷と将来性 (Historical transition and future on Nursing/Midwifery education in Lao P.D.R.) (英語) (抄)」Hashimoto Mayumi, Horikoshi Yoichi『国際保健医療』26 (3) 213
- 「褥瘡予防における体位変換頻度の記載の推移 日本で出版された看護の教科書等の検討から」原田千鶴，荒尾博美，萩澤さつえ『日本看護歴史学会誌』(24) 86-96
- 「明治初期における翻訳家庭看護書の分析（抄）」樋野恵子『医療看護研究』8 (1) 67-68
- 「明治初期における医療の近代化 家庭と病院 看護の分化過程（抄）」樋野恵子，月澤美代子『順天堂医学』57 (1) 78
- 「歴史から学ぶ医療と看護（抄）」姫路赤十字看護専門学校『姫路赤十字病院誌』35, 71-72
- 「『新纂看護婦学』（大正四年刊）にみる医師長尾肱斎の看護観（抄）」平尾真智子『医譚』(110) 6363-6364
- 「『高く尊き看護婦の使命』（昭和8年刊）にみる医師二木謙三の看護観（抄）」平尾真智子『日本医史学雑誌』57 (2) 173
- 「光明皇后の施薬院・悲田院と施浴伝説—看護史の視点からの考察—（抄）」平尾真智子『日本

医史学雑誌』57(3) 371-372

「わが国におけるベッドサイドの患者教育に関する変遷 近代看護のはじまりから現代まで」森山美香『看護教育学研究』20(1) 30-43

「戦前の東京養育院における看護と看護教育」山崎裕二, 高橋順子, 古田愛子, 関戸ひとみ『日本看護歴史学会誌』(24) 22-36

「【看護図書館の歴史】 図書館と古書をめぐって」吉川龍子『看護と情報』18, 43-46

#### 14 寄生虫学史

「日本での風土病との戦い 日本住血吸虫症根絶の歴史 (The War against a Regional Disease in Japan: A History of the Eradication of Schistosomiasis japonica) (英語)」Kajihara Noriaki, Hirayama Kenji『Tropical Medicine and Health』39(1 Suppl. 1) 3-44

#### 15 教室・大学史

「戦時体制」と「官立金澤医科大学」—(その三)—「十五年戦争」末期の教授会記録から— 蒔昭三『北陸医史』(33) 63-72

「千葉大学医学部前史 共立病院・公立千葉病院時代」石出猛史『千葉医学雑誌』87(4) 139-149

「フーフェラントの「医戒」と済生学舎の建学の精神について(抄)」幸野健, 唐沢信安, 山本鼎, 志村俊郎, 殿崎正明『日本医史学雑誌』57(2) 183

「医史資料 名古屋大学眼科と遺伝性網膜疾患」三宅養三『現代医学』59(1) 181-184

#### 16 軍陣医学史

「“A”レポート及び“G”レポート(「ダグウェイ文書」)について(抄)」蒔昭三『日本医史学雑誌』57(2) 133

「“A”レポート及び“G”レポート(「ダグウェイ文書」)について」蒔昭三『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』12(1) 9-14

「シベリア出兵におけるスペイン・インフルエンザの問題」井竿富雄『山口県立大学学術情報』(4) 1-12

「細菌戦部隊の史料と一将校の顛末」近藤昭二『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』12(1) 1-8

「アジア太平洋戦争期における医育機関の卒業生の戦没者について」末永恵子『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』12(1) 15-21

「西南戦争と大阪陸軍臨時病院(抄)」鈴木紀子『日本医史学雑誌』57(2) 172

「陸軍衛生要員の育成と一年志願兵制度の創設」鈴木紀子『国史館史学』(15) 32-51

#### 17 形成外科学史

「日本における軍陣医療としての形成外科 日華事変から第二次世界大戦時における旧帝国陸軍の医学史料より」泉彰典, 山本直人, 柳林聡, 東隆一, 清澤智晴『日本形成外科学会誌』31(10) 669-675

「【乳房インプラントによる乳房増大術の基本】乳房インプラントの歴史的背景」谷野隆三郎, 山崎明久『形成外科』54(10) 1087-1094

「歴史に好奇心(シリーズ2) 古きを活かして現在も活かす 第一次大戦後にできた顎顔面外科・形成外科」森昌彦『歯科医療』25(2) 125-142

#### 18 外科史

「1枚のシェーマ 大動脈外科の歴史」青見茂之『胸部外科』64(6) 478

「外科学の古典を読む [第10回] Gambee 吻合の原典」荒武寿樹, 亀岡信悟『外科』73(10) 1088-1092

「外科学の古典を読む [第7回] Milligan-Morgan 法の原典」小川真平, 亀岡信悟『外科』73(7) 747-751

「外科学の古典を読む [第12回] 臨床肝移植の原典 Starzl (part 1)」金子順一, 國土典宏『外科』73(13) 1484-1488

「ヨーロッパと日本での現代の手術において Jan Mikulicz Radecki が与えた影響 (The influence of Jan Mikulicz Radecki on modern surgery in Europe and Japan) (英語)(抄)」Kielan Wojciech『日本臨床外科学会雑誌』72(増刊) 273

- 「鏡視下手術の歴史と問題 米国での経験から，特に Abdominal Compartment Syndrome について」北濱昭夫『小切開・鏡視外科学会雑誌』2 (1) 59-63
- 「【肛門疾患治療の裏技，秘伝，奥義】痔核 痔核に対する古典的結紮療法」黒川彰夫，木附公介『外科』73 (9) 926-931
- 「外科学の古典を読む [第1回] Appleby 手術の原典」國土典宏『外科』73 (1) 65-67
- 「外科学の古典を読む [第2回] Rex-Cantlie 線の原典」國土典宏，進藤潤一『外科』73 (2) 196-198
- 「外科学の古典を読む [第3回] McBurney 点，McBurney 法の原典」國土典宏，河口義邦『外科』73 (3) 287-290
- 「外科学の古典を読む [第4回] Pringle 法の原典」國土典宏，宮田陽一『外科』73 (4) 396-399
- 「外科学の古典を読む [第5回] Zollinger-Ellison 症候群の原典」國土典宏，山下俊『外科』73 (5) 523-527
- 「連載 “外科学の古典を読む” [第1回 Appleby 手術の原典] (小誌 73 巻 1 号 65-67 頁) について」國土典宏，尾形佳郎『外科』73 (10) 1093
- 「北アメリカにおける膵頭十二指腸切除術の進歩 (Development of Pancreatoduodenectomy in North America) (英語)」Schnelldorfer Thomas, Reid-Lombardo Kaye, Sarr Michael G. 『Surgery Today』41 (3) 377-381
- 「外科学の古典を読む [第6回] 葛西手術の原典」進藤潤一，國土典宏『外科』73 (6) 620-623
- 「凍結手術の歴史 (History of Cryosurgery) (英語)」Sumida Sajio 『低温医学』37 (1) 8-13
- 「本邦における膵臓外科の歴史と私の経験」中尾昭公『膵臓』26 (2) 117-122
- 「医学の窓 日本の食道外科黎明期にみた食道潰瘍症患者の追憶から」中島和彦『千葉県医師会雑誌』63 (3) 132-135
- 「血管手術の世界史 (The history of vascular surgery in the world) (英語) (抄)」Balas Panagiotis E. 『日本心臓血管外科学会雑誌』40 (Suppl.) 107-108
- 「南蛮流外科の諸問題について (抄)」ミヒェルヴォルフガング『医譚』(110) 6362-6363
- 「歴史に好奇心 古きを活かして現在も活かす 理髪外科から科学的外科へ 外科の発達史」森昌彦『歯科医療』25 (1) 139-156
- 「中国の口腔顔面外科の教科書 第二次世界大戦後から現代に至る教科書からみた教育体制と臨床技術について」森昌彦，住友伸一郎，長縄鋼亮，谷口敬佑，太田貴久，田中四郎，式守道夫『日本口腔外科学会雑誌』57 (5) 251-258
- 「外科学の古典を読む [第9回] Kocher 授動の原典」山口博紀，名川弘一，北山丈二『外科』73 (9) 983-986
- 「外科学の古典を読む [第11回] Lister の防腐手術の原典」山下裕玄，名川弘一，北山丈二『外科』73 (11) 1205-1210
- 「脳神経外科手術手技に関する私見とその歴史的背景 後頭下開頭 (suboccipital craniotomy: SOC, suboccipitale Kraniotomie) 留意点とその対象疾患」米川泰弘『Neurological Surgery』39 (8) 789-809
- 「ABO 不適合生体肝移植の管理 過去および現在の傾向 (Management of ABO-Incompatible Living-Donor Liver Transplantation: Past and Present Trends) (英語)」Raut Vikram, Uemoto Shinji 『Surgery Today』41 (3) 317-322
- 「外科学の古典を読む [第8回] Miles 手術の原典」渡邊聡明『外科』73 (8) 868-870

## 19 細菌学史

- 「滅菌保証 滅菌の理論について 対数的死滅則の概要と，その歴史的形成過程」上寺祐之，安原洋，森屋恭爾『感染制御』7 (1) 25-31
- 「バイオフィーム研究の歴史と将来」小林宏行，小林治，神谷茂『BACTERIAL ADHERENCE & BIOFILM』24, 7-16
- 「臨床微生物学の礎を築いた人々 気道関連の微生物研究に携わった研究者達の技術と思索 Diplococcus pneumoniae と称せられるまでに活躍した人々 (その2)」紺野昌俊『Modern Media』57 (8) 237-240
- 「Vibrio parahaemolyticus 発見から60年の回想 (Sixty Years from the Discovery of Vibrio para-

- haemolyticus and Some Recollections) (英語) Shinoda Sumio 『Biocontrol Science』16 (4) 129-137
- 「Renato Dulbecco ダルベッコ培地」難波正義 『岡山医学会雑誌』123 (1) 27-31
- 「プロバイオティクスの歴史と進化」光岡知足 『日本乳酸菌学会誌』22 (1) 26-37

## 20 産婦人科史

- 「助産婦の歴史 現代の助産婦 (その31)」石原力 『ペリネイタルケア』30 (1-6) 94-95, 158-160, 269-271, 350-352, 466-467, 564-565
- 「オランダ飢饉の冬 (Dutch Hunger Winter: 1944-45) に記録された妊婦の摂食エネルギー量に関する考察 (抄)」上田康夫, 丸尾原義, 野村和久 『日本周産期・新生児医学会雑誌』47 (2) 324
- 「女性の性機能・性機能障害 研究史と現状 (抄)」大川玲子 『母性衛生』52 (3) 37
- 「わが国の無痛分娩第1例目は与謝野晶子の分娩?」奥富俊之 『麻醉』60 (10) 1214-1220
- 「日本臨床腫瘍研究グループ (JCOG) の婦人科腫瘍グループ (GCSG) の歴史 (The History of the Gynecologic Cancer Study Group (GCSG) of the Japan Clinical Oncology Group (JCOG)) (英語)」Onda Takashi, Konishi Ikuo, Yoshikawa Hiroyuki, Kamura Toshiharu 『Japanese Journal of Clinical Oncology』41 (10) 1156-1161
- 「岩田市芦山家に所蔵される「婦人臓図」—東京大学本, 千葉大学本との比較— (抄)」片岡勝子 『日本医史学雑誌』57 (2) 124
- 「会陰保護と会陰切開についての歴史的考察 産婆の誇りと産科医の特権」木村尚子 『日本ウーマンズヘルス学会誌』10 (1) 33-38
- 「腹腔鏡を用いた単純子宮全摘術の歴史的背景と各術式の比較 (抄)」塩田充 『日本産科婦人科内視鏡学会雑誌』27 (1) 64
- 「水原三折の産育全書の版木 (抄)」福本雅文, 池田貴裕, 田中晃伸 『日本歯科医史学会々誌』29 (2) 117
- 「改めて母乳マッサージとは 母乳マッサージの歴史をとおして考察する」村上房子 『母性衛生』52 (2) 377-383

- 「コンドームの歴史をたどる (第1報) 「鉄兜」から「ミチコ・ロンドン・コシノ」まで」森泉萌香, 玉城英彦 『北海道医学雑誌』86 (2) 117-119
- 「代理出産における倫理的問題のありか その歴史と展開の分析から」柳原良江 『生命倫理』21 (1) 12-21

## 21 歯学史

- 「東京医科歯科大学顎顔面解剖学分野 (旧口腔解剖学教室) が保管する石膏像について (抄)」秋本和宏, 阿部達彦 『日本歯科医史学会々誌』29 (2) 113
- 「日本人によるエナメル叢の研究史 (抄)」阿部達彦, 秋本和宏 『日本歯科医史学会々誌』29 (2) 114-115
- 「社会歯科 (衛生行政, 保健・口腔衛生史) からみた近代歯科医の発展 (抄)」石井拓男 『日本歯科医史学会々誌』29 (2) 89
- 「歯科医学史教育 カリキュラム・プランニングの試み」石井拓男, 渋谷敏, 西巻明彦 『医譚』(110) 6243-6244
- 「歯科医史学 (歯科医学史) 教育カリキュラム・プランニングの試み (抄)」石井拓男, 渋谷敏, 西巻明彦 『日本医史学雑誌』57 (1) 86-87
- 「歯科医学史教育 カリキュラム・プランニングの試み」石井拓男, 平田創一郎, 渋谷敏他 『日本歯科医史学会々誌』29 (2) 142-147
- 「むし歯半減運動の消長と児童生徒のう蝕の変遷 (抄)」石井拓, 眞木吉信, 平田創一郎他 『日本歯科医史学会々誌』29 (2) 137
- 「補綴力をはかる あゆみ31年と, これから」石橋寛二 『岩手医科大学歯学雑誌』36 (2) 89-98
- 「正木正編著「歯科医師国家試験問題の解説」(昭和23年)について (抄)」石橋肇, 加來洋子, 卯田昭夫他 『日本歯科医史学会々誌』29 (2) 138-139
- 「咬合の歴史的遍歴 ナソロジーにおける咬合の考え方と先人たちの教え (第1回) 日本におけるナソロジー」伊藤雄策 『日本顎咬合学会誌: 咬み合わせの科学』31 (3) 264-269

- 「愛知県歯科医師会，歯の博物館所蔵の木床総義歯3床の研究—義歯口蓋粘膜面に和紙の密着した木床義歯の一例—（抄）」牛田正行『日本歯科医史学会々誌』29（2）101
- 「エーテル麻酔創始者の一人である W.T.G. Morton 救済のための寄付に関わる小冊子“PROCEEDINGS IN BEHALF OF THE MORTON TESTIMONIAL”について（その5）」加來洋子，石橋肇，渋谷鉦『日本歯科医史学会々誌』29（2）148-151
- 「内務省衛生局編纂「歯と健康」（大阪府衛生會翻刻，仁丹の歯磨本舗発行：大正13年）について」加來洋子，石橋肇，山口秀紀，卯田昭夫，渋谷鉦『日本歯科医史学会々誌』29（1）24-31
- 「医歯一元論再燃「歯科医学専門学校聯合同窓報 国大会経過報告」（昭和17年）より」加來洋子，山口秀紀，渋谷鉦他『日本歯科医史学会々誌』29（2）152-164
- 「福岡県立医学歯学専門学校と北九州学生同盟について（抄）」上瀉口武，柴田紀之，小林繁『日本歯科医史学会々誌』29（2）133-134
- 「昭和2年11月6日鶴見総持寺における千葉医学専門学校歯科口腔外科初代教授，日本大学専門部歯科口腔外科初代教授入戸野賢二先生に対する日本大学専門部歯科学学生会主催の追悼会について—歯科月報（第7巻第11号P58～62，昭和2年11月20日発行）掲載—（抄）」工藤逸郎，三宅正彦，見崎徹，小室歳信，金山利吉他11名『日本歯科医史学会々誌』29（2）123-124
- 「日本大学歯学部同窓会会誌」創刊号（昭和31年3月31日）の発行—歯科月報との関係について 2. 歯科月報の復刊（昭和26年5月31日）と日本大学歯学部同窓会会誌創刊号（昭和31年3月31日発行）の発行と両誌のその後の展開」工藤逸郎，三宅正彦，見崎徹，小室歳信，金山利吉他10名『日本歯科医史学会々誌』29（1）1-20
- 「九州歯科大学学生ボランティア・グループ「むしばくらぶ」の活動（抄）」小林繁，上瀉口武，倉沢良典『日本歯科医史学会々誌』29（2）136
- 「福岡県立醫學歯學専門学校醫學科在籍学生のその後の進路（抄）」小林繁，上瀉口武，倉沢良典『日本歯科医史学会々誌』29（2）135
- 「口腔ケアの歴史と死生学 口腔ケアの歴史調査報告 その後確認された書籍について（抄）」阪口英夫『日本口腔ケア学会雑誌』5（1）50-51
- 「接着試験法 接着試験法概説・総論（歴史と分類）」柵木寿男『接着歯学』29（2）85-89
- 「内務省令「入歯歯抜口中療治接骨営業者等取締規則」が指示されてから内務省令第9号が改正に至るまでの社会的背景に関する研究」佐々木重昭，玉井清志，石橋和正，鈴木美波，高橋憲司，小林直行，佐々木源重郎，樽本修和，高田英臣，目崎登『日本柔道整復接骨医学会誌』19（5）289
- 「巖谷小波著「葉ぬけ爺」とその周辺（抄）」佐藤恭道，戸出一郎『日本歯科医史学会々誌』29（2）109-110
- 「歯科医育史からみた歯科医学および歯科医師（抄）」渋谷鉦『日本歯科医史学会々誌』29（2）90-91
- 「鶴見大学歯学部附属病院治験審査委員会小史 臨床倫理の視点からの振り返り」島田道子，関根依緒菜，子島潤，斎藤義夫，関根透『鶴見歯学』37（2）77-83
- 「明治時代中期の開花新聞広告 補遺（抄）」下総高次『日本歯科医史学会々誌』29（2）120-121
- 「わが國近代歯科の始まり（抄）」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』29（2）94
- 「医歯一・二元論からみた歯科医療の歴史と現在（抄）」杉本是孝『日本歯科医史学会々誌』29（2）92
- 「ピエール・フォシャール『歯科外科医』手稿文の分析：ワープロからPCへの移行（抄）」高山直秀『日本歯科医史学会々誌』29（2）116
- 「口唇裂はどう描かれてきたか（抄）」竹原直道『日本歯科医史学会々誌』29（2）118-119
- 「Hanau 咬合器 Model A～C—最初の Hanau 咬合器（抄）」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』29（2）97-98
- 「Hanau 咬合器 Model H と Kinoscope（抄）」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』29（2）99-100



- 「東洋女子歯科医学専門学校創立期文書について (3) : 財団法人明華女子歯科医学専門学校設立認可申請書 (大正10年) (抄)」永藤欣久『日本歯科医史学会々誌』29(2) 122
- 「東洋女子歯科医学専門学校の文系転換における明治期キリスト教ミッションの影響 (抄)」永藤欣久『日本歯科医史学会々誌』29(2) 131
- 「口腔科医学は、なぜ近代歯科医学となりえなかったか (抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』29(2) 88
- 「白洲正子にみる古面の口腔観 (抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』29(2) 106-107
- 「『温疫論』と口腔の関連性の考察 (抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』29(2) 104-105
- 「治療コンセプトを変えるか? 新素材の可能性 咬合の過去と未来 ディスクレパンシー」長谷川信『矯正臨床ジャーナル』27(6) 29-33
- 「弥生人の「齶蝕」の話をしよう 弥生人骨にみる, 根面齶蝕と歯槽骨吸収」濱寄朋子, 竹原直道『歯界展望』117(3) 388-392
- 「韓国における水道水フッ素添加の30年史と現状 (Thirty Years' History and Current Status of Community Water Fluoridation Program in Korea) (英語) (抄)」Park Deok-Young『口腔衛生学会雑誌』61(4) 386-387
- 「GHQ/SCAP文書にみる戦後日本の歯科医学教育改革 (抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』57(2) 169
- 「京城歯科医学専門学校と学則について (抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』29(2) 132
- 「Continuous Gum Dentureについて (抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』29(2) 95-96
- 「日本における楔状欠損の起源 (抄)」藤田尚『老年歯科医学』26(2) 139
- 「日本における楔状欠損の起源 (抄)」藤田尚『日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集』22回, 124
- 「佐藤運雄と医歯原論—なぜ口腔科学なのか— (抄)」牧村正治『日本歯科医史学会々誌』29(2) 81-86
- 「郷土熊本の偉人・一井正典への熊本県歯科医師会会員の認知度について (抄)」松本晉一, 渋谷敦『日本歯科医史学会々誌』29(2) 129-130
- 「歴史に好奇心 (シリーズ2) 古きを活かして現在も活かす アメリカの歯科教育と口腔外科・麻酔の歴史」森昌彦『歯科医療』25(4) 129-148
- 「歴史に好奇心 (シリーズ2) 古きを活かして現在も活かす 顎顔面補綴学・顎顔面テクノロジーの誕生」森昌彦『歯科医療』25(3) 127-140
- 「歴史に学ぶ歯科医療の打開 (I)」吉澤信夫『歯科学報』111(1) 25-34
- 「歴史に学ぶ歯科医療の打開 (II)-(III) : 静脈内注射事件 (その2)-(その3)」吉澤信夫『歯科学報』111(2-3) 153-162, 267-278
- 「歴史に学ぶ歯科医療の打開 (IV) : 歯科医師の死亡診断書交付問題」吉澤信夫『歯科学報』111(4) 341-351
- 「歴史に学ぶ歯科医療の打開 (V) : 歯科口腔外科の診療領域について」吉澤信夫『歯科学報』111(5) 477-488
- 「歴史に学ぶ歯科医療の打開 (VI) : 医療と法の関係と歯科的課題」吉澤信夫『歯科学報』111(6) 575-585
- 「【乳歯冠を再考する】乳歯冠の支台歯への適合技術 歴史的考察」吉田昊哲『小児歯科臨床』16(2) 31-35
- 「航空宇宙歯科の歴史と重要性 (The history and importance of aeronautic dentistry) (英語)」Rai Balwant, Kaur Jasdeep『Journal of Oral Science』53(2) 143-146

## 23 疾病史

- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに (第9回) 睡眠時無呼吸症候群」赤柴恒人『日本胸部臨床』70(9) 941-949
- 「アルツハイマー病研究の歴史 神経原線維変化物語 (1)-(2)」井原康夫『BIO Clinica』26(5-6) 471-475, 569-573
- 「わが国の優れた過去の業績紹介 結核病理」岩

- 井和郎『結核』86(6)587-590
- 「花粉曝露実験室研究の歴史，現状，問題点 何がどこまで判ったか？ 花粉曝露室における薬品や食品の研究（抄）」榎本雅夫，畠田猛真，中原啓，NPO日本健康増進支援機構『日本職業・環境アレルギー学会雑誌』19(1)41
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに（第4回） 気管支喘息」大田健『日本胸部臨床』70(4)373-384
- 「血液今昔物語 血液病 原典・現点（第11回） Castleman病 CPCのチャンピオン Castlemanが発見した新疾患」押味和夫『血液フロンティア』21(4)624-629
- 「Paraplegia 医学の遺産」小野啓郎『Journal of Spine Research』2(1)9-19
- 「再燃前立腺癌 その闘いの歴史（抄）」金武洋，井川掌『日本泌尿器科学会雑誌』102(2)186
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに（第5回） 石綿関連呼吸器疾患」岸本卓巳『日本胸部臨床』70(5)498-506
- 「【インフルエンザ 人類とウイルスとの攻防の歴史から学ぶ】 インフルエンザの基礎知識 インフルエンザの過去・現在・未来」喜田宏『薬局』62(12)3623-3628
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに（第12回）（最終回） 「日本胸部臨床」にみる呼吸器疾患70年の変遷」工藤翔二『日本胸部臨床』70(12)1289-1293
- 「食中毒の変遷 この20年でどう変わったか（座談会）」工藤由起子，品川邦汎，西尾治，林谷秀樹『モダンメディア』57(7)189-206
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに（第2回） 非結核性抗酸菌症」倉島篤行『日本胸部臨床』70(2)171-179
- 「【性同一性障害（GID）】 性同一性障害の概念の変遷」康純『精神医学』53(8)755-761
- 「性同一性障害を取り巻く諸問題 性同一性障害の概念の変遷（抄）」康純『精神神経学雑誌』2011特別，S-417
- 「温故重新 惜別の辞 胃潰瘍」小林絢三『クリニシアン』58(4)485-490
- 「血液今昔物語 血液病 原典・現点（第12回） Sidney Farberと白血病化学療法の黎明期 葉酸拮抗薬の導入」齋藤英彦『血液フロンティア』21(5)752-756
- 「心不全に関する研究の歴史（The History of Research into Heart Failure）（英語）（抄）」Sasayama Shigetake『The Keio Journal of Medicine』60(4)119-120
- 「橋本病の歴史—その始まりと冠名病名「橋本病」の定着過程—（抄）」佐藤裕『日本医史学雑誌』57(2)178
- 「ラウス（P.Rous）肉腫ウイルスの発見史（抄）」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』38(2)277
- 「わが国の優れた過去の業績紹介 結核の初感染発病論」島尾忠男『結核』86(6)583-586
- 「日本船籍船員のマラリアの歴史 戦後日本のマラリアの歴史を含めて」庄田昌隆，山中功一，滝上正『海上医学研究』(46)80-86
- 「日本船籍船員のマラリアの歴史（抄）」庄田昌隆，山中功一，滝上正『神奈川医学会雑誌』38(2)277
- 「【特発性肺線維症（IPF）】 IPFの歴史と分類上の課題」杉山幸比古『呼吸器内科』19(6)503-508
- 「【傷寒論】 傷寒例に見られる四時正気の病と変成病の意義」鈴木達彦，遠藤次郎『日本医史学雑誌』57(1)51-61
- 「説話からみた近代化以前の糖尿病状況分析の試み（第二報）」高山真一郎『医譚』(110)6315-6324
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに（第11回） 肺癌」土屋了介『日本胸部臨床』70(11)1161-1166
- 「花粉曝露実験室研究の歴史，現状，問題点 何がどこまで判ったか？ 曝露試験におけるバイオマーカーについて（抄）」寺田哲也『日本職業・環境アレルギー学会雑誌』19(1)43
- 「血液今昔物語 血液病 原典・現点（第13回） Bence Jones蛋白 本当はMacintyre蛋白と呼んだほうがいい？」戸川敦『血液フロンティア』21(8)1196-1200
- 「慢性炎症研究の歴史」永井良三『実験医学』29

- (10(増刊)) 1508-1517
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに(第6回) 慢性閉塞性肺疾患(COPD)一疾患概念の変遷を中心として」西村正治『日本胸部臨床』70(6) 600-609
- 「Ganser症候群の凋落と詐病の台頭 19世紀半ば~20世紀半ばの詐病の議論を現代に蘇生させる試み」西山詮『精神科治療学』26(9) 1183-1190
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに(第7回) 間質性肺炎—日本の貢献,世界への課題」貫和敏博『日本胸部臨床』70(7) 733-744
- 「原因追求型特性要因図を用いた本邦におけるC型肝炎感染の拡大の歴史的考察」芳賀晴子, 福島紀子『薬史学雑誌』46(1) 21-28
- 「花粉曝露実験室研究の歴史, 現状, 問題点 何がどこまで判ったか? 花粉曝露室の歴史とvalidation study(抄)」橋口一弘『日本職業・環境アレルギー学会雑誌』19(1) 42
- 「【リンパ脈管筋腫症(LAM)の最前線】LAMの歴史・疫学・診断基準」林田美江『日本胸部臨床』70(10) 992-1000
- 「水俣病と福島原発事故—私たちの未来—」原田正純『新女性史研究』(8)
- 「てんかんからみる人物の横顔 異論異説のてんかん史」松浦雅人『Epilepsy: てんかんの総合学術誌』5(1) 71-77
- 「細胆管細胞癌の歴史と現状」望月眞『Liver Cancer』17(2) 69-73
- 「【HAM (HTLV-1 associated myelopathy)】ATL・HTLV-1研究の歴史 HTLV-1感染症の根絶に向けて」山口一成『神経内科』75(4) 361-368
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに(第10回) 慢性呼吸不全」山口佳寿博『日本胸部臨床』70(10) 1053-1063
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに(第8回) わが国のサルコイドーシス70年」山口哲生『日本胸部臨床』70(8) 839-845
- 「アルツハイマー病研究の歴史(第1回) 認知症の確立とAlzheimerの時代」山口晴保『BIO Clinica』26(3) 276-280
- 「アルツハイマー病研究の歴史(第2回) アミロイド研究から疾患概念の確立」山口晴保『BIO Clinica』26(4) 373-377
- 「花粉曝露実験室研究の歴史, 現状, 問題点 何がどこまで判ったか? 花粉曝露室研究の将来展望(抄)」山本陸三朗, 米倉修二, 桜井大樹, 堀口茂俊, 岡本美孝『日本職業・環境アレルギー学会雑誌』19(1) 44
- 「血液今昔物語 血液病 原典・現点(第14回) 再生不良性貧血と免疫抑制療法 最初の症例記載(Ehrlich)から免疫抑制療法の有効性の確立(Speck)まで」吉田彌太郎『血液フロンティア』21(12) 1812-1816
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに(第1回) 肺結核」吉山崇『日本胸部臨床』70(1) 70-77
- 「呼吸器疾患の70年を振り返る 日本胸部臨床とともに(第3回) 肺炎と呼吸器感染症」渡辺彰『日本胸部臨床』70(3) 282-288

## 24 耳鼻咽喉科史

- 「【声とことばの科学】声帯振動解析法の歴史と進展」斉田晴仁『JOHNS』27(8) 1119-1126
- 「日本の嗅覚研究の歴史(抄)」澁谷達明『薬史学雑誌』46(1) 1-4
- 「喉頭機能外科 歴史と展望」廣瀬肇『頭頸部外科』21(1) 37-40
- 「【唾液腺】本邦における唾液腺研究の歴史と現状」森永正二郎『病理と臨床』29(6) 564-568

## 25 種痘史

- 「加賀藩種痘所の変遷(一)「彦三種痘所」—その所在地を求めて—」赤祖父一知『北陸医史』(33) 28-35
- 「新出の塩野屋宛て「疱瘡濟証」について—除痘館『疱瘡濟証』の意義と役割—」浅井允晶『除痘館記念資料室だより』(3) 3-4
- 「明治初期の伝染病流行と居留地行政—1870・71年横浜の天然痘対策—」市川智生『日本歴史』

(762) 58-75

「緒方洪庵生誕200年記念『大阪の除痘館』（改訂・増補版）刊行に寄せて」緒方高志『除痘館記念資料室だより』（3）4

「ジェンナー博物館を訪ねて—ジェンナーの故郷，パークレイの思い出—」加藤四郎『除痘館記念資料室だより』（3）1-2

「尼崎町「除痘館跡」記念銘板について」川上潤『除痘館記念資料室だより』（3）5

「丹波元禮組合宛ての大阪種痘館「分苗免状」について」古西義麿『除痘館記念資料室だより』（3）2-3

「丹波の種痘医・足立敬里の学統をさぐる—牛痘種痘法普及に関する一考察—」古西義麿『風媒社日本文化の攻と守』30-42

「野呂家資料について」古西義麿『除痘館記念資料室だより』（3）4-5

「エドワード・ジェンナーの牛痘接種法についての4編の論文」深瀬泰旦『川崎市小児科医会誌』（43）5-22

「宇和島藩における種痘の普及」藤田正『研究紀要』（9）

「ポンペ・ファン・メールデルフォールトと牛痘種痘（第2報）（抄）」松木明知『日本医史学雑誌』57（2）181

「井口乗海著「痘瘡及種痘論」による20世紀初頭の各国と日本の種痘法規について（抄）」渡部幹夫『日本医史学雑誌』57（2）130

## 26 獣医学史

「AOの歴史とプレート固定法の変遷（抄）」泉澤康晴『北海道獣医師会雑誌』55（8）422

「獣医学教育課程に魚病学が組み込まれるまでの経緯」大橋義光『日本獣医史学雑誌』（48）35-41

「牛海綿状脳症（BSE）の発生の経緯と対策（抄）」小野寺節『日本医史学雑誌』57（1）89-90

「牛海綿状脳症（BSE）発生の歴史（抄）」小野寺節，杉浦勝明『医譚』（111）6490-6479

「日本在来馬と西洋馬 獣医療の進展と日欧獣医学交流史」小佐々学『日本獣医師会雑誌』64（6）419-426

「我が国のヒストプラズマ症と仮性皮疽」佐野文子，高橋英雄，村田佳輝，唐仁原景昭『日本獣医史学雑誌』（48）1-21

「わが国における口蹄疫発生の歴史と家畜防疫体制」高橋英司『日本獣医史学雑誌』（48）42-47

「神奈川県狂犬病流行史」唐仁原景昭『日本獣医史学雑誌』（48）22-34

「口蹄疫等の家畜悪性伝染病撲滅の歴史（抄）」福所秋雄『神奈川医学会雑誌』38（1）93-94

「海外の獣医科大学における教育機関評価システムの役割と教育の質保証システム 獣医学教育欧州機構 歴史，目的，現状（The European Association of Establishments for Veterinary Education: History, objectives and current status）（英語）（抄）」Braun Joachim『日本獣医学会学術集会講演要旨集』152回，133

「第39回世界獣医史学会報告」安田隼也『日本獣医史学雑誌』（48）58-59

「2010年，宮崎県において発生した口蹄疫について」吉村史朗『日本獣医史学雑誌』（48）48-52

## 27 書簡

「池田文書の研究（39）-（41）勲功華族の書簡（その3-5）」池田文書研究会『日本医史学雑誌』57（1，3-4）71-80，357-366，483-492

「太田正雄教授への宮崎松記九州療養所長からの書簡」小野友道『日本ハンセン病学会雑誌』80（1）53-57

## 28 書誌学

「江戸の医案を読む（第14-16回）山田業広・山田業精『井見集附録』より（その4-6）」秋葉哲生，平馬直樹『漢方と診療』2（1-3）64-72，126-133，212-219

「江戸の医案を読む（第17回）下津春抱『本邦名医類案』より（その1）」秋葉哲生，平馬直樹『漢方と診療』2（4）292-299

「『医学天正記』異本類の比較研究（第2報）（抄）」天野陽介，小曾戸洋，町泉寿郎『日本医史学雑誌』57（2）147

「江陵張家山漢簡『引書』譯註と研究（四）-（五）」

- 猪飼祥夫『医譚』(110-111) 6294-6303, 6453-6461  
 「『紅毛医言』の“あとがき”について(抄)」板野俊文『日本医史学雑誌』57(2) 157
- 「中国図書集散史と医学古典の伝承 中国の図書集散の歴史と医書」岩井祐泉『中医臨床』32(3) 412-415
- 「『(獅子流秘本) 西村鍼灸秘録』について(抄)」岩田源太郎『日本医史学雑誌』57(2) 211
- 「『新修本草』序例の研究—敦煌秘笈本の検討を中心に」岩本篤志『杏雨』(14) 292-319
- 「秦伯未批校『医学見能』について(抄)」浦山きか『日本医史学雑誌』57(2) 162
- 「新発見の医書『江春記抜書』と田代三喜(抄)」遠藤次郎, 鈴木達彦『日本医史学雑誌』57(2) 151
- 「江戸期を通じて伝承された『杉山真伝流』の手法「表之巻十八手術」及び「静龍軒秘術拾有四通押手図」について」大浦慈観『鍼灸Osaka』26-27(4, 1) 375, 373-374
- 「史料紹介 中山文庫「魯西亜滞船中日記」(4)」織田毅『鳴滝』(21) 117-141
- 「『北征日乗』にみる北越殖民社の医師達(抄)」菊田道彦, 島田保久『北辰』(11) 45
- 「清野謙次旧蔵敦煌写本の一断簡よせて」橋堂晃一『杏雨』(14) 320-328
- 「杏雨書屋本大公家教について—大公家教致・捕(二)一」黒田彰『杏雨』(14) 234-291
- 「『浮世物語』の中の身体に関わる表現(抄)」計良吉則『日本医史学雑誌』57(2) 205
- 「『医心方提要』について(抄)」小曾戸洋, 天野陽介『日本医史学雑誌』57(2) 145
- 「内経入門(第2回)『黄帝内経』はどのような本?」斉藤宗則『中医臨床』32(2) 235-240
- 「日本における古医書の分類について—現状と課題」清水信子『十文字学園女子大学短期大学部研究紀要』(42) 123-146
- 「香川修庵と『一本堂行余医言』(抄)」杉浦守邦『医譚』(110) 6367-6368
- 「車修堂の蔵書目録について(抄)」竹内尚『日本医史学雑誌』57(2) 153
- 「東山御文庫所蔵「薫物調合秘方」解説と釈文—杏雨書屋所蔵『香秘書』享受史一考—」田中圭子『杏雨』(14) 329-367
- 「田中彌性園収蔵古醫書のうち稀本(IV)(抄)」田中祐尾『医譚』(110) 6373-6374
- 「『灸譜』について(抄)」鶴田泰平『日本医史学雑誌』57(2) 192
- 「『和漢鍼医譜』について(抄)」寺川華奈『日本東洋医学雑誌』62(別冊) 281
- 「経絡図との照合による腹状図の明確化『濃州車井腹診候』における試行『濃州車井腹診候』の書誌と翻刻」長野仁『鍼灸Osaka』26・274・1, 605-611, 367-372
- 「新出の沢庵禅師直筆『刺針要致』について(抄)」長野仁, 小曾戸洋, 花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』62(別冊) 282
- 「『史記』扁鵲倉公列伝の張守節注に見える引用経文(抄)」橋本典子『日本医史学雑誌』57(2) 208
- 「『灸法口訣指南』について(抄)」橋本史代『日本医史学雑誌』57(2) 210
- 「関場不二彦著「西医学東漸史話」について(第9報)一箕作阮甫著「外科必讀」のこと—(抄)」秦温信, 松岡伸一, 佐々木文章, 佐野文男, 島田保久, 鮫島夏樹『薬史学雑誌』46(2) 133
- 「関場不二彦著「西医学東漸史話」について(第8報)一カスバル流外科について—(抄)」秦温信, 松岡伸一, 佐野文男, 島田保久, 鮫島夏樹『北辰』(11) 46
- 「関場不二彦著「西医学東漸史話」にみられる「カスバル流外科」について」秦温信, 松岡伸一, 島田保久, 鮫島夏樹『北辰』(11) 15-27
- 「関場不二彦の著述 第二報「淑黎巴先生追想録」について」秦温信, 松岡伸一, 吉田純一, 佐々木文章『北辰』(11) 28-35
- 「曲直瀬玄朔による『万病回春』の引用(抄)」星野卓之, 天野陽介, 小曾戸洋, 花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』62(別冊) 279
- 「UCSF図書館所蔵の福井済生館文書(抄)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』57(2) 155
- 「『素問』の早期版本について(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』57(2) 148
- 「臺灣訪書志 國家圖書館〔臺北〕所蔵の醫藥古

- 典籍(41-45)」真柳誠『漢方の臨床』58(1-4, 6) 213-217, 403-407, 593-597, 795-799, 1243-1248
- 「旧鈔本『難経集注』にみえる「持」の訓について(抄)」宮川浩也, 矢吹杏子, 天野陽介『日本医史学雑誌』57(2) 144
- 「曹炳章著『中国医学大成総目提要』について(抄)」宮川隆弘『日本医史学雑誌』57(2) 152
- 「『経絡正統』『引経口訣』について(抄)」山崎陽子『日本医史学雑誌』57(2) 209
- 「安井寅吉『柔道整復術』の成立過程の一考察」湯浅有希子, 木下美聡『臨床福祉ジャーナル』8, 64-66
- 「研医会図書館所蔵の『五大論』について(抄)」吉岡広記『日本東洋医学雑誌』62(別冊) 281
- 「研医会図書館所蔵の脈学書『切脈小言』について(抄)」吉岡広記『日本医史学雑誌』57(2) 194
- 「唐宋史料に見る『法』と『医』の接点」吉川忠夫『杏雨』(14) 127-166
- 「山田業広門人と和泰庵の新出資料(和田家文書)について(抄)」渡辺浩二, 小曾戸洋, 和田源司, 寺澤捷年『日本東洋医学雑誌』62(別冊) 284
- ## 29 小児科史
- 「【小児NST病態栄養シリーズ 短腸症候群】治療の歴史的変遷」遠藤昌夫『小児外科』43(4) 333-337
- 「先達に聞く 小児外科栄養の歴史 電解質輸液と成分栄養の生い立ち(抄)」遠藤昌夫『日本小児外科学会雑誌』47(4) 487
- 「三田谷啓資料による児童の健康問題と社会的養護(抄)」小野尚香『医譚』(110) 6372-6373
- 「脾肝薬王圓と『小児養育金礎』—京都の薬屋石田家の売薬業と育児書の頒布—(抄)」梶谷真司『日本医史学雑誌』57(2) 198
- 「日本小児鍼史概説(上)」長野仁『医道の日本』70(12) 106-109
- 「治療的養育の歴史的展開と実践モデルの検討 社会的養護における養育のいとなみ」植原真也『子どもの虐待とネグレクト』13(1) 125-136
- 「【胎児心拍数モニタリング】胎児心拍数モニタリング発展の歴史」濱田真一, 清水郁也, 村田雄二『臨床婦人科産科』65(1) 6-11
- 「先達に聞く 小児外科栄養の歴史 アミノ酸輸液製剤を中心に(抄)」平井慶徳『日本小児外科学会雑誌』47(4) 485
- 「小児がん患者の支援 トータルケアの歴史(抄)」細谷亮太『ホスピスケアと在宅ケア』19(2) 75
- 「【児科雑誌】に発表された仮称所謂脳膜炎(鉛毒性脳症)に関する研究の足跡 鉛毒説に対する高洲謙一郎らの疑義への平井毓太郎の応答」堀口俊一, 寺本敬子, 西尾久英, 林千代『労働科学』87(2) 69-86
- 「【児科雑誌】に発表された仮称所謂脳膜炎(鉛毒性脳症)に関する研究の足跡 高洲謙一郎その他による平井の鉛毒説に対する疑義」堀口俊一, 寺本敬子, 西尾久英, 林千代『労働科学』87(1) 20-35
- 「【児科雑誌】に発表された仮称所謂脳膜炎(鉛毒性脳症)に関する研究の足跡 平井毓太郎による原因究明後の諸研究(1923~1926)(前編)」堀口俊一, 寺本敬子, 西尾久英, 林千代『労働科学』87(5) 186-200
- 「母子健康手帳の今昔 古くて新しい情報伝達ツール(抄)」松田義雄『東京母性衛生学会誌』28(Suppl. 1) S14
- 「先達に聞く 小児外科栄養の歴史 脂肪乳剤あれこれ…(抄)」水田祥代『日本小児外科学会雑誌』47(4) 486
- 「母子健康手帳の歴史と国際化 母子健康手帳の秘密」森岡久尚『医学のあゆみ』236(11) 1073-1076
- 「小児救急医療と予防接種 インTRODクションワクチンの歴史と災害医療(抄)」渡辺博『日本小児救急医学会雑誌』10(2) 171
- ## 30 神経学史
- 「【睡眠時随伴症を考える】睡眠時随伴症研究の歴史と展望」清水徹男『睡眠医療』5(2) 120-126
- 「【神経系の左右差—Broca 150年】Broca 150年 Brocaによる言語野発見とその意義」武田克彦『Clinical Neuroscience』29(6) 627-632
- 「【右脳と左脳】脳の左右差 歴史的レビュー 19

- 世紀の失語研究の流れ」武田克彦, 板東充秋『Brain Medical』23(2) 115-120
- 「Bezold-Jarisch 反射の発見(抄)」田村直俊『日本自律神経学会総会プログラム・抄録集』64回, 83
- 「人・土地・業績 ドイツ語文献の中の視神経脊髄炎 多発性硬化症と同じ疾患か, 違う疾患か?」田村直俊『神経内科』74(2) 204-210
- 「人・土地・業績 ドイツ語文献の中の視神経脊髄炎 Erb, Steffan による最初の記述」田村直俊『神経内科』74(1) 99-104
- 「脳梗塞超急性期画像診断から治療まで アメリカにおける救急医学の歴史と発展と日本での意義(The History and Development of Emergency Medicine in the US and Implications for Japan)(英語)(抄)」Hinfey Patrick Blaine『日本脳神経外科救急学会プログラム・抄録集』16回, 88
- 「【神経系の左右差—Broca 150年】Broca 150年 Broca 以前の大脳機能局在論」古川哲雄『Clinical Neuroscience』29(6) 624-626
- 「原典・古典の紹介 Brissaud 反射」古川哲雄『神経内科』75(1) 102-106
- 「原典・古典の紹介 Fregoli 症候群」古川哲雄『神経内科』75(5) 521-525
- ### 31 診断学史
- 「【糖尿病バイオセンサー】血糖センサーの原理と歴史」軽部征夫, 三上あかね, 田中貴文『臨床化学』40(4) 291-297
- 「頭痛の歴史と診断治療の進歩」坂井文彦『日本頭痛学会誌』38(1) 7-9
- 「相貌失認の歴史パズルを埋める一つのピース 右一側病変の剖検例(抄)」杉本あずさ, 河村満, 塩田純一, 川合圭成, 二村明德『日本神経心理学会総会プログラム・予稿集』35回, 98
- 「【ヨード造影剤の基本】造影剤の歴史」矢吹昌久, 田崎晴海, 多々井久徳, 武津紀子『日独医報』56(1) 60-70
- ### 32 整形外科史
- 「RA 膝に対する人工関節置換術 人工膝関節発展の歴史(抄)」秋月章『日本リウマチ学会総会・学術集会・国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集』55回・20回, 178
- 「【義肢装具の歴史の変遷と今後の展望】靴型装具の歴史の変遷と今後の展望」天本恵輔『日本義肢装具学会誌』27(1) 39-44
- 「セメント人工股関節ステムの歴史の変遷と今後の展望」飯田哲『日本整形外科学会雑誌』85(3) S399
- 「【義肢装具の歴史の変遷と今後の展望】短下肢装具の歴史の変遷と今後の展望」石井栄一郎, 狩野綾子, 有蘭秀昭『日本義肢装具学会誌』27(1) 21-27
- 「わが国における腫瘍用人工関節システム開発の歴史と今後の展望(抄)」上田孝文『日本整形外科学会雑誌』85(6) S827
- 「骨移植治療の歴史と進歩 同種骨移植の歴史と進歩(抄)」占部憲, 成瀬康治, 内田健太郎, 内野正隆, 内山勝文, 福島健介, 河村直, 笠原みどり, 小林千恵, 高相晶士, 糸満盛憲『日本整形外科学会雑誌』85(2) S33
- 「ハイパーサーミアの歴史(抄)」大塚隆信『日本整形外科学会雑誌』85(6) S1008
- 「【義肢装具の歴史の変遷と今後の展望】車いすの歴史の変遷と今後の展望」沖川悦三『日本義肢装具学会誌』27(1) 28-33
- 「【義肢装具の歴史の変遷と今後の展望】膝継手の歴史の変遷と今後の課題」奥田正彦『日本義肢装具学会誌』27(1) 13-17
- 「骨肉腫に対する治療の原点と未来への挑戦 骨肉腫治療の原点とその歴史」川井章, 別府保男『日本整形外科学会雑誌』85(2) S267
- 「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ アメリカ整形外科の近代化 ポストン学派の興隆とそれを支えた整形外科医たち(4)」蒲原宏『整形外科看護』16(1-5) 104-107, 204-205, 316-318, 428-429, 532-535
- 「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ アメリカ整形外科の近代化 ニューヨークの整形外科医たち(1-3, 5-8)」蒲原宏『整形外科看護』16(6-12) 630-631, 740-742, 842-845, 956-957,

- 1062-1064, 1178-1180, 1288-1290
- 「骨移植治療の歴史と進歩 多孔質ハイドロキシアパタイト・コラーゲン複合体 (HAp/Col) の開発と臨床応用 (抄)」早乙女進一, 阿江啓介, 若林良明, 四宮謙一, 平野昌弘, 石突正文, 森岡秀夫, 松本誠一, 中村孝志, 阿部哲士, 別府保男『日本整形外科学会雑誌』85 (2) S34
- 「【義肢装具の歴史の変遷と今後の展望】座位保持装置の歴史の変遷と今後の展望」繁成剛『日本義肢装具学会誌』27 (1) 34-38
- 「我が整形外科40年の軌跡と医学史から学ぶ医学・医術の進歩」大幸俊三『東京都医師会雑誌』64 (7) 758-759
- 「【内科医のための腰部脊柱管狭窄症の必須知識】歴史 Historical review」高橋和久『Modern Physician』31 (9) 1043-1046
- 「【義肢装具の歴史の変遷と今後の展望】義手の歴史の変遷と今後の展望」高橋功次『日本義肢装具学会誌』27 (1) 18-20
- 「【義肢装具の歴史の変遷と今後の展望】義足の歴史の変遷と今後の展望」月城慶一『日本義肢装具学会誌』27 (1) 10-12
- 「骨移植治療の歴史と進歩 骨の再生医療 (抄)」寺井秀富, 中村博亮, 高岡邦夫『日本整形外科学会雑誌』85 (2) S35
- 「骨移植治療の歴史と進歩 人工骨移植の歴史と進歩 (抄)」名井陽, 吉川秀樹『日本整形外科学会雑誌』85 (2) S34
- 「江戸の骨つぎと名倉 (抄)」名倉公雄『日本柔道整復接骨医学会誌』19 (5) 238
- 「七川欽次先生のご業績を語る 脊椎関節炎を追って50年…そしてこれから」七川欽次『日本脊椎関節炎学会誌』3 (1) 151-166
- 「最小侵襲人工膝関節置換術の過去, 現在, 未来 (抄)」野本聡『日本最小侵襲整形外科学会誌』11 (1) 78-79
- 「骨移植治療の歴史と進歩 整形外科における組織移植の現状 (第5回全国調査の報告) (抄)」蜂谷裕道, 越智光夫, 安達伸生, 関矢一郎, 田中康仁, 中村雅也, 水田博志, 名井陽, 占部憲『日本整形外科学会雑誌』85 (2) S33
- 「骨肉腫に対する治療の歴史と将来への展望 (抄)」別府保男『日本整形外科学会雑誌』85 (3) S663
- 「七川欽次先生のご業績を語る 強直性脊椎炎とHLA-B27」前田晃『日本脊椎関節炎学会誌』3 (1) 139-143
- 「腰椎疾患に対する低侵襲後方手術の歴史と現状 (抄)」松本守雄『日本最小侵襲整形外科学会誌』11 (1) 75
- 「先天性股関節脱臼の予防活動 過去・現在・未来」山田順亮『日本小児整形外科学会雑誌』20 (2) 466-473
- 「【義肢装具の歴史の変遷と今後の展望】義肢装具の給付制度の変遷と今後」吉村理, 組地秀幸, 杉原勝宣, 難波孝礼, 越智光宏『日本義肢装具学会誌』27 (1) 7-9

### 33 精神医学史

- 「SSTとは? その発展の歴史は?」浅見隆康『精神神経学雑誌』113 (特別電子版) SS310-SS315
- 「SSTとは? その発展の歴史は? 統合失調症治療とSST エビデンスとプラクティスの狭間で」天笠崇『精神神経学雑誌』113 (特別電子版) SS323-SS328
- 「70年間の沈黙を破って—ドイツ精神医学精神療法神経学会 (DGPPN) の2010年総会における謝罪表明 (付) 追悼式典におけるDGPPNフランク・シュナイダー会長の談話「ナチ時代の精神医学—回想と責任」(邦訳) 岩井一正『精神神経学雑誌』113 (8) 782-796
- 「SSTとは? その発展の歴史は? 教育分野におけるSST」岩坂英巳『精神神経学雑誌』113 (特別電子版) SS329-SS334
- 「SSTとは? その発展の歴史は? EBMからみたSST SSTの有効性を再考する」岩田和彦『精神神経学雑誌』113 (特別電子版) SS316-SS322
- 「沖縄戦と精神保健 沖縄戦後の私宅監置事例にみる精神障がい (抄)」上原立人『日本病院・地域精神医学会総会抄録集』54回, 110
- 「シャルコーとジャネにみられるヒステリーおよび解離の理論」江口重幸『精神医学研究所業績集』(46) 8-15



- 「精神療法の歴史」江口重幸『精神医学研究所業績集』(46) 1-7
- 「日本で創出された臨床単位 時代背景と今日 イムの本態と歴史の変遷について」大月康義『精神医学史研究』15(1-2) 67-71
- 「【痛みと精神医学】痛みと精神医学 歴史的展望」岡島由佳, 岩波明『精神科』19(1) 1-5
- 「戦争のなかの精神障害者(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』57(3) 367-368
- 「弘前藩『御国日記』にみる乱心および自害」岡田靖雄『日本医史学雑誌』57(3) 343-350
- 「【解離性障害の臨床一診断と治療, そして対応一】解離性障害とは 概念とその歴史」岡野憲一郎『精神神経学雑誌』113(9) 888-896
- 「南満医学堂・満州医科大学における精神医学」風祭元『精神医学史研究』15(1-2) 96-104
- 「大正期前後の神経衰弱理論と精神分析理論 森田理論に注目して」加藤敏『精神医学史研究』15(1-2) 5-17
- 「『精神病患者私宅監置ノ実況及び其統計的観察』の矛盾と意図(抄)」金川英雄『精神神経学雑誌』2011 特別, S-402
- 「精神医療史と街道, 川歩き」金川英雄『Astellas Square』7(4) 33
- 「戦前, 精神障害者の治療を担っていた民間施設とは 奄美諸島の私宅監置と医介輔」金川英雄『精神看護』14(2) 87-93
- 「戦前, 精神障害者の治療を担っていた民間施設とは 看護人と呼ばれた人たちのこと」金川英雄『精神看護』14(1) 81-88
- 「日本の精神病院, 精神科治療 東京高尾山民間施設と明治大正昭和の精神医療戦略」金川英雄『精神医学史研究』15(1-2) 34-38
- 「うつへの医療人類学 「精神療法」と歴史的感受性」北中淳子『こころの科学』(158) 113-119
- 「修正情動体験 フランツ・アレキサンダーの主張, および米国精神分析におけるその歴史的意義」北村隆人『精神分析研究』55(3) 264-285
- 「1980年から1987年の精神障害当事者の運動史(抄)」桐原尚之, 全国「精神病」者集団『日本病院・地域精神医学会総会抄録集』54回, 70
- 「「消耗うつ」再考 Kielholzにみる抑うつ状態の分類の変遷」熊崎努, 大前晋『精神医学史研究』15(1-2) 105-112
- 「【大震災と精神医学】関東大震災と松沢病院」佐々木司『精神科』19(6) 564-566
- 「温故知新 古代岩倉村における精神医療の今日的意義」品川秀夫『精神科治療学』26(4) 510-514
- 「精神科医療における外作・院外作業療法の歴史と実践 「金の卵」から「忘れられた10年」そして「地域精神保健福祉」へ」鈴木秀夫『学校法人昌賢学園論集』(9) 85-98
- 「日本の精神病院, 精神科治療 爽神堂七山病院四百年」鈴木英鷹『精神医学史研究』15(1-2) 44-48
- 「日本で創出された臨床単位 時代背景と今日 対人恐怖の概念の変遷 「実感」に惑わされた歴史」高橋徹『精神医学史研究』15(1-2) 57-61
- 「精神医療専門職の再検討 20世紀初頭イングランドにおける精神科医の職業構造を中心に」高林陽展『精神医学史研究』15(1-2) 72-80
- 「【この40年と精神医学】アルツハイマー病研究の40年間 新しいアルツハイマー病治療薬の発売年に」武田雅俊『臨床精神医学』40(12) 1619-1624
- 「作業療法の過去, 現在, そして未来 OTへのメッセージ」寺山久美子『作業療法』30(1) 4-8
- 「作業療法の過去, 現在, そして未来 作業療法士の現代史から何を, 何ゆえに学ぶのか」富岡詔子『作業療法』30(3) 263-272
- 「【この40年と精神医学】「精神医学の基本問題」(内村祐之)と40年後の現在」豊嶋良一『臨床精神医学』40(12) 1641-1646
- 「【内因性は, 今】精神医学史にみる内因性」中谷陽二『臨床精神医学』40(8) 1007-1012
- 「日本の精神病院, 精神科治療 京都癲狂院と岩倉」中村治『精神医学史研究』15(1-2) 29-33
- 「日本で創出された臨床単位 時代背景と今日 憑依・祈禱性精神症(病)・非定型精神病の系譜 カタトニアの世界へ」中山和彦, 小野和哉『精神医学史研究』15(1-2) 49-56
- 「精神疾患患者の理解の変遷に関する研究」長岡

- 芳久『宮城大学看護学部紀要』14 (1) 53-62
- 「瞬間の歴史性について PTSD再論 (抄)」野間俊一『臨床精神病理』32 (1) 54
- 「戦後精神医療史の再検討 (1) ライシャワー事件の読み方 (抄)」橋本明『日本医史学雑誌』57 (2) 139
- 「松沢とアルト・ジェルビッツ 日独の精神病院プロジェクトの比較研究」橋本明『精神医学史研究』15 (1-2) 81-95
- 「1900～1960年のKraepelin's ideaの受容 (Reception of Kraepelin's ideas 1900-1960) (英語)」Palm Ulrich, Moeller Hans-Juergen『Psychiatry and Clinical Neurosciences』65 (4) 318-325
- 「【精神医療における臨床心理】精神医療における臨床心理の歴史と現状 精神医療の現場の視点から」藤本豊『精神医療』(61) 008-023
- 「明治大正，日本赤十字看護人と精神病院 (抄)」堀みゆき，金川英雄，浜田晋『精神神経学雑誌』2011 特別，S-402
- 「日本の精神病院，精神科治療 府立松澤病院の夢 自由開放主義の理念のもとに」松下正明『精神医学史研究』15 (1-2) 39-43
- 「フランスの精神病院研究におけるベルクソンの哲学 セグラからラカンへ」松本卓也，加藤敏『精神医学史研究』15 (1-2) 113-123
- 「統合失調症の研究の歴史と意識域からみた症状発生の機序」宮川太平『精神医学』53 (7) 626-637
- 「精神科リハビリテーションの過去から未来へ 長崎県での精神科リハビリテーションの歴史と現状 (抄)」宮原明夫『精神保健』(56) 1
- 「日本で創出された臨床単位 時代背景と今日 思春期妄想症 Adolescent Paranoia その臨床的位置づけ」村上靖彦『精神医学史研究』15 (1-2) 62-66
- 「「外のグループ」と「内のグループ」を繋ぐ集団精神療法 歴史のトラウマと和解修復の試みとしてのHWH (Healing the Wounds of History) を使った国際セミナー「南京を思い起こす2009」の紹介を通して」村本邦子『集団精神療法』27 (2) 126-131
- 「多職種からみた精神医学史 作業療法からみた精神医学史」毛利将平『精神医学史研究』15 (1-2) 132-139
- 「オーラル・ヒストリーを用いた刈谷病院作業療法史の一考察 (抄)」毛利将平，百瀬彩子，後藤有沙，内藤小百合『日本病院・地域精神医学会総会抄録集』54回，113
- ### 35 西洋医学史
- 「臨床疫学余聞 瀉血とナポレオンの統治と統計学」青木國雄『現代医学』59 (1) 187-189
- 「歴史的な躍進をとげる英国の精神保健改革の動向」伊勢田堯『外来精神医療』11 (2) 52-59
- 「近世イギリスにおける偽医者文化と演劇 (抄)」遠藤花子『日本医史学雑誌』57 (2) 167
- 「古代ギリシャ医学の脱臼，肩関節と顎関節 (抄)」片橋るみ『日本柔道整復接骨医学会誌』19 (5) 251
- 「英国医史，寄付 (抄)」栗本宗治『医譚』(110) 6360-6361
- 「19世紀における臨床医学書の進化」坂井建雄『日本医史学雑誌』57 (1) 19-37
- 「近代ギリシャの学術誌『ヘルメス・オ・ロギオス』に見られる医学研究」菅野幸子，本田克也『日本医史学雑誌』57 (4) 451-454
- 「中世初期ヨーロッパにおける薬草使用と剤形 (抄)」田中玉美『薬史学雑誌』46 (2) 125
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 視覚・人体の部位」中島旻保『治療』93 (1) 153-158
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 医術と箴言について」中島旻保『治療』93 (2) 319-326
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 ヒポクラテス医学の本質—誓い・医師の品位と心得」中島旻保『治療』93 (3) 511-517
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 医学観・養生訓・診療所」中島旻保『治療』93 (4) 708-715
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 ヒポクラテス医学の全体像とその後」中島旻保『治療』93 (5) 1323-1332

- 「医学史の旅 トルコ マルマラ地方」星和夫『日本病院会雑誌』58(1) 67-70
- 「医学史の旅 トルコ 黒海」星和夫『日本病院会雑誌』58(2) 187-190
- 「医の原点 古代ギリシャの医跡を訪ねて」星和夫『日本病院会雑誌』58(1) 42-64
- 「フランスとドイツの医療制度改革(下) その方向性の変化と政権交代」本田達郎, 公害等調整委員会『社会保険旬報』(2461) 32-38
- 「健康をめぐる歴史パノラマ サレルノの医学校」眞壁伍郎『総合看護』46(1) 33-46
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 大学の誕生」眞壁伍郎『総合看護』46(2) 67-77
- 「医と薬の相克, 薬と薬の確執—19世紀イングランドにおける apothecary, chemist & druggist—(抄)」柳澤波香『薬史学雑誌』46(2) 105
- 「リヨン(フランス)の医薬品産業: その歴史と他産業によるイノベーション(抄)」ジュリア・ヨング『薬史学雑誌』46(2) 127
- 「18, 19世紀のフランスにおける鍼灸医学の受容について(抄)」ヴィグル・マティアス『日本医史学雑誌』57(2) 159
- 「ライデンのシーボルト旧蔵の鍼灸関係資料について(抄)」ヴィグル・マティアス『日本医史学雑誌』57(1) 83-84

### 36 生化学史

- 「Was Citrulline First a Laxative Substance?: The Truth about Modern Citrulline and Its Isolation」Konstantinos C. FRAGKOS, Alastair FORBES『日本医史学雑誌』57(3) 275-292
- 「最終講義 フリーラジカルの医学」吉川敏一『京都府立医科大学雑誌』120(6) 381-390

### 37 生理学史

- 「臨床工学技士が関与する体外循環領域関連の歴史」見目恭一『日本臨床工学技士会誌』(43) 56-60
- 「オレキシンの発見と歴史 (DISCOVERY AND HISTORY OF OREXIN) (英語) (抄)」Sakurai T.『Sleep and Biological Rhythms』9(4) 215

### 38 地方史

- 「近代医療発祥の地 東の佐倉 西の長崎(抄)」『Equilibrium Research』70(5) 317-318
- 「医学は長崎から 近代医学の誕生(抄)」相川忠臣『大気環境学会年会講演要旨集』52回, 68-69
- 「幕末大和郡山藩医関係文書—榎本家所蔵文書の紹介—(一)」浅井允晶, 榎本泰久『医譚』(110) 6325-6335
- 「格差に挑む, 北海道民医連訪問看護事業の15年 「語り継ぎたい訪問看護実践」を確信に, 次の飛躍へ」太田眞智子『民医連医療』(465) 65-71
- 「島根県における旧保健婦養成の足跡」落合のり子, 栗谷とし子『島根県立大学短期大学部出雲キャンパス研究紀要』5, 221-229
- 「久山町ものがたり 国際的疫学研究50年の軌跡 大学紛争の波を越えて」尾前照雄『医薬ジャーナル』47(4) 1204-1205
- 「久山町ものがたり 国際的疫学研究50年の軌跡 研究対象者の変遷」尾前照雄『医薬ジャーナル』47(6) 1687-1689
- 「1896(明治29)年明治三陸海嘯における日本赤十字社の救護活動 岩手県における医療救護に焦点を当てて」川原由佳里『日本看護歴史学会誌』(24) 37-54
- 「群馬メディカルセンター 地域医療資料館」蔵方宏昌『日本医史学雑誌』57(1) 81-82
- 「姫路藩医師名簿(天保一〇年)の索引」古西義麿『北播磨探史研究会報』(9) 5-6
- 「福島県ゆかりの医人達」茂田士郎『福島医学雑誌』61(4) 227-228
- 「戦後沖縄の保健・医療行政 その5—本土復帰にともなう制度の「一体化」—(抄)」杉山章子『日本医史学雑誌』57(2) 135
- 「濃尾地震医療救護活動における京都看病婦学校卒業生と生徒の活躍」竹中京子, 依田和美, 岡山寧子『日本看護歴史学会誌』(24) 55-69
- 「濃尾地震被災地の避病室における京都看病婦学校卒業生の活動」竹中京子, 依田和美, 岡山寧子『日本看護歴史学会誌』(24) 70-85
- 「近代医療の発展に果たした軍事医療の役割 日清戦争期の広島における医療と看護を中心とし

- て（抄）」千田武志『解剖学雑誌』86(1) 15
- 「壬生藩蘭学再考—解剖と種痘の視点から—」中野正人『獨協学園資料センター研究年報』(3) 10-37
- 「明治二〇年代 北播丹波地域の鉄道起動運動関係史料」西山勝仁『北播磨探史研究会報』(9) 1-5
- 「九州の内視鏡先覚者」丹羽寛文『Gastroenterological Endoscopy』53(8) 1957-1978
- 「第二次世界大戦終戦前後の茨城県旧武田村における駐在保健婦の活動 旧武田村役場文書から」額賀せつ子『日本看護歴史学会誌』(24) 97-110
- 「薩摩の医学史 「篤姫」と「龍馬伝」から（抄）」原口泉『日本手術医学会誌』32(Suppl.) 33
- 「幕末期における川崎の医師群像」深瀬泰旦『川崎市市民ミュージアム紀要』(23) 47-64
- 「北海道の石綿肺研究と富良野保健所長左部勝（抄）」古屋統『薬史学雑誌』46(2) 134
- 「戦後の復興と福祉文化形成に寄与した長崎県開拓保健婦の活動の歴史 開拓保健婦活動の今日的意義と地域医療福祉推進への示唆」堀内啓子『日本看護歴史学会誌』(24) 111-124
- 「新聞にみる明治期北海道の売薬広告（III）明治三十五年～四十五年の売薬広告（抄）」本間克明『北辰』(11) 49
- 「越中高岡町の医家 松田三知家の事蹟について『松田家系譜』（下）」正橋剛二『北陸医史』(33) 2-27
- 「東洋医学と北海道」松岡尚則，栗林秀樹，別府正志，山口秀敏，中田英之，阿南多美恵，頼建守，岡田研吉，岩井祐泉，牧角和宏，三浦於菟，秋葉哲生『漢方の臨床』58(5) 1020-1023
- 「長崎近代医学史パスマインダーの作成（抄）」松村悠子『医学情報サービス研究大会抄録集』28回，36
- 「濃州郡上藩に於ける藩医事情（抄）」森永正文『日本医史学雑誌』57(2) 200
- 「日向薬事始め（その10）—日向出身の，頼山陽および山脇東洋門下生とその周辺—」山本郁男，宇佐見則行，Cheng Bing Jun，岸信行『薬史学雑誌』46(1) 29-37
- 「日向薬事始め（その12）—明からの二人の帰化医人，何欽吉と徐之遴，並びにその周辺—（抄）」山本郁男，宇佐見則行，岸信行『薬史学雑誌』46(2) 124
- 「日向薬事始め（その9）—日向出身の，華岡青洲および賀川玄悦（賀川流・産科）門下生とその周辺—」山本郁男，宇佐見則行，程炳鈞，岸信行『九州保健福祉大学研究紀要』(12) 197-204
- 「『小樽市小学校薬品準方』発見と概要（抄）」吉沢逸雄『北辰』(11) 48-49
- 「越中での幕命採薬受け入れの実態について—「享保七年 新川郡薬草御用一卷覚留帳」を中心に—」吉野俊哉『富山県立山博物館研究紀要』(18)
- ### 39 治療史
- 「変革する透析学 歴史と展望（抄）」秋澤忠男『日本透析医学会雑誌』44(Suppl. 1) 280
- 「人工心臓開発の歴史 再生医療はそこから何を学ぶか」井街宏『再生医療』10(2) 125-140
- 「【徹底ガイド 胃ろう（PEG）管理 Q&A】胃ろうの歴史 外科的胃ろう造設術の歴史について教えてください」岩佐正人『ナーシングケア Q&A』(37) 4-5
- 「日本における静脈内注入療法の始まりから定着までの流れ（抄）」岩原良晴『日本医史学雑誌』57(2) 179
- 「草創期の理学療法から現代への提言」遠藤文雄，武富由雄，田口順子，橋元隆，清水ミシェル・アイズマン，伊橋光二『理学療法学』38(5) 402-415
- 「温故知新：レーザー治療の進歩・将来 レーザー医学の過去・現在と未来（抄）」大城俊夫『日本レーザー治療学会誌』10(1) 39
- 「【エキスパートの育成を目指して バスキュラーアクセス—作製・管理・修復の基本方針】（第1章）VAの歴史の変遷」大平整爾，増子佳弘，井村卓，今忠正『臨床透析』27(7) 763-774
- 「胃癌診療の歴史（第8回）胃手術の推移 ヨー

- ロッパからアメリカへ」岡島邦雄『胃がん perspective』4(2) 137-143
- 「胃癌診療の歴史(第9回) 20世紀初頭におけるアメリカの外科治療」岡島邦雄『胃がん perspective』4(3) 208-214
- 「胃癌診療の歴史(第10回) Mayo兄弟の幽門側胃切除術とその背景」岡島邦雄『胃がん perspective』4(4) 281-286
- 「【心肺脳蘇生】心肺脳蘇生の変遷」岡田和夫『日本臨床』69(4) 598-603
- 「【知っておきたいボツリヌス療法】ボツリヌス毒素の基礎知識 ボツリヌス中毒 歴史、現状とその問題点」小熊恵二, 山本由弥子, 鈴木智典, 門間千枝『Modern Physician』31(7) 783-792
- 「臨床講義 冠動脈バイパス術 術式・適応の歴史の変遷」織田禎二『臨牀と研究』88(5) 630-635
- 「リウマチ治療の評価の歴史」金物壽久『臨床リウマチ』23(4) 251-253
- 「亜酸化窒素アナルゲジアから笑気吸入鎮静法への歴史の変遷」金子讓『日本歯科麻酔学会雑誌』39(2) 143-153
- 「日本における熱傷治療を振り返って(抄)」川上重彦『熱傷』37(2) 113
- 「九州大学心療内科における自律訓練法の歴史と現在(抄)」久保千春『日本自律訓練学会大会プログラム・発表抄録集』34回, 24
- 「【神経ブロックによる疼痛管理】日本の超音波ガイド下神経ブロック法の歴史」佐藤裕『整形外科最小侵襲手術ジャーナル』(59) 9-14
- 「結核治療開発の歴史(抄)」島尾忠男『神奈川医学会雑誌』38(1) 92-93
- 「【徹底ガイド 胃ろう(PEG)管理Q&A】胃ろうの歴史 胃ろう(PEG)の歴史について教えてください」嶋尾仁『ナーシングケアQ&A』(37) 6-7
- 「血液の安全対策 歴史と展望」十字猛夫『血液事業』33(4) 411-413
- 「【糖尿病の診断と経口糖尿病治療薬の歩み】糖尿病の診断と新診断基準 どうして変えたのか? どう変わったのか? 変わると、どうなるのか?」菅原正弘『日本臨床内科医会誌』25(5) 598-606
- 「経静脈輸液と経腸輸液 歴史的考察(抄)」鈴木隆雄『日本臨床麻酔学会誌』31(6) S319
- 「【知っておきたいボツリヌス療法】ボツリヌス毒素の基礎知識 ボツリヌス療法の開発史」鈴木敏勝『Modern Physician』31(7) 798-799
- 「【運動器疾患に対するステロイド療法の功罪】副腎皮質ホルモンの発見とステロイド製剤による治療の歴史 内科」住友秀次『関節外科』30(7) 806-808
- 「和田東郭の腹診における表現について(抄)」大道寺慶子『日本医史学雑誌』57(2) 163
- 「1850~70年代における医療情報の伝達・普及—欧米と日本の皮下注射法に関する情報を中心に—」月澤美代子『日本医史学雑誌』57(4) 419-431
- 「いろいろな粒子線治療の歴史と進歩」辻井博彦『重粒子医科学センターシンポジウム』10回, 16-18
- 「【外科医に必要な輸血の知識】輸血療法の歴史の変遷」津野寛和, 高橋孝喜『外科治療』104(3) 213-219
- 「移植に関する体液理論の100年間の歴史(A 100 year history of the humoral theory of transplantation)(英語)(抄)」Terasaki Paul『MHC: Major Histocompatibility Complex』18(2) 110
- 「【糖尿病の診断と経口糖尿病治療薬の歩み】糖尿病薬物療法の変遷」土井邦紘『日本臨床内科医会誌』25(5) 590-597
- 「【糖尿病の診断と経口糖尿病治療薬の歩み】糖尿病の診断と経口糖尿病治療薬の変遷」土井邦紘, 後藤由夫, 菅原正弘, 染谷泰寿『日本臨床内科医会誌』25(5) 574-589
- 「【慢性炎症—多様な疾患の基盤病態 生活習慣病, がん, 免疫・神経疾患に至る分子メカニズムと診断・治療への応用】慢性炎症研究の歴史」永井良三『実験医学』29(10) 1508-1517
- 「理学療法50年の変遷」野上貞夫『理療』41(3) 71-76
- 「造血幹細胞移植のためのCell Processingの過去

- 基礎研究を振り返る 細胞治療の歴史 多くのパイオニアの活躍（抄）」原宏『日本輸血細胞治療学会誌』57（2）182
- 「外来森田療法におけるメタファーの使用について（抄）」原田憲明，南哲二，比嘉千賀『日本森田療法学会雑誌』22（1）68-69
- 「アテローム血栓症に対する血栓溶解療法 歴史的研究（Thrombolytic therapy in Athero-Thrombosis An Historic Review）（英語）（抄）」Balas Panagiotis E.『日本心臓血管外科学会雑誌』40（Suppl.）177
- 「【バスキュラーインターベンション 冠動脈から全身血管へ】我が国における冠動脈インターベンション治療の歴史」光藤和明『日本臨床』69（2）197-206
- 「【神経疾患におけるボツリヌス療法】ボツリヌス療法の歴史，現状と将来の展望 総論」宮城愛，梶龍兒『神経内科』75（5）471-477
- 「【気候療法】（第二回）ヨーロッパにおける気候療法の発展」宮地正典『日本温泉気候物理医学会雑誌』74（2）123-127
- 「【四半世紀を経たわが国の在宅酸素療法一課題と提言一】在宅酸素療法の歴史と展望」宮本頭二『THE LUNG-perspectives』19（3）247-251
- 「【食道癌一基礎・臨床研究の進歩一】総論 食道癌診療の歴史と展望」吉田操，門馬久美子，出江洋介『日本臨床』69（増刊6 食道癌）9-16
- 「肝細胞がん外科治療の変遷と展望」竜崇正『外科治療』104（3）292-298
- 40 伝記**
- 「青木繁 神話的時間を生きたひとりの画家（抄）」松田真理子『日本病跡学雑誌』（82）105-106
- 「青木周弼の医学修業」森川潤『広島修大論集』52（1）35-69
- 「紀州の本草家畦田翠山の研究（上）一杏雨書屋所蔵の著作の読解と取り纏め」秋月武兎『杏雨』（14）368-494
- 「人物紹介 有馬英二」山本健一『結核』86（6）655-656
- 「安藤精軒と施薬院」八木聖弥『医譚』（110）6246-6285
- 「池尻茂学長とヒポクラテスの木について（抄）」小林繁，上瀉口武，柴田紀之『日本歯科医史学会々誌』29（2）125
- 「日本の長寿と食養生（その2） 石塚左玄の夫婦アルカリ説」渡邊昌『医と食』3（2）98-100
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のパイオニア 世界編耳科学 Jean Itard」大沼直紀『JOHNS』27（6）943-948
- 「医者も知りたい 【医者のはなし】（第43回）東大医学部の基礎を創った佐賀の医者 伊東玄朴（1800-1871）」木村専太郎『臨床整形外科』46（1）56-59
- 「人物紹介 今村荒男 露口泉夫『結核』86（6）653-654
- 「人物紹介 岩崎龍郎 森亨『結核』86（6）659-660
- 「『雨月物語』にみる秋成の口腔観（その2）（抄）」西巻明彦，屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』29（2）102-103
- 「上中啓三（高峰讓吉の助手）のアドレナリン実験ノート（抄）」中山沃『医譚』（110）6365-6366
- 「宇田川榕菴の西洋植物学受容過程について（抄）」遠藤正治『薬史学雑誌』46（2）115
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のパイオニア 世界編耳科学 Horst L. Wullstein」熊澤忠躬『JOHNS』27（9）1524-1529
- 「107年前に医学専門学校を造った宣教医師エビスン（抄）」堀みゆき，米田恵美，伏見恵子『日本病跡学雑誌』（82）101
- 「蘭学者 大熊世耕の修学歴の発見」西山勝仁『北播磨探史研究会報』（9）9-10
- 「福島県ゆかりの医人達 大里俊吾（1888-1974）」茂田士郎『福島医学雑誌』61（3）133-134
- 「福島県ゆかりの医人達 大原八郎（1882-1943）」茂田士郎『福島医学雑誌』61（1）34-36
- 「緒方洪庵生誕二〇〇年（抄）」小田皓二『医譚』（110）6357-6358
- 「緒方洪庵と適塾（抄）」木下タロウ『POアカデミージャーナル』19（Suppl.）52-53
- 「緒方洪庵の日記を読む一除痘館研究の側面から一（抄）」古西義磨『医譚』（110）6356-6357

- 「人物紹介 岡治道」岩井和郎『結核』86(6) 661-662
- 「日本の経絡治療の祖 岡部素道の功績について(抄)」別部智司, 三浦一恵, 山崎ひろ子他『日本歯科医史学会々誌』29(2) 127-128
- 「江戸の人生名人・貝原益軒 未公開資料を読み解く(終回) 第6回 益軒の遺訓・人生始末法」山崎光夫『大塚薬報』(662) 38-41
- 「漢方のたからもの17 貝原益軒と『養生訓』」小曾戸洋『漢方と診療』2(2) 122-123
- 「医者も知りたい 【医者のはなし】(第48回) 江戸中期の医師 香川修庵(1683~1755)(その1)」木村専太郎『臨床整形外科』46(11) 1028-1030
- 「スポーツ歯科医人伝(第6報) 片山幸太郎先生」石川慎士, 糸賀裕, 濱田種夫『スポーツ歯学』14(2) 60-69
- 「兼康備後守」松本康博『日本歯科医史学会々誌』29(1) 21-23
- 「鎌田玄台研究 玄台と麻沸湯論について」土手健太郎, 矢野雅起, 池宗啓蔵, 出崎陽子, 長樫巧『麻酔』60(増刊) S164-S169
- 「人物紹介 北里柴三郎」河合健『結核』86(6) 651-652
- 「木村兼葎堂と備作の人々」小野敏也『倉敷の歴史』(21)
- 「人物紹介 熊谷岱藏」本宮雅吉『結核』86(6) 665-666
- 「人物紹介 隈部英雄」青木國雄『結核』86(6) 657-658
- 「David Clarkの遺したもの」鈴木純一『集団精神療法』27(2) 132-135
- 「医者も知りたい 【医者のはなし】(第44回) 日本最初の女性解剖を行った萩藩医 栗山孝庵猷臣(1728-1791)」木村専太郎『臨床整形外科』46(3) 224-227
- 「獣医学者カミーユ・ゲランとBCGの発明」早崎峯夫『日本獣医師会雑誌』64(12) 915-925
- 「ロベルト・コッホと富士塚信仰(その3)(抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』29(2) 111-112
- 「医者も知りたい 【医者のはなし】(第46回) 江戸中期の医師 後藤良山(1659-1733)」木村専太郎『臨床整形外科』46(7) 628-630
- 「歴史跡を訪ねて 後藤良山 改革の先駆者として」米田諒典『漢方研究』(472) 16-17
- 「小林一茶の俳句に関する一考察(口もとの表現から)(抄)」湯浅高行, 藤野瑠男, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』29(2) 108
- 「精神科医・小林靖彦(1919-2007)が遺した精神医療史資料の意義を考える(抄)」橋本明『日本医史学雑誌』57(4) 493-494
- 「今裕先生略伝(その1)」菊地浩吉, 札幌市医師会『北海道医報』(1111-1112) 44-45, 40-41
- 「歴史上の人物を診る 第26回 大きな偉人の小さな病原体 西郷隆盛(1828-1877年)」早川智『Medical ASAHI』40(11) 102
- 「代議士坂本一角, DDS(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』29(2) 126
- 「日本最初のベルリン大学医学部卒業生・佐藤進について(抄)」酒井シヅ, ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』57(2) 180
- 「歴史上の人物を診る 第20回 赤備えと男性ホルモン 真田幸村(1567-1615年)」早川智『Medical ASAHI』40(5) 96
- 「国際的観点からみた佐野常民と看護教育(Dr. Tsunetami Sano and nursing education from an international point of view)(英語)(抄)」Shibayama Kaoru, Yonemitsu Nobuko, Umezaki Setsuko, Yano Kiyoko, Shinchi Koichi『国際保健医療』26(3) 216-217
- 「澤田健の太極療法 澤田健の功績」小林健二『医道の日本』70(2) 34-41
- 「歴史上の人物を診る 第18回 長寿の霊薬はいずこ 秦の始皇帝」早川智『Medical ASAHI』40(3)
- 「島田清次郎は本当に統合失調症だったのか?(抄)」風野春樹『日本病跡学雑誌』(82) 102
- 「医学史点描 島峰徹とその時代(一)」村上徹『群馬県歯科医学会雑誌』15,51-74
- 「精神科教科書を書いた至誠の看護人, 清水耕一(抄)」伏見恵子, 堀みゆき, 米田恵美『日本病

- 跡学雑誌』(82) 102
- 「Hughlings Jacksonの知的遺産」山鳥重『神経心理学』27(4) 267-275
- 「ジャン・マルタン・シャルコーと神経障害性関節症(抄)」小林晶『日本医史学雑誌』57(2) 176
- 「インドの薬学の父 Mahadeva Lal Schroff(抄)」夏目葉子，奥田潤『薬史学雑誌』46(2) 108
- 「スーティンの病跡 ある表現主義画家の感覚と身体(抄)」渡邊良弘『日本病跡学雑誌』(82) 105
- 「医人群像 医学の近代化に貢献した『解体新書』の上梓一門弟らの明治医政は現在の医療政策にも余波一杉田玄白 1733-1817」秋葉哲生『漢方医学』35(1) 76
- 「幕末大坂の医家・杉本一斎の輪郭一岡嶋正義の「古今長壽の翁の話」をめぐって一(抄)」浅井允晶『医譚』(110) 6358-6359
- 【杉山和一の施術テクニック】杉山和一と杉山三部書」長尾榮一『医道の日本』70(6) 24-27
- 「人物紹介 砂原茂一」片山透『結核』86(6) 663-664
- 「関場不二彦から医史学へ」秦温信『北辰』(11) 38-40
- 「歴史上の人物を診る 第23回 修羅道の末の高熱 平清盛(1118-1181年)」早川智『Medical ASAHI』40(8) 102
- 「高木兼寛と柔道整復の公認 患者中心の医療(抄)」高野廣道，牛山正実『日本柔道整復接骨医学会誌』19(5) 289
- 「高橋琢也と学生達(疾風怒涛の物語)(4)(上・中・下)」友田あき夫『東京医科大学雑誌』69(1-3) 22-54, 184-209, 321-348
- 「日本で最初の精神科専門医高松彝」岡田靖雄『医譚』(111) 6420-6427
- 「我国後世派医学の祖「田代三喜」日本漢方医学の源流」中山清治『Journal of Tokyo Ariake University of Medical and Health Sciences』2, 45-48
- 「橘南谿をめぐる考察(抄)」成瀬勝俊『日本医史学雑誌』57(2) 186
- 「南海の孤高の画家・田中一村 結核者の表現病理の軌跡(抄)」林美朗『日本病跡学雑誌』(82) 106
- 「彌生園第十二代当主田中太一良(1873~1932)の医績について(抄)」田中祐尾『日本医史学雑誌』57(2) 203
- 「“たにぐちとみじろう”という存在」岸博実『理療教育研究』33(1) 1-18
- 「心臓刺激伝導系発見者・田原淳の顕彰(抄)」須磨幸蔵，島田宗洋，島田達生『日本医史学雑誌』57(2) 140
- 「医人群像26 日本最古の医学書『医心方』30巻を編纂—10世紀に入手できる全ての書物を総合的に検討—丹波康頼(912-995)」秋葉哲生『漢方医学』35(4) 355
- 「景岳全書に学ぶ」牟田光一郎『福岡医師漢方研究会会報』32(12) 1-44
- 「萩藩医坪井信道—萩藩における蘭学導入の経緯について—」森川潤『広島修大論集』51(2) 51-108
- 「孤高の天才物理学者ディラック」生田孝『日本病跡学雑誌』(82) 60-74
- 「臨床メモ Alphonse Daudetの脊髄癆」古川哲雄『神経内科』75(4) 426-428
- 「礎を築いた人(第13回) 徳永恕 蟻塚昌克『月刊福祉』94(7) 66-67
- 「人物紹介 戸田忠雄」徳永徹『結核』86(6) 667-668
- 「ナイチンゲール イギリス陸軍省を改革する 学習(経験)したことから学習せよ」佐々木秀美『看護学統合研究』13(1) 29-48
- 「古いは新しい，新しいは古い フロレンス・ナイチンゲールの品格」小玉香津子『日本赤十字看護学会誌』11(2) 93-101
- 「古いは新しい，新しいは古い フロレンス・ナイチンゲールの品格」小玉香津子『綜合看護』46(2) 5-15
- 「ナイチンゲールの思想と鍼灸(特別対談)」矢野忠，金井一薫『医道の日本』70(3) 159-166
- 「中泉行正博士と研医会図書館(抄)」安部郁子『日本医史学雑誌』57(2) 154
- 「礎を築いた人(第18回) 長沢巖 蟻塚昌克『月刊福祉』94(12) 68-69
- 「中島宗仙の阿蘭陀取油法について—文政2年宗



- 「仙長崎遊学時の写本一(抄)」中島洋一, 松村紀明『日本医史学雑誌』57(2) 202
- 「最後のお目見医者中島友玄(抄)」中島洋一『医譚』(110) 6368-6370
- 「13世紀, イブン・ナフィス (Ibn Nafis) による肺循環の発見」藤倉一郎『日本医史学雑誌』57(3) 353-356
- 「イブン・ナフィス (Ibn Nafis) による肺循環の発見(抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』57(2) 165
- 「郷土のほこり 福岡の先賢医師 日本初, 牛痘種痘を普及させた医者 佐賀藩医・楢林宗建(1802~1852)」木村専太郎『福岡県医報』(1416) 12-13
- 「呼吸器学の巨人たち 巨人 Kurt von Neergaard の忘れ去られていた業績」高橋敬治『呼吸』30(2) 197-199
- 「新島襄の持病「リウマチズム」について(抄)」布施田哲也『日本医史学雑誌』57(2) 177
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 日本編 西端驥一」小川郁, 西端慎一『JOHNS』27(2) 246-251
- 「元海軍軍医・野上八十八の「経菌的結核感染の研究」—加賀乙彦の自伝的小説『永遠の都』をテキストに—(抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』57(3) 369-370
- 「人・土地・業績 野口英世(1876-1928)と多発性硬化症」田村直俊『神経内科』74(6) 610-615
- 「野口英世の横浜海港検疫所赴任の時期について(抄)」中村澄夫『日本医史学雑誌』57(2) 129
- 「萩原朔太郎の無意識(抄)」雪竹靖衛『日本病跡学雑誌』(82) 103
- 「橋田邦彦教授の側面観」本多和雄『Comprehensive Medicine』10(1) 60-69
- 「橋田邦彦における「格医」(抄)」勝井恵子『日本医史学雑誌』57(2) 207
- 「万病万毒論と橋本伯寿(抄)」西巻明彦『医譚』(110) 6370-6371
- 「長谷川泰の晩年の生活及び人生の苦悩と悟りについての手紙と詩文(抄)」唐沢信安, 志村俊郎, 殿崎正明, 山本鼎, 幸野健『日本医史学雑誌』57(2) 142
- 「長谷川泰論—済生学舎廃校宣言前後を中心に—(抄)」殿崎正明, 唐沢信安, 山本鼎, 幸野健, 志村俊郎『日本医史学雑誌』57(2) 141
- 「礎を築いた人(第11回) 長谷川保 蟻塚昌克『月刊福祉』94(5) 70-71
- 「医者も知りたい 【医者のはなし】(第45回) 世界初・全身麻酔と乳癌手術 華岡青洲(1760-1835)」木村専太郎『臨床整形外科』46(5) 430-433
- 「郷土のほこり 福岡の先賢医師 原三信・六代目の貞享4年(1687)の解剖学書」木村専太郎『福岡県医報』(1426) 10-11
- 「医人群像25 臨床に即し柔軟に対応する実証医学を具現—後期水戸医学・本草学の礎を築く—原南陽(1753-1820)」秋葉哲生『漢方医学』35(3) 266
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 世界編耳科学 Robert Barany」坂田英治『JOHNS』27(7) 1078-1082
- 「病名に名を残した医学者 アーノルド・ビック」新井平伊『認知症の最新医療』1(2) 92
- 「人・土地・業績 神経免疫学の祖 Heinrich Pette(1887-1964)」田村直俊『神経内科』74(4) 430-435
- 「歴史上の人物を診る 第22回 赤毛の司祭の苦しみ アントニオ・ヴィヴァルディ(1678-1741年)」早川智『Medical ASAHI』40(7) 105
- 「人物紹介 日比野進」下方薫『結核』86(6) 669-670
- 「ヒルシュフェルトと血液型ヒト集団」香戸美智子『医譚』(111) 6439-6452
- 「歴史上の人物を診る 第21回 左利きの大天才レオナルド・ダ・ヴィンチ(1452-1519年)」早川智『Medical ASAHI』40(6) 102
- 「ベルツ博士の九州歴訪(抄)」山上勝久『医譚』(110) 6350-6351
- 「帆船万里における儒学と医学 「内外合一・格物窮理」の折衷学 名倉正博『防衛医科大学校進学課程研究紀要』(34) 64-48
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 世界編耳科学 Adam Politzer」加我君孝『JOHNS』

- 27 (4) 646-648
- 「歴史上の人物を診る 第24回 毎日が日曜なら…アレクサンドル・ポロディン (1833-1887年)」早川智『Medical ASAHI』40 (9) 94
- 「歴史上の人物を診る 第17回 賢い寵姫は頭痛持ち ポンパドゥール婦人 (1721-1764年)」早川智『Medical ASAHI』40 (2) 97
- 「人・土地・業績 Otto Marburg (1874-1948) と急性多発性硬化症 Marburg の経歴と業績」田村直俊，石澤圭介『神経内科』75 (2) 200-204
- 「人・土地・業績 Otto Marburg (1874-1948) と急性多発性硬化症 Marburg が真に記述したこと」田村直俊，石澤圭介『神経内科』75 (3) 292-298
- 「郷土のほこり 福岡の先賢医師 前野良澤 (1723-1803) 豊前中津藩医・父は筑前 (黒田) 藩士」木村専太郎『福岡県医報』(1418) 14-15
- 「セブランス (旭) 医学専門学校精神科病棟，宣教医師マクラーレン (抄)」金川英雄，小川真紀子，酒谷佐和子『日本病跡学雑誌』(82) 101-102
- 「アンチオーク大学におけるキャロライン・マグレガーの教育活動について (抄)」村田晋也『産業衛生学雑誌』53 (2) 62
- 「本草家松岡恕庵の生涯と学問」太田由佳『杏雨』(14) 188-209
- 「京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績，業績—第6報 松岡の留学と教室の公開，診療および研究—」廣谷速人『日本医史学雑誌』57 (1) 3-17
- 「京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績，業績—第7報 松岡道治の学歴：小学校から大学院まで—」廣谷速人『日本医史学雑誌』57 (4) 403-418
- 「漢方のたからもの18 曲直瀬玄朔と『医学天正記』」小曾戸洋『漢方と診療』2 (3) 210-211
- 「Lionor Michaelis と草創期の北大医学部」渡辺誠，神山昭男，齋藤健，寺沢浩一，藤田博美，齋藤和雄『北海道医学雑誌』86 (4-5) 203-208
- 「北里研究所に所蔵される三木栄作成の研究資料 (抄)」郭秀梅『日本医史学雑誌』57 (2) 156
- 「三木栄宛の手紙—その三—」白井順『医譚』(111) 6428-6434
- 「三木文庫調査報告」白井順『杏雨』(14) 495-528
- 「歴史上の人物を診る 第25回 長寿の故の寂しさ通痛感? ミケランジェロ (1475-1564年)」早川智『Medical ASAHI』40 (10) 95
- 「知的障害児教育の源流—医師・三田谷啓の提言—」小野尚香『医譚』(110) 6336-6345
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 世界編耳科学 Prosper Meniere」室伏利久『JOHNS』27 (5) 790-792
- 「歴史上の人物を診る 第19回 この家に生まれてメンデルスゾーン (1809-1847年)」早川智『Medical ASAHI』40 (4) 91
- 「本居宣長記念館所蔵『諸疾目録回春病門次第』—本居宣長の医学への味岡三伯の影響— (抄)」吉川澄美『日本医史学雑誌』57 (2) 187
- 「森田千庵『四十五様』について—中野柳圃・森田千庵と仏文法の関係—」岡田和子『洋学史研究』(28) 33-68
- 「森田正馬の対政治・社会行動 (抄)」筒井昭子，佐藤茂男，山田全寛，大森明博，伊丹仁朗『日本森田療法学会雑誌』22 (1) 68
- 「ワグナー・ヤウレックとマラリア発熱療法 (その2-3)」南光進一郎『帝京医学雑誌』34 (1-2) 1-14, 91-110
- 「矢数有道の足跡 (抄)」小曾戸洋『日本東洋医学雑誌』62 (別冊) 283
- 「膠原病を克服した人々 山上億良—重い痛みに苦しんだ万葉歌人— (660?-733?)」酒井シヅ『Rheumatoid Arthritis Trends』2 (1) 12
- 「阿蘭陀通詞吉雄幸左衛門耕牛と「刺絡」」片桐一男『洋学史研究』(28) 16-32
- 「膠原病を克服した人々 ピーテル・パウル・ルーベンス (1577-1640年)」酒井シヅ『Rheumatoid Arthritis Trends』2 (2) 12
- 「マルチン・ルターの病歴」滝上正『日本医史学雑誌』57 (4) 433-449
- 「エリザベス I 世の侍医ロペスの栄達と悲運 (抄)」柳澤波香『医譚』(110) 6354-6355
- 「礎を築いた人 (第15回) 若月俊一」蟻塚昌克『月刊福祉』94 (9) 66-67

「漢方のたからもの19 和田啓十郎と『医界之鉄椎』」小曾戸洋『漢方と診療』2(4) 290-291

「漢方のたからもの16 和田東郭とその著述」小曾戸洋『漢方と診療』2(1) 54-55

#### 41 伝記(双)

「臨床微生物学の礎を築いた人々 気道関連の微生物研究に携わった研究者達の技術と思索 Paul EhrlichとHans Christian Gram(その1)~(その3)」紺野昌俊『Modern Media』57(9-11) 264-268, 291-296, 319-324

「医者も知りたい 【医者のはなし】(第47回) 江戸中期の医師 香川修庵(1683~1755)とその師・伊藤仁斎(1627~1705)(その1)」木村専太郎『臨床整形外科』46(9) 848-851

「シーボルトの子孫・楠本家伝来の短冊」若木太一, 扇浦正義『鳴滝』(21) 101-116

「女性の地位をめぐるF. ナイチンゲールとJ.S. ミル 福沢諭吉に至る英国思想の流れから」白井堯子『日本看護歴史学会誌』(24) 1-9

「日本薬学の祖 長井長義と坂本龍馬たち(抄)」飯沼信子『日本薬学会年会要旨集』131年会(1) 74

「ジョン・ハンターとホーム家の人々<3世代>(抄)」青木國雄『日本医史学雑誌』57(2) 206

「臨床微生物学の礎を築いた人々 気道関連の微生物研究に携わった研究者達の技術と思索 Richard PfeifferとShibasaburo Kitasato(その1)」紺野昌俊『Modern Media』57(12) 343-348

「BrocaとJacksonの失語論とその背景 Paul Brocaの失語剖検例報告後150年, John Hughlings Jackson没後100年」濱中淑彦『神経心理学』27(4) 276-286

「道三・益軒・白隠の養生思想」名倉正博『防衛医科大学校進学課程研究紀要』(34) 120-66

「明治期の著名な医師による解剖学講義 森林太郎と野口英世について(抄)」島田和幸『解剖学雑誌』86(1) 24

「適塾門下生「横山謙斎」と「国府彰哉」」木村丹『医譚』(111) 6416-6419

「適塾門下生「横山謙斎」と「国府彰哉」(抄)」木

村丹『医譚』(110) 6359-6360

#### 42 伝染病・防疫史・感染症史

「解放後韓国のハンセン病政策と患者の人権」鄭根埴(訳 全貴粉)『国立ハンセン病資料館』(2) 77-95

「ハンセン病の歴史と学び—資料館常設展示の使い方を伝える試みとして—」稲葉上道『国立ハンセン病資料館』(2) 8-19

「フィラリア症の歴史, 疫学, 防除 (History, Epidemiology and Control of Filariasis) (英語)」Otsuji Yoshihito『Tropical Medicine and Health』39(1 Suppl. 2) 3-13

「近代日本の海外展開における第一歩としての日本人ペスト調査団海外派遣(抄)」大山卓昭『日本医史学雑誌』57(2) 128

「人類と感染症との闘い 「得体の知れないものへの怯え」から「知れて安心」へ(第9回) インフルエンザ 人類に最後まで残る厄介な感染症」加藤茂孝『Modern Media』57(2) 39-54

「人類と感染症との闘い 「得体の知れないものへの怯え」から「知れて安心」へ(第10回) 国際ネットワークで感染症に備える」加藤茂孝『Modern Media』57(4) 105-117

「人類と感染症との闘い 「得体の知れないものへの怯え」から「知れて安心」へ(第11回) 余話」加藤茂孝『Modern Media』57(6) 173-181

「ハンセン病療養所退所者の医療利用実践 沖繩の療養所退所者を事例として」桑畑洋一郎『保健医療社会学論集』21(2) 91-103

「徳川綱吉の麻疹と幕府の麻疹感染予防策について—酒湯習慣を中心に—(抄)」鈴木則子『医譚』(110) 6366-6367

「戦後占領期における性感染症—GHQ/SCAP文書にみる軟性下疳の流行—(抄)」田中誠二, 杉田聡, 丸井英二『日本医史学雑誌』57(2) 134

「「国立ハンセン病資料館」の設置目的である「名誉回復」について」成田稔『国立ハンセン病資料館』(2) 1-7

「1976年の米国のブタインフルエンザ騒動について(その9) 祭のあとで……事業の永久的中断

- とそれからの動き，現在への伏線的出来事（2）」  
西村秀一『インフルエンザ』12（2）174-178
- 「新型インフルエンザ・パンデミック インフルエンザの歴史と2009年のパンデミック」西村秀一『仙台医療センター医学雑誌』1（1）9-16
- 「ハンセン病に関する薬学的キリスト教文化研究（抄）」野田康弘『薬史学雑誌』46（2）114
- 「戦前期ハンセン病療養所における患者自治—1936年長島事件をめぐる—」松岡弘之『ヒストリア』（229）
- 「感染症の過去，現在，未来（抄）」松本慶蔵『感染症学雑誌』85（臨増）77
- 「結核実態調査の戦後史における検討（抄）」渡部幹夫『日本医史学雑誌』57（3）370-371
- 43 東洋医学史・伝統医学史**
- 「『漢方研究室』の沿革（3-4）：『漢方と漢薬』時代」秋葉哲生『漢方の臨床』58（1-2）208-210，416-417
- 「目でみる漢方史料館（271）丁福保」天野陽介，小曾戸洋『漢方の臨床』58（4）634-636
- 「漢代の医学（その11-15）疾病学（1-5）」家本誠一『漢方の臨床』58（4-8）763-769，997-1006，1219-1229，1405-1414，1663-1673
- 「漢代の医学（その9-10）症候論（1-2）」家本誠一『漢方の臨床』58（2-3）375-385，575-583
- 「北京大学蔵漢代医簡初探」猪飼祥夫『医譚』（111）6467-6473
- 「ヨーガの成立に導引は関係があるか（初探）（抄）」猪飼祥夫『医譚』（110）6351-6354
- 「敦煌秘笈の価値」池田温『杏雨』（14）167-187
- 「『瘡瘍經驗全書』の鍼灸（抄）」上田善信『日本医史学雑誌』57（2）193
- 「内務省通牒「按摩術營業取締規則中改正ニ關スル件」の検討」牛山正実『日本柔道整復接骨医学会誌』19（4）170-176
- 「『治未病』の過去・現在・そしてこれから「未病の治」と「治未の病」「未病」の歴史的側面（抄）」浦山久嗣『全日本鍼灸学会雑誌』61（4）393-397，407-408
- 「『効かせる鍼灸の技』江戸期諸流派にみる刺鍼技術」大浦慈観『鍼灸Osaka』26・274・1，433-436
- 「『人物を通してみる日本鍼灸の歴史』について」杉山和一（すぎやまわいち）（抄）大浦慈観『全日本鍼灸学会雑誌』61（1）9-10
- 「『人物を通してみる日本鍼灸の歴史』について」御菌意斎（みそのいさい）（抄）大浦慈観『全日本鍼灸学会雑誌』61（1）8-9
- 「室町・江戸期の診察・診断・治療 杉山流形成に至る諸流派の影響とその後の展開」大浦慈観『伝統鍼灸』37（3）208-218
- 「明治期における「杉山真伝流百法鍼術」の成立と変遷について（抄）」大浦宏勝，市川友理『日本医史学雑誌』57（2）161
- 「東京医療専門学校における指圧指導法（第1回）呉竹指圧の歴史と特徴」岡本雅典『医道の日本』70（2）93-100
- 「『脳為元神之府』をめぐる—李時珍から張錫純へ—」奥野繁生『日本医史学雑誌』57（1）39-50
- 「逆子の灸—至陰と張文仲—（抄）」奥野繁生『日本医史学雑誌』57（2）188
- 「漢方診療ワザとコツ（No.25）左と右と漢方薬（その1）」織部和宏『漢方と診療』2（2）120-121
- 「時代と漢方（変革期の理論と臨床）」風間洋一『福岡医師漢方研究会会報』32（1）6-23
- 「鍼灸の歴史」形井秀一『伝統鍼灸』38（1）6-21
- 「『ヒポクラテス法』整復図譜の変遷と養生法（抄）」『日本柔道整復接骨医学会誌』19（5）251
- 「柔道整復師の画像診断沿革史（抄）」草野久一『スポーツ整復療法学研究』13（2）106
- 「鍼灸医説（第9回）清代の医書に見る伏気と新感の相互関係（後半）」黒岩弦矢『経絡治療』（187）45-53
- 「『漢方薬の正しい知識と臨床での実践』漢方の歴史を紐解く」小曾戸洋『薬事』53（11）1701-1705
- 「『人物を通してみる日本鍼灸の歴史』について」梶原性全（かじわらしょうぜん）（抄）小曾戸洋『全日本鍼灸学会雑誌』61（1）6
- 「『人物を通してみる日本鍼灸の歴史』について」丹波康則（たんばのやすのり）（抄）小曾戸洋『全日本鍼灸学会雑誌』61（1）4-5

- 「人物を通してみる日本鍼灸の歴史」について  
日本への鍼灸の伝来(抄) 小曾戸洋『全日本  
鍼灸学会雑誌』61(1)3-4
- 「人物を通してみる日本鍼灸の歴史」について  
曲直瀬道三(まなせどうさん)(抄) 小曾戸洋  
『全日本鍼灸学会雑誌』61(1)7
- 「目でみる漢方史料館(270)内藤希哲と『傷寒雜  
病論類編』」小曾戸洋『漢方の臨床』58(3)438-  
440
- 「目でみる漢方史料館(268)徳川綱吉の神農像と  
徳川斉昭の「神農」書」小曾戸洋, 天野陽介『漢  
方の臨床』58(1)2-4
- 「目でみる漢方史料館(269)神農像二軸一谷文晁  
と富士川游」小曾戸洋, 天野陽介『漢方の臨床』  
58(2)234-236
- 「目でみる漢方史料館(273)鳥根の医家・松本氏  
の家伝史料」小曾戸洋, 天野陽介『漢方の臨床』  
58(6)1046-1048
- 「目でみる漢方史料館(272)吉益東洞の肖像一尾  
台榕堂賛」小曾戸洋, 町泉寿郎『漢方の臨床』  
58(5)822-824
- 「目でみる漢方史料館(274)吉益南涯の肖像一鳥  
根松本家所蔵品」小曾戸洋, 松本祐二『漢方の  
臨床』58(7)1262-1264
- 「温庭筠, 李商隱疾病致(抄)」小高修司『日本医  
史学雑誌』57(2)160
- 『啓廸集』の鍼法と灸法(抄) 木場由衣登『日  
本医史学雑誌』57(2)190
- 「史記に描かれた扁鵲の人物像について」佐々木  
秀雄, 杉山好美, 奥富行, 小杉順一, 中田智之  
『東洋療法学校協会学会誌』(34)69-73
- 「人物を通してみる日本鍼灸の歴史」について  
和気惟亨(わけこれゆき)(抄) 篠原孝市『全  
日本鍼灸学会雑誌』61(1)13-14
- 「臨床に活かす古典(後編)」篠原孝市, 相澤良,  
宮川浩也『医道の日本』70(9)170-183
- 「最も古い経方(先秦~前漢)の組方に関する研  
究と動向及び五行説の歴史的肉付けについて」  
杉山広重『漢方の臨床』58(1)171-182
- 「五俞穴における合穴の機能」鈴木達彦, 遠藤次  
郎『漢方の臨床』58(1)101-113
- 「江戸時代の婚姻と「癩」(抄)」鈴木則子『日本  
医史学雑誌』57(2)136
- 「東洋医学史探訪 第1回 「レッドクリフ(赤壁  
の戦い)」と「漢方の成立(傷寒論)」」関忠雄  
『医道の日本』70(5)156-157
- 「東洋医学史探訪 第2回 世界初の乳がん手術  
(華岡青洲)一華陀は死なず」関忠雄『医道  
の日本』70(6)170-171
- 「東洋医学史探訪 第3回 アーユル・ヴェーダ  
とゴータマ・ブッダ」関忠雄『医道の日本』  
70(7)160-161
- 「東洋医学史探訪 第4回 沙羅双樹の樹とヒポ  
クラテスの樹」関忠雄『医道の日本』70(8)  
172-173
- 「東洋医学史探訪 第5回 織田信長の造った薬  
草園」関忠雄『医道の日本』70(9)202-203
- 「東洋医学史探訪 第6回 徳川家康と『和剂局  
方』」関忠雄『医道の日本』70(10)112-113
- 「東洋医学史探訪 第7回 『東医宝鑑』と小石川  
薬草園」関忠雄『医道の日本』70(11)188-189
- 「東洋医学史探訪 第8回 「傷寒論」と「浅田  
飴」」関忠雄『医道の日本』70(12)172-173
- 「鍼灸パラダイム談義一東アジア伝統医学の想像  
力一第1回 鍼こそ中国の三大発明!？」武田時  
昌『医道の日本』70(1)278-280
- 「鍼灸パラダイム談義一東アジア伝統医学の想像  
力一第2回 五臓六腑という小宇宙」武田時昌  
『医道の日本』70(2)226-227
- 「鍼灸パラダイム談義一東アジア伝統医学の想像  
力一第3回 漢代における思想と医療の大革  
命」武田時昌『医道の日本』70(3)230-232
- 「鍼灸パラダイム談義一東アジア伝統医学の想像  
力一第4回 脱黄帝学派宣言一鍼道を志す人の  
ために」武田時昌『医道の日本』70(4)194-195
- 「鍼灸パラダイム談義一東アジア伝統医学の想像  
力一第5回 未だ病まざるを治す一鍼門の三字  
銘」武田時昌『医道の日本』70(5)158-159
- 「鍼灸パラダイム談義一東アジア伝統医学の想像  
力一第6回 魯迅の眼で見た中医一東と西の解  
剖学」武田時昌『医道の日本』70(6)172-175
- 「鍼灸パラダイム談義一東アジア伝統医学の想像

- 力一第7回 血と骨のフォークロア『洗冤録』の複眼的考察」武田時昌『医道の日本』70(7) 156-159
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力—第8回 ミイラの呪文，閻魔大王の便り—老化現象を考える(1)」武田時昌『医道の日本』70(8) 174-175
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力—第9回 死徴の診断術—老化現象を考える(2)」武田時昌『医道の日本』70(9) 200-201
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力—第10回 老子と彭祖の長生術—老化現象を考える(3)」武田時昌『医道の日本』70(10) 186-187
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力—第11回 今こそ虚労病の新薬を！—老化現象を考える(4)」武田時昌『医道の日本』70(11) 204-205
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力—第12回 鍼の響きと脳内モルヒネの唄」武田時昌『医道の日本』70(12) 168-169
- 「唐代の散逸医書『古今録驗方』から見た六朝期の散逸医書『僧深方』(抄)」多田伊織『日本医史学雑誌』57(2) 150
- 「医在厨房 絢爛な明の時代」辰巳洋『漢方と診療』2(1) 39
- 「医在厨房 清代の食養生」辰巳洋『漢方と診療』2(2) 119
- 「医在厨房 清代の医と食(最終回)」辰巳洋『漢方と診療』2(3) 223
- 「吉益東洞の医術と医論(1-3)」館野正美『漢方の臨床』58(5-7) 883-896, 1179-1189, 1389-1396
- 「小児灸を考える 古典書物の考察より見えてくるもの」田中ちえ，益子恵，手塚幸忠『東洋療法学校協会学会誌』(34) 144-148
- 「『古今医統大全』の鍼灸について(抄)」田中利江子『日本医史学雑誌』57(2) 191
- 「江戸考証学派における薬用量についての議論(抄)」津田篤太郎，星野卓之，渡辺浩二，蒲生裕司，矢数芳英，天野陽介，小曾戸洋，花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』62(別冊) 283
- 「江戸期における艾シュの大小の論究について(抄)」鶴田泰平『日本東洋医学雑誌』62(別冊) 268
- 「『医談抄』の鍼灸(抄)」寺川華奈『日本医史学雑誌』57(2) 195
- 「日本漢方の多様性と標準化 日本漢方の歴史的変遷(抄)」寺澤捷年『日本東洋医学雑誌』62(別冊) 121
- 「日中医学交流史51「冠心II号方」から「冠元顆粒」まで(上編)」陶恵寧『日中医学』25(4) 30-33
- 「日中医学交流史52「冠心II号方」から「冠元顆粒」まで(下編)」陶恵寧『日中医学』26(1) 50-52
- 「人物を通してみる日本鍼灸の歴史」について 華岡青洲(はなおかせいしゅう)(抄) 戸田静男『全日本鍼灸学会雑誌』61(1) 12-13
- 「『難経』七十一難の陰陽について」戸田静男『関西医療大学紀要』5, 49-53
- 「『啓迪集』の脈法(抄)」中川俊之『日本医史学雑誌』57(2) 189
- 「東洋医学の国際的発展(上)」永田勝太郎『経絡鍼療』43(11) 48-64
- 「目でみる漢方史料館(277) 施本『丹毒療治相伝』の刺絡鍼法」長野仁『漢方の臨床』58(10) 1918-1920
- 「目でみる漢方史料館(278) 刺絡用の平鍼(鍍鍼)と専用の木槌」長野仁『漢方の臨床』58(11) 2134-2136
- 「萬病萬毒論と萬病一毒論(抄)」西卷明彦『日本医史学雑誌』57(2) 185
- 「楊心流柔術と楊心流静間之巻」橋口浩治『日本柔道整復接骨医学会誌』19(5) 289
- 「五行学説の臨床応用」土方康世，陸希『漢方の臨床』58(2) 336-348
- 「傷寒論講座『傷寒論』にまつわる疑問(第2回) 傷寒の病ってなんだろう 宋以前篇」別府正志『中医臨床』32(1) 64-67
- 「傷寒論講座『傷寒論』にまつわる疑問(第3回) 宋以前の傷寒の治療法って 宋以前篇(その2)」別府正志『中医臨床』32(2) 230-234

- 「五臓スコアの作成(第1報) 古典から近代までの文献に基づく症状の抽出と選択」前田雅史, 岡安正倫, 高井和幸, 廣川知実, 藤本実, 下市善紀, 小森加都江, 中井一彦, 戸村多郎『東洋療法学校協会学会誌』(34) 58-61
- 「ライデン所蔵資料等によるシーボルトの鍼灸研究に関する再検討」町泉寿郎『日本東洋医学雑誌』62(6) 695-712
- 「吉益東洞と松原一閑齋の医術・医論について」松岡尚則, 栗林秀樹, 別府正志, 山口秀敏, 中田英之, 阿南多美恵, 頼建守, 岡田研吉, 岩井祐泉, 牧角和宏, 三浦於菟, 秋葉哲生, 笛木司『漢方の臨床』58(12) 2387-2403
- 「海人湯と鷓鴣菜湯」松岡尚則, 栗林秀樹, 別府正志, 山口秀敏, 中田英之, 阿南多美恵, 頼建守, 岡田研吉, 岩井祐泉, 牧角和宏, 三浦於菟, 秋葉哲生, 牧野利明, 笛木司『漢方の臨床』58(11) 2263-2272
- 「許浚の虚像と実像」松岡尚則, 栗林秀樹, 別府正志, 山口秀敏, 中田英之, 阿南多美恵, 頼建守, 岡田研吉, 岩井祐泉, 牧角和宏, 吉田和裕, 三浦於菟, 秋葉哲生『漢方の臨床』58(10) 2069-2075
- 「医の心」松田邦夫『日本東洋医学雑誌』62(2) 103-112
- 「目でみる漢方史料館(275)『医界の鉄椎』のベトナム語版」真柳誠, 阮氏楊『漢方の臨床』58(8) 1470-1472
- 「目でみる漢方史料館(276)『医界の鉄椎』の中国語版」真柳誠『漢方の臨床』58(9) 1694-1696
- 「和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(1-6)」溝部宏毅, 益田龍彦, 奥田隆司, 権藤寿昭, 鶴博生, 樋口理, 松藤英正『漢方の臨床』58(7-12) 1383-1388, 1612-1616, 1857-1860, 2076-2079, 2283-2287, 2502-2505
- 「中国家庭療法の考えを取り入れたベビーマッサージ 中国家庭療法とは何か? 歴史的背景と特徴」南田理恵『妊産婦と赤ちゃんケア』3(5) 86-89
- 「例外的医療としての日本鍼灸 日本鍼灸の制度史から見た一考察」箕輪政博『社会鍼灸学研究』(5) 54-62
- 「鍼灸制度史に関する一考察(抄)」箕輪政博, 形井秀一『全日本鍼灸学会雑誌』61(3) 294
- 「人物を通してみる日本鍼灸の歴史」について 点描 近世ヨーロッパに伝えられた日本の鍼灸(抄) ヴォルフガング・ミヒェル『全日本鍼灸学会雑誌』61(1) 11-12
- 「16~18世紀のヨーロッパへ伝わった日本の鍼灸」ヴォルフガング・ミヒェル『全日本鍼灸学会雑誌』61(2) 150-163
- 「『牛山活套』の婦人部について(抄)」山田恵美『日本医史学雑誌』57(2) 196
- 「ドキュメンタリー「近代鍼灸史」(18)-(23)」油井富雄『東洋医学鍼灸ジャーナル』18-23, 95-97, 95-97, 95-97, 95-97, 96-98, 95-97
- 「明治の漢方復興運動の記録 幻の『漢洋医学闘争史』下巻(8): 検証・岡正吉の和漢医継続の熱き思い 帝国医会発会の年はコレラ・赤痢大流行」油井富雄『漢方の臨床』58(6) 1230-1233
- 「唐代『張仲景傷寒論』の検討(抄)」楊 歆『日本医史学雑誌』57(2) 149
- 「人物を通してみる日本鍼灸の歴史」について 小児鍼の歴史(抄) 横山浩之『全日本鍼灸学会雑誌』61(1) 15-16
- 「韓国伝統医学の世界(第一回) 朝鮮時代の名医「心医」許浚」吉田和裕『伝統と医療』17(2) 10-11
- 「韓国伝統医学の世界(第二回) 朝鮮を代表する最高峰の医学書『東医宝鑑』」吉田和裕『伝統と医療』17(3) 8-9
- 「日本における鍼灸の歴史 室町から江戸期にかけての受容と発展について」吉田和裕『社会鍼灸学研究』(5) 32-53
- 「目でみる漢方史料館(279)「尾台榕堂之碑」東京八重洲に建立」吉村重敏, 小曾戸洋『漢方の臨床』58(12) 2350-2352
- 「五行説と古典(1-4)」吉元昭治『漢方の臨床』58(6-9) 1191-1198, 1415-1424, 1645-1656, 1877-1882
- 「古文説 今文(きんぶん)説と五行説」吉元昭治『漢方の臨床』58(4) 729-739

「中国伝統医学と道教（第31回 道蔵）（抄）」吉元昭治『日本医史学雑誌』57（2）184

「【杉山和一の施術テクニック】江戸期の按摩術」和久田哲司『医道の日本』70（6）41-45

「19世紀ヨーロッパの鍼灸の受容におけるシーボルトと石坂宗哲の貢献について—シーボルト旧蔵の鍼灸関係資料の比較調査を中心に—」ヴィグル・マティアス，町泉寿郎『日本医史学雑誌』57（3）325-342

#### 44 内科史

「世界における内分泌外科の歴史と現況」高見博『帝京医学雑誌』34（3）191-196

#### 45 皮膚科史

「アトピー性皮膚炎の漢方治療 アトピー性皮膚炎混乱の歴史」夏秋優『日本東洋医学雑誌』62（3）393-400

「皮膚を見て，全身を診る 皮膚科医の役割再考 デルマドロームの歴史の変遷と今日的意義（抄）」三橋善比古『日本臨床皮膚科医会雑誌』28（3,5）294, 614-618

#### 46 泌尿器科史

「VURの診断と治療 VURの歴史を紐解く Seeing the trees in the forest（抄）」小柳知彦『日本泌尿器科学会雑誌』102（2）176

「女性泌尿器科 尿失禁，性器脱治療の変遷（抄）」近藤厚生『日本泌尿器科学会雑誌』102（2）161

「停留精巣 停留精巣の歴史を紐解く（抄）」島博基『日本泌尿器科学会雑誌』102（2）192

「勃起障害 わが国における勃起障害研究の軌跡（抄）」白井將文『日本泌尿器科学会雑誌』102（2）180

「欧米尿路結石症概史と本邦尿路結石症史（第一章）欧米における尿路結石症の概史（1-4）」高崎悦司『泌尿器外科』24（3-6）297-300, 649-652, 875-882, 1045-1056

「欧米尿路結石症概史と本邦尿路結石症史（第二章）日本における尿路結石症の歴史（1-5）」高崎悦司『泌尿器外科』24（7,9-12）1185-1191,

1513-1518, 1661-1671, 1817-1823, 1989-1999

「泌尿器科学事始（抄）」友吉唯夫『日本泌尿器科学会雑誌』102（2）257

「慶應大学医学部泌尿器科の国際関係 歴史と将来展望（International Relations of Keio Urology: History and Future Perspectives）（英語）（抄）」Murai Masaru『The Keio Journal of Medicine』60（2）69-70

#### 47 病院史

「松本医鬘兼病院の沿革」小関恒雄『日本医事新報』（4531）99-100

「占領期の病院管理改革に関する史的考察 占領文書にみる Manittoffの活動記録からの分析」佐藤公美子，坪井良子，奥宮暁子，滝内隆子，青木涼子『日本看護歴史学会誌』（24）10-21

「精神科病院はどのようにして時代に生き残るか？ 茨城県立友部病院の質的歴史研究から」太刀川弘和，井口俊大，高木善史，東理美沙，土井永史『精神看護』14（6）44-54

「セント・バーソロミュー病院の創設と発展（抄）」柳澤波香『日本医史学雑誌』57（2）166

#### 48 病跡学

「我が国における病跡学の歴史 戦前篇・補遺」高橋正雄『日本病跡学雑誌』（81）68-71

#### 49 病理学史

「【循環器病理】心筋疾患 心筋症総説（歴史，定義，分類）」朝倉正紀，北風政史『病理と臨床』29（2）110-113

#### 50 風俗史

「性と生殖からみた近世女性の身体と子どもの「いのち」」沢山美果子『民衆史研究』（81）

「八丈島・青ヶ島におけるカナヤマサマ信仰—呪詛・ミコ・病—」土屋久，堀口久五郎『人間科学研究』（32）217-227

#### 51 仏教医学史

「鎌倉仏教と医療 僧侶・忍性が救済を目指した，



民衆の全人的痛み」塚本優子，河野良雄，佐々木慎太郎，志田敦矢，黒田泰子，棚田徹也『東洋療法学校協会学会誌』(34) 43-47

「仏教文献『療痔病経』とその関連文献について」山中行雄，山下勤，赤羽律，室屋安孝『日本医史学雑誌』57(3) 293-304

## 52 法医学史

「杉原紗千子・生島浩・久保貴論文について」生島浩『犯罪心理学研究』50周年記念特集号，72

「菊池武尅論文について」大淵憲一『犯罪心理学研究』50周年記念特集号，104

「村松励論文について」岡本吉生『犯罪心理学研究』50周年記念特集号，55

「渡辺昭一論文について」小侯謙二『犯罪心理学研究』50周年記念特集号，88

「更生保護における犯罪心理臨床の歴史と展望」杉原紗千子，生島浩，久保貴『犯罪心理学研究』50周年記念特集号，73-87

「家庭裁判所における非行臨床の歴史を振り返って」村松励『犯罪心理学研究』50周年記念特集号，56-71

## 53 放射線医学史

「JCOG放射線療法研究グループ 歴史と功績 (JCOG Radiation Therapy Study Group: History and Achievements) (英語)」Ishikura Satoshi, Ito Yoshinori, Hiraoka Masahiro『Japanese Journal of Clinical Oncology』41(11) 1241-1243

「放射線治療 放射線治療の歴史」伊丹純『Radioisotopes』60(9) 385-392

「臨床医の放射線線量管理 放射線防護の基礎知識 事例からみる放射線管理の歴史」大野和子『肝胆膵画像』13(1) 72-74

「超音波における一次読影取り組みの歴史，現状とこれから (抄)」野田孝浩『日本放射線技術学会雑誌』58(9) 814

## 54 本草学史・博物学史

「印葉図保存による金城学院大学大森キャンパス内の植物調査 (抄)」上野伶緒，河村典久，永

津明人『薬学史雑誌』46(2) 113

「江戸期博物図譜 (虫多図譜・菌類図譜) と医師達 (抄)」奥澤康正『医譚』(110) 6355-6356

「大和・大宇陀『森野旧薬園』の植物相分析に基づく時系列的解析 (抄)」近藤小百合，道下雄大，森野てる子，高橋京子『日本薬学会年会要旨集』131年会(2) 69

「貝原益軒の思想世界—本草学の基底—」辻本雅史『杏雨』(14) 210-233

「日本独自の本草学の誕生について—17世紀後半の再考— (抄)」ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』57(1) 85-86

## 55 麻酔学史

「エビドラスコピーの歴史」五十嵐孝，鈴木英雄，村井邦彦，茂木康一，平林由広，竹内護『日本臨床麻酔学会誌』31(3) 513-520

「過去10年間の麻酔における歴史的变化 (Historical Changes in Anesthesia over the Last Decade) (英語) (抄)」Saito Keiichiro『薬理と臨床』21(1) 20-21

「【脊髄くも膜下麻酔~だから脊麻はすごい，だから脊麻はこわい~】脊髄くも膜下麻酔の起源と発展 過去に学ばざる者脊麻をするべからず」柴崎敬乃，近江禎子『LISA』18(10) 986-990

「エビドラスコピーと腰下肢痛」花岡一雄『日本臨床麻酔学会誌』31(3) 509-512

## 56 門人録

「曲直瀬家門人帳について」青木歳幸『日本歴史』(758) 36-38

「浅田宗伯門人の研究 (抄)」渡辺浩二『日本医史学雑誌』57(2) 146

## 57 薬学史

「【点眼薬再び】近代点眼薬の過去と未来」相原一『日本の眼科』82(5) 608-612

「医療薬学の変遷—薬学教育改革の理念として (抄)」赤木佳寿子『薬学史雑誌』46(2) 106

「わが国のアミノ酸系医薬品開発50年の変遷 (その4) —タンパク製剤— (抄)」荒井裕美子，

- 松本和男『薬史学雑誌』46(2)123
- 「メラトニン研究の歴史」飯郷雅之『時間生物学』17(1)23-34
- 「【利尿薬と心不全】利尿薬の進化と心不全治療の変遷」飯野靖彦，磯部光章，清野精彦，柴垣有吾『Fluid Management Renaissance』1(1)9-19
- 「清代湖南省湘潭の薬材商人について（抄）」石川晶『薬史学雑誌』46(2)126
- 「清代の樟樹鎮薬材商人の活動について」石川晶『薬史学雑誌』46(1)51-57
- 「『在鮮日本人薬業回顧史』（昭和36年刊）について（抄）」石田純郎『薬史学雑誌』46(2)103
- 「日韓併合中の朝鮮の医育機関での薬学系教育者群像」石田純郎『薬史学雑誌』46(1)62-64
- 「スロイス薬剤学に記載された生物由来の有効成分」板垣英治『北陸医史』(33)36-48
- 「【睡眠障害「眠れない」をどう考え対応すべきか】睡眠障害の薬物治療 睡眠薬の開発の歴史と今後の展望」稲田健，石郷岡純『薬局』62(10)3338-3342
- 「知って得する法用語 番外編 薬害過誤の歴史から学ぶ クロロキン事件（その1）投与責任」稲葉一人『Clinical Pharmacist』3(6)586-589
- 「『新修本草』の薬名（項目名）について（抄）」岩間眞知子『日本医史学雑誌』57(2)197
- 「【薬物グループ】の果たす役割 13年間の歴史的変遷」後田純子，堀川百合子，甲斐千穂，堀川公平『集団精神療法』27(2)204-208
- 「【配合薬時代の高血圧治療】配合薬の歴史と意義」梅村敏『Mebio』28(6)22-31
- 「【附子】の品質と毒性に関する史的考察（抄）」大井逸輝，田中健太郎，河崎亮一，御影雅幸『日本薬学会年会要旨集』131年会(2)218
- 「日本発の抗体医薬品第一号『トシリズマブ』誕生までの30年 基礎研究から応用へ（抄）」大杉義征『日本歯周病学会会誌』53(春季特別)60
- 「18-19世紀ベトナム産肉桂の流通からみた東アジアの生薬交易（抄）」岡田雅志，内野花『日本医史学雑誌』57(2)158
- 「コレラの薬盛衰記1…芳香散・沸騰散・石炭酸を中心として…（抄）」荻原通弘，遠藤次郎『薬史学雑誌』46(2)119
- 「宗教史に見出された薬と薬壺（抄）」奥田潤『薬史学雑誌』46(2)104
- 「【インクレチン関連薬 糖尿病治療のパラダイムシフト】インクレチン研究の歴史」表孝徳，清野裕『日本臨床』69(5)755-760
- 「【インクレチン研究と創薬への展開】インクレチン研究の歴史」表孝徳，清野裕『最新医学』66(1)15-20
- 「【抗うつ薬】[抗うつ薬とは] 分子メカニズムからみた抗うつ薬の歴史と展望 茅野龍馬，小澤寛樹『こころの科学』(158)78-85
- 「牡丹・芍薬の名物学的研究（1）牡丹とヤブコウジ属植物の比較」久保輝幸『薬史学雑誌』46(2)83-90
- 「【薬種抄】二 凡例，移録・校勘，解題」古泉圓順『杏雨』(14)2-123
- 「【古代植物名義攷】「鬱（ちょう）」とは何か？一付：蘭（蘭，都梁香），蕙（薰），零陵香，鬼督郵，弭（蒟）の検証一」小高修司『薬史学雑誌』46(1)58-61
- 「免疫抑制薬の歴史と新しい展開（抄）」小林英司『TDM研究』28(3)s120
- 「後志の薬史（二）俱知安町における薬品原料の栽培（抄）」小松健一，木村充博，吉沢逸雄『北辰』(11)47
- 「後志の薬史 V.バリウムを巡る鉱業と製薬業の企業合併（抄）」小松健一，吉沢逸雄，高田昌彦『薬史学雑誌』46(2)131
- 「【漢方薬の服薬指導】先哲医家の服薬指導」小松一『漢方と最新治療』20(1)45-50
- 「『扶氏薬剤学』（明治14～17年）と『軍医寮局方』（明治4年）収載品の比較」五位野政彦『日本薬剤師会雑誌』63(9)1093-1094
- 「アドレナリン発見の歴史が語る元気な科学者のあり方」齋藤繁，神山治郎『麻醉』60(11)1331-1341
- 「WHO必須医薬品モデルリストに見る血漿分画製剤の歴史（抄）」坂上裕一郎，津谷喜一郎『薬史学雑誌』46(2)121

- 「アイヌの生薬など—江戸時代の文献を中心に— (抄)」佐々木利和『北辰』(11) 44
- 「100年の歴史を踏まえて新しいビタミン学を展望する 世界をリードするわが国のB群ビタミン研究 過去・現在・未来 (抄)」柴田克己『ビタミン』85(4) 196-197
- 「『傷寒論』・『金匱要略』における昼夜の服用法の意義 (抄)」鈴木達彦『薬史学雑誌』46(2) 118
- 「薬用量および服薬法から見た日本漢方の流派 薬用量および分服の意義」鈴木達彦, 遠藤次郎『日本東洋医学雑誌』62(3) 382-391
- 「【ビグアナイド薬】ビグアナイド薬の歴史と作用機序」竹野景海, 田村好史, 綿田裕孝『糖尿病の最新治療』2(2) 66-69
- 「生薬としての玳瑁 (2) (抄)」多胡彰郎, 宮崎啓一『薬史学雑誌』46(2) 109
- 「【抗生物質 (PART1) 福音か害毒か】勝ち目のない闘い 抗生物質の歴史」谷田憲俊『薬のチェックは命のチェック』(41) 15-21
- 「【癌治療における制吐対策の進歩】制吐剤の歴史的変遷」佃守『Biotherapy』25(3) 680-688
- 「中国国家基本薬物目録と償還リストの関係の歴史 (抄)」唐文涛, 津谷喜一郎『臨床薬理』42 (Suppl.) S232
- 「現代の痛風 (Gout) の関節痛に用いる漢方処方と生薬の来歴」中尾紀久世, 森山健三, 村田和也, 松田秀秋, 谿忠人『薬史学雑誌』46(2) 91-101
- 「見逃せない! くすりの歴史ご紹介 (抄)」永縄厚雄『岐阜県放射線技師会雑誌』76,73
- 「キナの国内栽培に関する史的的研究」南雲清二『薬学雑誌』131(11) 1527-1543
- 「佐渡の“よろけ”治療薬「紫金丹」と石見銀山・中村家処方メモ「萬金丹」(抄)」成田研一『薬史学雑誌』46(2) 117
- 「OTC医薬品のトピックス (第9回) OTC医薬品市場の歴史的転回点」西沢元仁『調剤と情報』17(9) 1235-1237
- 「連翹の基原について~成分からの一考察~ (抄)」西部三省, 山口茂治, 川村智子, 田中俊弘『薬史学雑誌』46(2) 116
- 「薬の散歩道 薬の生い立ちを知る (抄)」仁木一郎『脈管学』51 (Suppl.) S61
- 「【利尿薬と心不全】利尿薬の歴史と作用機序」野田裕美『Fluid Management Renaissance』1(1) 20-24
- 「金城学院所蔵『本草図譜』と他資料との比較研究 山草部, 芳草部 (抄)」野村知世, 山田ゆきの, 永津明人, 河村典久『薬史学雑誌』46(2) 111
- 「印籠と薬—江戸時代の薬と包装 (抄)」服部昭『薬史学雑誌』46(2) 107,129
- 「家庭用樟脳発売の端緒」服部昭『薬史学雑誌』46(2) 73-77
- 「日米における医薬品適応外使用とその施策 1990年代後半以降の歴史・現状・将来」福澤学, 井上雅夫, 津谷喜一郎『医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス』42(4) 346-356
- 「【抗菌薬の使い方 これだけは知っておきたい】抗菌薬と耐性菌の歴史」保富宗城, 山中昇『JOHNS』27(1) 27-31
- 「『賣藥製剤備考』(明治28年)に記述された売薬の製剤方法 (抄)」本間克明『薬史学雑誌』46(2) 132
- 「小川鼎三『医学の歴史』を教科書とする「薬学史」講義の試み (抄)」牧純『日本医史学雑誌』57(2) 170
- 「口臭に用いる漢方処方と生薬の来歴と現状 (抄)」増田めぐみ, 一志春樹, 村田和也, 松田秀秋, 本田麻美, 本田俊一, 谿忠人『日本薬学会年会要旨集』131年会(2) 216
- 「口臭に用いる漢方処方と生薬の来歴と現状」増田めぐみ, 村田和也, 松田秀秋, 本田麻美, 本田俊一, 谿忠人『薬史学雑誌』46(1) 5-12
- 「大阪・道修町の製薬産業史の一端—イノベーション・セレンディビティの視点から— (抄)」松本和男『日本医史学雑誌』57(1) 87-88
- 「医薬品の一般名に関する考察: (1) 命名の手続きと規則 (抄)」三澤三和『薬史学雑誌』46(2) 120
- 「吸入ステロイド薬の歴史 (第1回) ベクロメタゾン (BDP-CFC) の発売とその後の経過」宮川武彦『喘息』24(1) 96-100

- 「吸入ステロイド薬の歴史（第2回）ガイドラインと吸入ステロイド薬の普及」宮川武彦『喘息』24（2）206-209
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史（第1回）Amoxapine 開発に触発された臨床試験への目覚め」村崎光邦『臨床精神薬理』14（8）1349-1360
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史（第2回）Amoxapine にまつわる新しい展開」村崎光邦『臨床精神薬理』14（9）1511-1520
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史（第3回）初めての第1相試験の依頼が運命を大きく変えた」村崎光邦『臨床精神薬理』14（10）1721-1731
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史（第4回）Butyrophenone系抗精神病薬の開発 Timiperone と bromperidol の第1相試験を通して」村崎光邦『臨床精神薬理』14（11）1869-1882
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史（第5回）Butyrophenone系抗精神病薬の開発の歴史 総集編」村崎光邦『臨床精神薬理』14（12）1995-2005
- 「木クレオソート製剤の史の変遷（第二報）—日本薬局方「木クレオソート」の基原について—」森口展明，佐藤茜，柴田高，米田幸雄『薬史学雑誌』46（1）13-20
- 「【利尿薬からのメッセージ】利尿薬の歴史と分類について」森永潤，北村健一郎『Modern Physician』31（6）693-697
- 「医薬品医療機器審査センター（PMDEC）から医薬品医療機器総合機構（PMDA）への15年の歩み：設立初期を振り返って」森本和滋，藤原康弘，川原章『薬史学雑誌』46（1）38-50
- 「日本の薬学研究・教育の黎明期とその影響（抄）」山川浩司『日本国際医学協会誌』（445）11-12
- 「わが国における“薬害”発生の経緯と医薬品情報学の役割」山崎幹夫『薬史学雑誌』46（2）78-82
- 「金城学院所蔵『本草図譜』と他資料との比較研究 毒草部（抄）」山田ゆきの，野村知世，永津明人，河村典久『薬史学雑誌』46（2）112
- 「エストロゲンの発見と利用の歴史（抄）」山中聡『更年期と加齢のヘルスケア』9（2）348
- 「人と薬の羅針盤31 カップドキアと万能薬テリアカの誕生」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（662）30-33
- 「人と薬の羅針盤32（終回）ローマへ渡ったギリシア医術」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（663）20-23
- 「光学活性医薬品・関連技術の歴史の変遷（その1）—アミノ酸の光学分割史—（抄）」吉岡龍藏，荒井裕美子，榊原統子，松本和男『薬史学雑誌』46（2）122
- 「後志の薬史 IV. 薬業家たち屋印（抄）」吉沢逸雄，石川直章，三浦孝之，島森美光『薬史学雑誌』46（2）130
- 「ビタミン発見100年 ビタミン発見の歴史と最近の研究トピックス」渡邊敏明『臨床栄養』119（3）244-245

## 58 蘭学史

- 「江戸の菓子商が蘭癖家老に宛てたオランダ語交じりの書翰を読む」片桐一男『日本歴史』（762）
- 「『解体新書』の出版にまつわる苦難 「蘭学事始」の一部を現代東京に再現&探索」西野祐介，河村武伸，荒川素俊，植竹千華乃，鶴田奈央，山田美奈子，佐原正明，大野政明，稲葉崇，野田亮，尾崎伸伍『東洋療法学校協会学会誌』（34）74-77
- 「北播磨蘭学史の基礎的研究—近世後期～近代前期・遊学生にみる蘭学の需要と普及—」西山勝仁『北播磨探史研究会報』（2）1-16
- 「長崎からエレキテルを見直す」松尾龍之介『洋学史研究』（28）110-117
- 「大概玄沢『捕影問答』とフェートン号事件」松本英治『洋学史研究』（28）69-84
- 「ブランデンシュタイン家所蔵，1825年，1828年，1830年シーボルト書簡の翻刻並びに翻訳（補遺2）」宮坂正英，ベルント・ノイマン，石川

光庸『鳴滝』(21) 65-99

「イペイ人身窮理の川本幸民訳稿(抄)」八耳俊文  
『医譚』(110) 6361-6362

## 59 リハビリテーション関係史

「職業リハビリテーションの黎明としての大阪ライ  
イトハウス早川分工場」小西律子『社会福祉学』  
51(4) 5-17

「リハビリテーション学における「QOL」の概念  
化・尺度化の検討 歴史的変遷を視座として  
(抄)」田島明子『日本作業療法学会抄録集』45  
回, P19007

「【パーキンソン病のリハビリテーション】パーキ  
ンソン病のリハビリテーション(歴史的展開)」  
長岡正範『MEDICAL REHABILITATION』(135)  
11-18

## 60 検査

「糸川英夫教授と臨床検査 日本における臨床脳波  
の始まり」臼井敏明『Medical Technology』39(4)  
399-402

「【子宮頸癌の予防と検査】総論 本邦における  
子宮頸癌検診の歴史」岡本聡, 伊藤潔, 新倉仁,  
八重樫伸生『臨床検査』55(12) 1383-1390

「【目で見る耳の検査】耳の検査の進歩 聴覚検査  
のあゆみ」小川郁『JOHNS』27(5) 669-673

「PCR検査の歴史と臨床応用について(抄)」田澤  
義明『感染症学雑誌』85(3) 290

「医学検査のあゆみ オーダーメイド医療の展望」  
登 勉『モダンメディア』57(9) 249-256

## 61 その他

「国立大学図書館協会の電子ジャーナル・コン  
ソーシアム活動 過去・現在・未来」尾城孝一  
『薬学図書館』56(2) 158-165

「白崎繁仁さんと「日本の枕」」島田保久『北辰』  
(11) 36-37

「天気と身体反応の関連性について(第二報)一  
関東平野, 薩摩, 大隅半島の天気ことわざを中  
心に」高山真一郎, 高山清玄『医譚』(111)  
6435-6438

「NIM DTDからJATSへ 日本語学術論文のXML  
編集」時実象一, 井津井豪, 近藤裕治, 鶴貝和  
樹, 三上修, 野沢孝一, 堀内和彦, 大山敬三,  
家入千晶, 小宮山恒敏, 稲田隆, 竹中義朗, 里  
見英利, 亀井賢二, 楠健一, 中西秀彦, 林和弘,  
佐藤博『情報管理』54(9) 555-567

「『カップ』〈伝承医学の(主)ぬしとして〉」飛見  
立郎『北陸医史』(33) 56-62

## 62 中国語文献

「五運六氣理論的発生与演進」孟慶云『中華医史  
雑誌』41(1) 3-6

「中国伝統健康観念の特色」王振瑞『中華医史雜  
誌』41(1) 7-9

「戦国楚簡『容成氏』疾病文字考」羅宝珍『中華  
医史雑誌』41(1) 10-13

「中日韓医学文献交流学術研討会在京召開」肖永  
芝『中華医史雑誌』41(1) 13

「唐以前“牡痔, 牝痔”病名考」孫基然・劉洋等  
『中華医史雑誌』41(1) 14-17

「『正統一切経音義』病症名研究」王育林・李墨華  
等『中華医史雑誌』41(1) 18-22

「汪機的「營衛虛実論」与「参芪双補説」」陸翔『中  
華医史雑誌』41(1) 23-26

「馬伯英教授新版『中国医学文化史』面世」山爾  
『中華医史雑誌』41(1) 26

「20世紀20-30年代北京協和医学院的管理機制」  
蔣育紅『中華医史雑誌』41(1) 27-30

「台北国図館藏『影北宋本傷寒論』作偽者考辨」  
游文仁・蘇奕彰『中華医史雑誌』41(1) 31-39

「民族医薬文献整理及适宜技術篩選推廣項目」共  
性技術修訂會議紀要」胡穎翀・甄艷『中華医史  
雑誌』41(1) 39

「『紹興本草』对薬性的校訂」劉悦・鄭金生『中華  
医史雑誌』41(1) 40-44

「半井家本『医心方』所引『太素』文初探」李浩・  
梁永宣等『中華医史雑誌』41(1) 45-47

「1921年北京協和医学院開幕典礼」張霞『中華  
医史雑誌』41(1) 48

「20世紀50年代広州聯合診所附設薬房・薬柜概況」  
郭彩霞・李剣『中華医史雑誌』41(1) 49-52

- 「熊宗立生平事迹考」傅建忠『中華医史雜誌』41 (1) 53-56
- 「台湾首位中医教授林昭庚的學術研究」李經緯『中華医史雜誌』41 (1) 57-61
- 「文化視角下的医藥系統史—喜讀『凶說中国医学史』」張瑞賢·梁飛『中華医史雜誌』41 (1) 62
- 「考古史上首次發現的宋代医学壁畫」梁永宣·鄭金生·梁嶸『中華医史雜誌』41 (1) 63
- 「朝鮮李濟馬的四象医学」川原秀城『中華医史雜誌』41 (2) 67-69
- 「日朝医学交流史的生動写照—『韓客治驗』」梁永宣『中華医史雜誌』41 (2) 70-72
- 「日韓古医籍的收藏現狀及其發掘利用的意義」肖永芝·張麗君·李君等『中華医史雜誌』41 (2) 73-78
- 「國際社会傳統医藥非物質文化遺產保護現狀与展望」柳長華·田芙蓉『中華医史雜誌』41 (2) 79-83
- 「蔡京之沉浮与国子監医学的三置三罷」李玉清『中華医史雜誌』41 (2) 84-85
- 「中国近代政府医藥廣告管理探析」張孫彪·林楠『中華医史雜誌』41 (2) 86-89
- 「美国中華医学基金会的成立及对中国的早期資助」蔣育紅『中華医史雜誌』41 (2) 90-94
- 「著名国医大師強巴赤列逝世」甄艷『中華医史雜誌』41 (2) 94
- 「人為因素与哈爾濱第三次鼠疫大流行」金東英·李志平『中華医史雜誌』41 (2) 95-99
- 「韩国医著『素問大要』研究」錢超塵『中華医史雜誌』41 (2) 100-105
- 「韩国医著『東医宝鑑』的朝日版本」金南一『中華医史雜誌』41 (2) 106-108
- 「余瀛鳌先生主編『中医臨床必讀名著 30 種』出版」蘭台『中華医史雜誌』41 (2) 108
- 「王燾生卒考」宋珍民『中華医史雜誌』41 (2) 109-114
- 「美国医学史学家 John Warner 教授訪問北京大学」張騫『中華医史雜誌』41 (2) 114
- 「寶漢卿師承与传人考略」孫孟章『中華医史雜誌』41 (2) 115-120
- 「甄橙教授著『走進神奇医学』獲獎」『中華医史雜誌』41 (2) 120
- 「廣西近代第一所護士学校」張璐礪『中華医史雜誌』41 (2) 121-124
- 「1924年北京協和医学院畢業典禮」王勇·張霞『中華医史雜誌』41 (2) 125
- 「從『中外衛生要旨』看鄭觀應的養生方法」高明慧『中華医史雜誌』41 (2) 126-127
- 「『中日韓傳統医学文献交流學術研討会』紀要」李君『中華医史雜誌』41 (2) 128
- 「医藥衛生人類学視野語境中的“岐黃”文化」鄭懷林『中華医史雜誌』41 (3) 131-134
- 「岐伯及其軼事述略」鄭琪『中華医史雜誌』41 (3) 135-137
- 「簡論“岐黃”文化」梁峻·白建疆·劉学春『中華医史雜誌』41 (3) 138-140
- 「甄橙教授『病与証的对峙』獲獎」北京大学医学史研究中心『中華医史雜誌』41 (3) 140
- 「軒轅丘及其周圍的岐黃遺迹」曹桂岑『中華医史雜誌』41 (3) 141-143
- 「略論中医藥文化的發祥地—新密」鄭觀洲『中華医史雜誌』41 (3) 144-148
- 「新密的上古医藥文化史迹」范敬『中華医史雜誌』41 (3) 149-151
- 「1951年北京中医学会針灸專門委员会舉辦針灸研究班」山尔『中華医史雜誌』41 (3) 151
- 「論新密医藥文化的特性」楊建敏『中華医史雜誌』41 (3) 152-154
- 「1951年北京市成立的 4 個聯合診所」山爾『中華医史雜誌』41 (3) 154
- 「『素問』的人体觀」楊世哲『中華医史雜誌』41 (3) 155-160
- 「『新感温病』首倡者考辨」陸翔『中華医史雜誌』41 (3) 161-164
- 「『明洪武鈔本〈金匱要略方〉』出版」鄒西礼『中華医史雜誌』41 (3) 164
- 「從『傷寒百問』到『活人書』看朱肱學術觀點的变化」遼銘欣『中華医史雜誌』41 (3) 165-169
- 「『丹溪学說』在朝鮮和日本的影響」嚴余明·竹劍平『中華医史雜誌』41 (3) 170-172
- 「腹腔鏡肝切除術發展過程」朱自滿·許勇·焦華波等『中華医史雜誌』41 (3) 173-175

- 「明代坊刻『政和本草』版本研究」李健·張瑞賢·張衛等『中華医史雜誌』41(3) 176-178
- 「岐伯研究簡述」趙際勳·樊蕾『中華医史雜誌』41(3) 179-182
- 『王吉民中華医史研究』出版」益民『中華医史雜誌』41(3) 182
- 『金匱要略方』最古本·最善本的發現与流傳」梁永宣『中華医史雜誌』41(3) 183-188
- 「成就卓著的文献学家趙開美」錢超塵『中華医史雜誌』41(3) 189-190
- 「李穉名籍考釈」叶磊『中華医史雜誌』41(3) 191
- 「太極図的制作原理源于二十四節気観測数据」牟重行『中華医史雜誌』41(4) 195-199
- 「『繆刺』音義辨析」張翠紅·張潮『中華医史雜誌』41(4) 200-203
- 「1972年中国在世界衛生組織的合法席位恢復」山爾『中華医史雜誌』41(4) 203
- 「古代本草文献中禁忌用語的考察」楊環·范欣生·陶静『中華医史雜誌』41(4) 204-207
- 「『感冒』源出小考」蘭台『中華医史雜誌』41(4) 207
- 「宋代牛疫的流行与防治」韓毅『中華医史雜誌』41(4) 208-213
- 「理学与宋代武夷山地区中医藥文化」吳童·王瑩穎『中華医史雜誌』41(4) 214-216
- 「山西革命根据地接生方法的改進」郝平·王燕萍『中華医史雜誌』41(4) 217-220
- 「中国近代医学社団一博医会」劉遠明『中華医史雜誌』41(4) 221-226
- 「民国時期的『中華健康雜誌』」張聖芬·樂偉偉『中華医史雜誌』41(4) 227-230
- 「60年来中国顱骨修補材料的应用」徐将榮·李江『中華医史雜誌』41(4) 231-234
- 「中国温泉浴療簡史」郝万鵬·王小軍·向桜紅等『中華医史雜誌』41(4) 235-239
- 「張家界古人堤出土医方木牘「治赤穀方」考釈」丁媛·張如青『中華医史雜誌』41(4) 240-242
- 「世界衛生日的由来」山爾『中華医史雜誌』41(4) 242
- 『『外科心法要訣』中的圖像研究』胡曉峰·李洪曉『中華医史雜誌』41(4) 243-248
- 「劉草窗医著小考」蘭台『中華医史雜誌』41(4) 248
- 「保生大帝吳夲生平及民間紀念考略」李春興『中華医史雜誌』41(4) 249-251
- 「明代医家倪維德生平与著作」任旭『中華医史雜誌』41(4) 252-253
- 「陳無擇与「鶴溪」」毛偉松『中華医史雜誌』41(4) 254
- 「讓金谷宝園芝麻開門一『走進(本草綱目)之門』遲議」溫長路『中華医史雜誌』41(4) 255-256
- 『『中国科学技術史·煉丹術的發現和發明：内丹』出版」蘭台『中華医史雜誌』41(4) 256
- 「中国歷代医家伝記述評」朱建平『中華医史雜誌』41(5) 259-264
- 「五禽戲源流考」楊奕望·吳鴻洲『中華医史雜誌』41(5) 265-266
- 「劉德榮教授主編『福建医学史略』出版」閩医『中華医史雜誌』41(5) 267
- 「略論陸淵雷医学思想之日本漢方医渊源」楊枝青·楊杏林『中華医史雜誌』41(5) 268-270
- 「民国広州中医執業考試的實施及其影響」鄭洪·李華明『中華医史雜誌』41(5) 271-274
- 「試論經濟因素对民国時期中医救亡闘争的影響」羅輝·湯巧玲·張惠敏『中華医史雜誌』41(5) 275-278
- 「李建民先生著『華佗隱藏的手術：外科的中国医学史』出版」蘭台『中華医史雜誌』41(5) 278
- 「知情同意的演變及發展」王珍娥·李鵬·李静『中華医史雜誌』41(5) 279-283
- 「嚴建民先生著『經脉学說起源·演繹三千五百年探討』出版」白云『中華医史雜誌』41(5) 283
- 「近代稿本『彙集分類臨症方案』」朱音·李潔『中華医史雜誌』41(5) 284-286
- 「論医学史与医史学」王振瑞『中華医史雜誌』41(5) 287-289
- 「『冤』『宛』有別「蠱」「瘕」相通一与趙鴻君·鄭洪新先生商榷」李今庸『中華医史雜誌』41(5) 290-291
- 『『中国近代中医藥期刊彙編』第1輯和第2輯出版』蘭台『中華医史雜誌』41(5) 291
- 「新中国成立後陝西对孫思邈的研究与紀念」任娟莉『中華医史雜誌』41(5) 292-298

- 「民国時期的中医期刊『新安医藥半月刊』」万四妹・汪滬双『中華医史雜誌』41(5) 299-301
- 「医者典范，総編楷模」游蘇寧『中華医史雜誌』41(5) 302-303
- 「王燾籍貫考」宋珍民『中華医史雜誌』41(5) 304-310
- 「德国文樹德教授主持的『黄帝内經素問』訳注系列著作完璧問世」鄭金生『中華医史雜誌』41(5) 310
- 「王燾里籍考与辨析」楊志春・劉明德『中華医史雜誌』41(5) 311-313
- 「約翰・亨特对英国外科医学發展的貢獻」趙秀榮『中華医史雜誌』41(5) 314-319
- 「中華医学会医史学分会第13届1次學術年會紀要」山爾『中華医史雜誌』41(5) 320
- 「『中古方書：医学史，書籍史和社会史的解説』研討會紀要」皮国立『中華医史雜誌』41(5) 封三
- 「從『黄帝内經太素』九宮八風図看人体外周劃分思想的形成過程」孫基然『中華医史雜誌』41(6) 323-327
- 「1880年清廷御医選拔始末考」周玉祥・曹震・徐貽珏等『中華医史雜誌』41(6) 328-333
- 『『医界春秋（民国中医變局中的人和事1926-1937）』出版』中華医史雜誌』41(6) 333
- 「『藿』与『藿香』無関論」林新治『中華医史雜誌』41(6) 334-335
- 「古今山楂品種来源与応用沿革」程銘恩・彭華勝『中華医史雜誌』41(6) 336-338
- 「論中医史学研究中史学与医学之間的張力」張海鵬『中華医史雜誌』41(6) 339-342
- 「藏医藥文化中的「甘露加持法」」達娃『中華医史雜誌』41(6) 343-345
- 「民国時期兩級制医学教育的形成」夏媛媛『中華医史雜誌』41(6) 346-348
- 「民国時期西医高等教育史的分期問題」慕景強『中華医史雜誌』41(6) 349-353
- 「免疫球蛋白治療發展簡史」項寧・王晶・胡文立『中華医史雜誌』41(6) 354-355
- 『『大河外科』作者・成書年代及版本考』蒲小蘭・張毅・楊文字等『中華医史雜誌』41(6) 356-362
- 「李時珍「返觀内視」与「内審思維」的同一性」嚴健民『中華医史雜誌』41(6) 363-365
- 「程之范教授与北京医科大学医史教研室」甄橙『中華医史雜誌』41(6) 366-372
- 「伝道与授業」武海波『中華医史雜誌』41(6) 372
- 「近代福建“三山医学伝習所”考略」張孫彪・陳玉鵬・林楠『中華医史雜誌』41(6) 373-376
- 「橋井泉香」吳婭娜・易法銀『中華医史雜誌』41(6) 377-379
- 「程之范教授90華誕暨北医医史学科成立65周年慶祝會紀要」劉赫錚『中華医史雜誌』41(6) 380-381
- 64 欧文文献**
- ABEL, Emily K.: "In the Last Stages of Irremediable Disease": American Hospitals and Dying Patients before World War II: *Bull. Hist. Med.*: 85 (1) 29-56
- ADAMS, David: Artificial Kidneys and the Emergence of Bioethics: The History of 'Outsiders' in the Allocation of Haemodialysis: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 461-477
- ANAGNOSTOU, Sabine: Missionspharmazie: Konzepte, Praxis, Organisation und wissenschaftliche Ausstrahlung: *Sudhoffs Archiv*: (60)
- ANSTEY, Peter: The Creation of the English Hippocrates: *Medical History*: 55 (4) 457-478
- ARCHAMBEAU, Nicole: Healing Options during the Plague: Survivor Stories from a Fourteenth-Century Canonization Inquest: *Bull. Hist. Med.*: 85 (4) 531-559
- ARUTA, Alessandro: Shocking Waves at the Museum: The Bini-Cerletti Electro-shock Apparatus: *Medical History*: 55 (3) 407-412
- BANHAM, Debby: Dun, Oxa and Pliny the Great Physician: Attribution and Authority in Old English Medical Texts: *So. Hist. Med.*: 24 (1) 57-73
- BARR, Justin: A Short History of Dapsone, or an Alternative Model of Drug Development: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (4) 425-467
- BERKOWITZ, Carin: The Beauty of Anatomy: Visual Displays and Surgical Education in Early-Nineteenth-Century London: *Bull. Hist. Med.*: 85 (2) 248-278



- BHATTACHARYA, Nandini: The Logic of Location: Malaria Research in Colonial India, Darjeeling and Duars, 1900–30: *Medical History*: 55 (2) 183–202
- BIERNOFF, Suzannah: The Rhetoric of Disfigurement in First World War Britain: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 666–685
- BIERNOFF, Suzannah: Medical Archives and Digital Culture: From WWI to BioShock: *Medical History*: 55 (3) 325–330
- BRESADOLA, Marco: A Physician and a Man of Science: Patients, Physicians, and Diseases in Marcello Malpighi's Medical Practice: *Bull. Hist. Med.*: 85 (2) 193–221
- BROCK, Claire: Surgical Controversy at the New Hospital for Women, 1872–1892: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 608–623
- BURNEY, I./PEMBERTON, N.: Bruised Witness: Bernard Spilsbury and the Performance of Early Twentieth-Century English Forensic Pathology: *Medical History*: 55 (1) 41–60
- BURNHAM, John C.: Transnational History of Medicine after 1950: Framing and Interrogation from Psychiatric Journals: *Medical History*: 55 (1) 3–26
- CARPENTER, D./TOBBELL, D.A.: Bioequivalence: The Regulatory Career of a Pharmaceutical Concept: *Bull. Hist. Med.*: 85 (1) 93–131
- CARROLL, T.W./GUTMANN, M.P.: The Limits of Autonomy: The Belmont Report and the History of Childhood: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (1) 82–115
- CASPER, Stephen T.: Trust, Protocol, Gender, and Power in Interwar British Biomedical Research: Kathleen Chevasut and the “Germ” of Multiple Sclerosis: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (2) 180–215
- CHAMBERLAND, Celeste: Partners and Practitioners: Women and the Management of Surgical Households in London, 1570–1640: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 554–569
- CHANEY, Sarah: Self-control, Selfishness and Mutilation: How ‘Medical’ is Self-Injury Anyway?: *Medical History*: 55 (3) 375–382
- CONNOR, J. T. H.: Realizing Major William Borden's Dream: Military Medicine, Walter Reed Army Medical Center, and Its Wounded Warriors, 1909–2009: An Essay Review: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (3) 380–394
- COOTER, Roger: Re-Presenting the Future of Medicine's Past: Towards a Politics of Survival: *Medical History*: 55 (3) 289–294
- CRAWSHAW, Jane S.: The Beasts of Burial: Pizzigamorti and Public Health for the Plague in Early Modern Venice: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 570–587
- DAVIS, Angela: A Revolution in Maternity Care? Women and the Maternity Services, Oxfordshire c. 1948–1974: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 389–406
- DE SIO, Fabio: Leviathan and the Soft Animal: Medical Humanism and the Invertebrate Models for Higher Nervous Functions, 1950s–90s: *Medical History*: 55 (3) 369–374
- DYDE, Sean: The Chief Seat of Mischief: Soldier's Heart in the First World War: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (2) 216–248
- EDWARDS, Martin: Put Out Your Tongue! The Role of Clinical Insight in the Study of the History of Medicine: *Medical History*: 55 (3) 301–306
- ESTERLE, L./PICARD, J-F.: Between Clinical Medicine and the Laboratory: Medical Research Funding in France from 1945 to the Present: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (4) 546–570
- FLETCHER, Angharad: Sisters Behind the Wire: Reappraising Australian Military Nursing Internment in the Pacific during World War II: *Medical History*: 55 (3) 419–424
- FOXHALL, Katherine: Fever, Immigration and Quarantine in New South Wales, 1837–1840: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 624–642
- FRAMPTON, Sally: Patents, Priority Disputes and the Value of Credit: Towards a History (and Pre-History) of Intellectual Property in Medicine: *Medical History*: 55 (3) 319–324
- GADELARAB, Sherry S.: Discourses on Sex Differences in Medieval Scholarly Islamic Thought: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (1) 40–81

- GAVRUS, Delia: Men of Dreams and Men of Action: Neurologists, Neurosurgeons, and the Performance of Professional Identity, 1920–1950: *Bull. Hist. Med.*: 85 (1) 57–92
- GILMAN, Sander L.: Representing Health and Illness: Thoughts for the Twenty-First Century: *Medical History*: 55 (3) 295–300
- GODLEY, A./CORLEY, T. A. B.: Veterinary Medicines in Britain: Output and Industry Organisation since 1900: *Medical History*: 55 (3) 361–364
- GOLDBERG, Daniel S.: Suffering and Death among Early American Roentgenologists: The Power of Remotely Anatomizing the Living Body in Fin de Siecle America: *Bull. Hist. Med.*: 85 (1) 1–28
- GORSKY, Martin: Local Government Health Services in Interwar England: Problems of Quantification and Interpretation: *Bull. Hist. Med.*: 85 (3) 384–412
- GOUK, P./SYKES, I.: Hearing Science in Mid-Eighteenth-Century Britain and France: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (4) 507–545
- GREENE, Jeremy A.: What's in a Name? Generics and the Persistence of the Pharmaceutical Brand in American Medicine: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (4) 468–506
- GROB, Gerald N.: From Aging to Pathology: The Case of Osteoporosis: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (1) 1–39
- HAMMERBORG, Morten: The Laboratory and the Clinic Revisited: The Introduction of Laboratory Medicine into the Bergen General Hospital, Norway: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 758–775
- HAMMOND, Mitchell L.: Medical Examination and Poor Relief in Early Modern Germany: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 244–259
- HARPER, April: The Image of the Female Healer in Western Vernacular Literature of the Middle Ages: *So. Hist. Med.*: 24 (1) 108–124
- HARRIS, B./GORSKY, M./GUNTUPALLI, A./HINDE, A.: Ageing, Sickness and Health in England and Wales during the Mortality Transition: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 643–665
- HEYDON, Susan: Medicines, Travellers and the Introduction and Spread of 'Modern' Medicine in the Mt Everest Region of Nepal: *Medical History*: 55 (4) 503–521
- HOBBS, Peter: 'Immunisation is as Popular as a Death Adder': The Bundaberg Tragedy and the Politics of Medical Science in Interwar Australia: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 426–444
- HORDEN, Peregrine: What's Wrong with Early Medieval Medicine?: *So. Hist. Med.*: 24 (1) 5–25
- HOWELL, Joel D.: Coronary Heart Disease and Heart Attacks, 1912–2010: *Medical History*: 55 (3) 307–312
- JANSSON, Asa: Mood Disorders and the Brain: Depression, Melancholia, and the Historiography of Psychiatry: *Medical History*: 55 (3) 393–399
- JONES, Emma L.: The Establishment of Voluntary Family Planning Clinics in Liverpool and Bradford, 1926–1960: A Comparative Study: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 352–369
- KELLY, Susan: Education of Tubercular Children in Northern Ireland, 1921 to 1955: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 407–425
- KENNERK, Barry: In Danger and Distress: Presentation of Gunshot Cases to Dublin Hospitals during the Height of Fenianism, 1866–1871: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 588–607
- KIRK, R. G. W./PEMBERTON, N.: Re-imagining Bleeders: The Medical Leech in the Nineteenth Century Bloodletting Encounter: *Medical History*: 55 (3) 355–360
- KURZMANN, Peter: Über die Zeichnungen alchemistischer Gefässe in einem Manuskript des Pseudo-Geber: *Sudhoffs Archiv*: 95 (1) 66–93
- LICHTERMAN, B. L./MIRSKY, V. M.: Mark B. Mirsky: A Leading Russian Historian of Medicine and Surgery (1930–2010): *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (3) 377–379
- LINKER, Beth: Shooting Disabled Soldiers: Medicine and Photography in World War I America: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (3) 313–346

- LONG, Vicky: 'Often there is a Good Deal to be Done, But Socially Rather Than Medically': The Psychiatric Social Worker as Social Therapist, 1945–70: *Medical History*: 55 (2) 223–239
- LOWY, Ilana: "Because of Their Praiseworthy Modesty, They Consult Too Late": Regime of Hope and Cancer of the Womb, 1800–1910: *Bull. Hist. Med.*: 85 (3) 356–383
- LUCKIN, Bill: The Crisis, the Humanities and Medical History: *Medical History*: 55 (3) 283–287
- LYNTERIS, Christos: From Prussia to China: Japanese Colonial Medicine and Goto Shinpei's Combination of Medical Police and Local Self-Administration: *Medical History*: 55 (3) 343–347
- MARCHILDON, G. P./SCHRIJVERS, K.: Physician Resistance and the Forging of Public Healthcare: A Comparative Analysis of the Doctors' Strikes in Canada and Belgium in the 1960s: *Medical History*: 55 (2) 203–222
- MARTYR, Philippa: 'Behaving Wildly': Diagnoses of Lunacy among Indigenous Persons in Western Australia, 1870–1914: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 316–333
- MEANEY, Audrey L.: Extra-Medical Elements in Anglo-Saxon Medicine: *So. Hist. Med.*: 24 (1) 41–56
- MILLER, Kathleen: William Winstanley's Pestilential Poesies in The Christians Refuge: Or Heavenly Antidotes Against the Plague in this Time of Generall Contagion to Which is Added the Charitable Physician (1665) : *Medical History*: 55 (2) 241–250
- MISHRA, Saurabh: Beasts, Murraings, and the British Raj: Reassessing Colonial Medicine in India from the Veterinary Perspective, 1860–1900: *Bull. Hist. Med.*: 85 (4) 587–619
- MONTFORD, Angela: 'Brothers who have Studied Medicine': Dominican Friars in Thirteenth-Century Paris: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 535–553
- MUKHARJI, Projit: Lokman, Chholeman and Manik Pir: Multiple Frames of Institutionalising Islamic Medicine in Modern Bengal: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 720–738
- McCLEERY, Iona: Medical 'Emplotment' and Plotting Medicine: Health and Disease in Late Medieval Portuguese Chronicles: *So. Hist. Med.*: 24 (1) 125–141
- NEWTON, Gill: Infant Mortality Variations, Feeding Practices and Social Status in London between 1550 and 1750: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 260–280
- NEWTON, Hannah: 'Very Sore Nights and Days': The Child's Experience of Illness in Early Modern England, c. 1580–1720: *Medical History*: 55 (2) 153–182
- NOYES JR, Russell: The Transformation of Hypochondriasis in British Medicine, 1680–1830: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 281–298
- NUTTALL, Alison: Maternity Charities, the Edinburgh Maternity Scheme and the Medicalisation of Childbirth, 1900–1925: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 370–388
- PICKERING, Andrew: Cyborg Spirituality: *Medical History*: 55 (3) 349–353
- PILSWORTH, Clare: Beyond the Medical Text: Health and Illness in Early Medieval Italian Sources: *So. Hist. Med.*: 24 (1) 26–40
- PLADEK, Brittany: "A Variety of Tastes": The Lancet in the Early-Nineteenth-Century Periodical Press: *Bull. Hist. Med.*: 85 (4) 560–586
- POLENZ, Kathrin: Christian Keferstein-Ein Amateurgeologe im mitteldeutschen Raum um 1800 und seine Zeitschrift "Teutschland, geognostisch-geologisch dargestellt": *Sudhoffs Archiv*: 95 (1) 30–47
- RAMSDEN, Edmund: Model Organisms and Model Environments: A Rodent Laboratory in Science, Medicine and Society: *Medical History*: 55 (3) 365–368
- REZNICK, Jeffrey S.: Perspectives from the History of Medicine Division of the United States National Library of Medicine, National Institutes of Health: *Medical History*: 55 (3) 413–418
- RIDER, Catherine: Medical Magic and the Church in Thirteenth-Century England: *So. Hist. Med.*: 24 (1) 92–107
- RIDGE, Steve: 'Proper Motions, Actions and Uses': Physiological Knowledge as the Only Means to Rational Politics in Restoration England: *Medical*

- History: 55 (3) 339–342
- RISSE, Guenter B.: Translating Western Modernity: The First Chinese Hospital in America: *Bull. Hist. Med.*: 85 (3) 413–447
- SAKAI, Shizu: History of Medical Care at Inpatient Facilities in Japan: *JMAJ*: 54 (6) 351–356
- SALGIRLI, Sanem G.: Eugenics for the Doctors: Medicine and Social Control in 1930s Turkey: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (3) 281–312
- SAMI, Leela: Starvation, Disease and Death: Explaining Famine Mortality in Madras, 1876–1878: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 700–719
- SCULL, Andrew: Contested Jurisdictions: Psychiatry, Psychoanalysis, and Clinical Psychology in the United States, 1940–2010: *Medical History*: 55 (3) 401–406
- SHARMA, Avi: Medicine from the Margins? *Naturheilkunde* from Medical Heterodoxy to the University of Berlin, 1889–1920: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 334–351
- SHEHORY-RUBIN, Zipora: Jewish Midwives in Eretz Israel During the Late Ottoman Period, 1850–1918: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 299–315
- SLATER, J./TERRADA, M.L.L.: Scenes of Mediation: Staging Medicine in the Spanish Interludes: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 226–243
- SNELDERS, S./PIETERS, T.: Speed in the Third Reich: Metamphetamine (Pervitin) Use and a Drug History from Below: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 686–699
- SOMMER, Andreas: Professional Heresy: Edmund Gurney (1847–88) and the Study of Hallucinations and Hypnotism: *Medical History*: 55 (3) 383–388
- SPRECHER, T.D.V./KARRAS, R.M.: The Midwife and the Church: Ecclesiastical Regulation of Midwives in Brie, 1499–1504: *Bull. Hist. Med.*: 85 (2) 171–192
- STEIN, C./COOTER, R.: Visual Objects and Universal Meanings: AIDS Posters and the Politics of Globalisation and History: *Medical History*: 55 (1) 85–108
- STEIN, Claudia: The Birth of Biopower in Eighteenth-Century Germany: *Medical History*: 55 (3) 331–337
- STEINKE, H./LANG, Y.: Parochialism or Self-Consciousness? Internationality in Medicinal History Journals 1997–2006: *Medical History*: 55 (4) 523–538
- STUIJ, Mirjam: Explaining Trends in Body Weight: Offer’s Rational and Myopic Choice vs Elias’ Theory of Civilizing Processes: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 796–812
- STURDY, Steve: Looking for Trouble: Medical Science and Clinical Practice in the Historiography of Modern Medicine: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 739–757
- SUIBHNE, S.M./KELLY, B.D.: Vampirism as Mental Illness: Myth, Madness and the Loss of Meaning in Psychiatry: *So. Hist. Med.*: 24 (2) 445–460
- SUSSMAN, George D.: Was the Black Death in India and China?: *Bull. Hist. Med.*: 85 (3) 319–355
- SUTTON, Emma K.: When Misery and Metaphysics Collide: William James on ‘the Problem of Evil’: *Medical History*: 55 (3) 389–392
- SUZUKI, Akihito: Smallpox and the Epidemiological Heritage of Modern Japan: Towards a Total History: *Medical History*: 55 (3) 313–318
- SYKES, Ingrid: Sounding the ‘Citizen-Patient’: The Politics of Voice at the Hospice des Quinze-Vingts in Post-Revolutionary Paris: *Medical History*: 55 (4) 479–502
- THOMSON, Mathew: ‘The Solution to his Own Enigma’: Connecting the Life of Montague David Eder (1865–1936), Socialist, Psychoanalyst, Zionist and Modern Saint: *Medical History*: 55 (1) 61–84
- TOTELIN, Laurence: Old Recipes, New Practice? The Latin Adaptations of the Hippocratic Gynaecological Treatises: *So. Hist. Med.*: 24 (1) 74–91
- TOUSIGNANT, Noemi: The Rise and Fall of the Dolorimeter: Pain, Analgesics, and the Management of Subjectivity in Mid-twentieth-Century United States: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (2) 145–179
- VALLGARDA, Signild: Appeals to Autonomy and Obedience: Continuity and Change in Governing Technologies in Danish and Swedish Health Promotion: *Medical History*: 55 (1) 27–40

- WALL, Rosemary: Using Bacteriology in Elite Hospital Practice: London and Cambridge, 1880–1920: *So. Hist. Med.*: 24 (3) 776–795
- WALLIS, Patrick: Debating a Duty to Treat: AIDS and the Professional Ethics of American Medicine: *Bull. Hist. Med.*: 85 (4) 620–649
- WEBB JR, James L. A.: The First Large-Scale Use of Synthetic Insecticide for Malaria Control in Tropical Africa: Lessons from Liberia, 1945–1962: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 66 (3) 347–376
- WITHEY, Alun: “Persons That Live Remote from London”: Apothecaries and the Medical Marketplace in Seventeenth-and Eighteenth-Century Wales: *Bull. Hist. Med.*: 85 (2) 222–247